

科目名	日本美術史（1美デ）（通年）			開講学年	1	講義コード	1670101	区分	選択	
英文表記	History of Japanese Art			開講期	集中	開講形態		単位数	4	
担当教員	中村玲（非常勤） 大久保範子（非常勤）									
研究室	芸術学部 非常勤講師室					オフィス アワー 授業時間前後の非常勤講師室				
メールアドレス	norikontakt@gmail.com									
キーワード	日本美術 仏教 浮世絵									
授業概要	<p>(前期分)先史時代から中世の日本美術を概観し、基本的な流れや様式の変遷を理解する。美術作品の画像や映像を鑑賞し、歴史的、文化的な事情を踏まえうえて、それらの作品があらわれた背景や造形的な特質について学んでいく。また、当時の美術作品と、私たちが生きる現代社会との関わりなどについても検討していきたい。(後期分)近世に入ると、美術は上層の権力者のためのものから市井の人々を包括するものへと裾野が広がった。それに伴い美術の形式も多様化し、様式も時勢を反映して目まぐるしく展開していくこととなる。とくに「制作者」と「享受者」の関係性がより近くなったという点は、近世以降の日本美術に多大な影響を及ぼしたといえる。本講義では、日本における様式変遷とその背景を各時代の代表的な美術作品を通して概観するとともに、日本美術の特質についてその諸相を検討する。また作家たちがどのような姿勢で作品制作に向かっていたのかに注目することで、鑑賞にとどまらない制作のヒントを得るためのアプローチについても考えていきたい。</p>							関連科目		
								建築学科のみ	建築総合	建築計画
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							学修・教育目標		
								JABEE基準		
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	時代による様式の変遷を理解する								
	②	おのおのの時代の美術の特徴を把握する								
	③	日本美術の代表的な作品・作家についての知識を身につける								
	④	日本美術についての基礎的な知識を鑑賞の際に役立てることができる								
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	45	45	0	0	0	0	10	0	100	
教科書	授業の中で指示する。 毎回資料を配布する。									
参考書	すぐわかる日本の絵画 東京美術 守屋正彦 日本美術館 小学館 青柳正規、他 カラー版 日本美術史 美術出版社 辻惟雄監修									

予備知識	<p>図書館などで美術全集などの書籍を閲覧し、基礎知識を取得しておくことが望ましい。本講義は、美術史に関する演習や特論を受講する上での基礎科目であり、受講後は関心をもった分野について、より深い理解につなげるための自主的な学びの継続が期待される。</p>
DPとの関連	<p>本講義は、日本美術に関する基礎的な知識を学ぶことを目的とするものである。そのため美術・デザイン領域の専門家としての基礎的な力を身につけることができる。加えて、各時代の社会における美術の役割についても総合的に修得できることを目指すため、ひいては現代の課題を発見・解決する能力を涵養することでできるだろう。</p>
実務経験のある教員	
評価明細基準	<p>①時代による様式の変遷を理解する ②おのおのの時代の美術の特徴を把握する ③日本美術の代表的な作品・作家についての知識を身につける ④日本美術についての基礎的な知識を鑑賞の際に役立てることができる</p>

毎回パワーポイントによるスライドを使用するため、必要に応じて筆記すること。試験は授業プリントの持ち込み可なので、適宜メモをとり内容の理解に努めること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	イントロダクション・先史時代の美術 日本美術史という学問や、授業の進め方等について説明を行う。縄文時代から弥生時代の美術を概観する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
2回	テーマ ..... 内容	古墳壁画と副葬品 主に九州地方に所在する古墳を中心に、権力者を祀るために描かれた壁画や、さまざまな副葬品について紹介する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
3回	テーマ ..... 内容	仏教絵画と古代寺院 飛鳥時代に朝鮮半島から伝来した仏教絵画と、法隆寺などの古代寺院および伽藍について解説する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
4回	テーマ ..... 内容	正倉院宝物 奈良時代の聖武天皇の遺愛品であり、国際色豊かな正倉院宝物を鑑賞する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
5回	テーマ ..... 内容	密教美術 平安時代前期に、密教の展開とともに誕生した絵画、彫刻などについて説明する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
6回	テーマ ..... 内容	浄土教美術・垂迹美術 平安時代後期の浄土信仰に伴って生まれた美術を概観する。神像彫刻に代表される、垂迹美術について学習する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
7回	テーマ ..... 内容	王朝文化と物語絵 平安時代後期までにあらわれた、王朝文化を背景とした「源氏物語絵巻」のほか、さまざまな絵巻物について学ぶ。美術作品にさらに親しみを持ってもらうため、絵巻の複製品を用いた取り扱い実習も行う。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
8回	テーマ ..... 内容	慶派の彫刻 鎌倉時代を代表する、蓮慶や快慶らの仏教彫刻について講義する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
9回	テーマ ..... 内容	肖像画 鎌倉時代の武家文化の台頭を背景に描かれた肖像画について紹介する。美術作品にさらに親しみを持ってもらうため、掛軸の複製品を用いた取り扱い実習も行う。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
10回	テーマ ..... 内容	禅宗と水墨画 鎌倉時代に伝来した、禅宗に関するさまざまな美術、特に水墨画について解説する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ ..... 内容	土佐派とやまと絵 室町時代を中心に宮廷絵所を支配した土佐派によるやまと絵について講じる。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
12回	テーマ ..... 内容	障壁画と城郭建築 安土桃山時代の天下人が好み、彼らの住まいを装飾した大画面の障壁画や、城郭建築の構造について紹介する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
13回	テーマ ..... 内容	狩野派 室町時代以降に活躍し、日本絵画史上、最大の流派となり御用絵師の頂点に立った狩野派について学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
14回	テーマ ..... 内容	戦国武将たちの装い・南蛮美術 安土桃山時代を中心に、戦国武将たちが戦の場で好んだ衣装や具足などの独特な造形を鑑賞する。ヨーロッパ文化の影響を受け、九州地方に大いに関連する南蛮美術について学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
15回	テーマ ..... 内容	まとめ・ディスカッション・試験 講義や実習のまとめを行う。これまでに学んだ日本美術についての興味や関心、魅力に関するディスカッションをし、試験を実施する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
16回	テーマ ..... 内容	江戸時代の美術Ⅰ 狩野派と土佐派 享受者の違いによって美術の形態および様式はどのように変容していったのかを考える。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
17回	テーマ ..... 内容	江戸時代の美術Ⅱ 琳派の系譜 江戸時代を通じ私淑によって展開していった琳派の特質について学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
18回	テーマ ..... 内容	江戸時代の美術Ⅲ “流派”を離れた絵師たち 狩野派や土佐派といった主流から離れた絵師らの作品を鑑賞する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
19回	テーマ ..... 内容	江戸時代の美術Ⅳ 江戸前期における工芸意匠 絵画と江戸前期の工芸意匠にみられる影響関係から日本美術の特質を考察する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
20回	テーマ ..... 内容	江戸時代の美術Ⅴ 文人画 専門の画家とは異なる文人画家とその作品に着いて学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60

授業計画					
回数 (日付)		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	江戸時代の美術Ⅵ	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	京都画壇の画家たち、応挙らをほじめてした京都画壇の個性あふれる作品を鑑賞する。			
22回	テーマ	江戸時代の美術Ⅶ	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	初期浮世絵と錦絵の誕生、初期の肉筆浮世絵から錦絵が誕生するまでの作品と時代背景を学ぶ。			
23回	テーマ	江戸時代の美術Ⅷ	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	浮世絵の黄金期、錦絵の黄金期に生み出された作品を鑑賞し、浮世絵独特の特徴を考察する。			
24回	テーマ	江戸時代の美術Ⅸ	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	相撲絵の作品、相撲絵の作品から浮世絵において相貌および身体描写がどのように展開したのかについて学ぶ。			
25回	テーマ	幕末から明治にかけての美術	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	幕末から明治の浮世絵、幕府や政府による様々な庄下方、絵師たちがどのように作品を生み出したのかについて考察する。			
26回	テーマ	明治期から大正にかけての美術	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	「美術」の誕生、西洋化が進む日本で美術がどのように展開していったのかを整理する。			
27回	テーマ	幕末以降の工芸分野	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	幕末以降、「美術」の評価に二石を投じた「生き人形」や「民藝運動」の作品を鑑賞する。			
28回	テーマ	大正の美術	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	大正期、画壇のアカデミズムに反発し独学で作品を描いた画家たちの作品を鑑賞する。			
29回	テーマ	戦後～現代の美術	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	戦後の「反芸術」をめぐる展開に象徴される「美術」の多様化について考察する。			
30回	テーマ	現代の美術	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	現代の作品や作家たちから日本の美術がどのように変容しているのかについて総括する。			

科目名	西洋美術史（1美デ）（通年）				開講学年	1	講義コード	1670201	区分	選必	
英文表記	History of Western Art				開講期	通年	開講形態		単位数	4	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala @art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	美術史 西洋絵画 芸術鑑賞										
授業概要	本講義はルネサンスから20世紀の西洋美術の歴史を巡ることで、ルネサンス以降、西洋人にとって「美」となるものがどのように捉えられ、その造形美を生み出してきたか、その変遷を巡っていく。また、芸術作品の中に潜む理念や概念、さらにはその芸術作品が生み出された社会状況も考慮しながら、西洋美術の視覚イメージの諸相から世界のものの見方、考え方を読み解いていく。また、本講義の視覚的思考法を通じて汎用的な観察力・審美眼を養う。							関連科目			
								すべての芸術学部開講科目に関連する。			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】・・・美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	各回の内容を通して、芸術に関する基礎的な知識・ものの見方・考え方を理解できる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	45	0	15	0	15	10	15	100		
教科書	特に指定しない。										
参考書	イメージ・リテラシー工場 フランスの新しい美術鑑賞 フィルム・アート社 J=クロード・フォザ他 イメージを読むー美術史入門ー 筑摩書房 若桑みどり 美術を書く 東京美術 S.バーネット著/竹内順一監訳 補新装カラー版 西洋美術史 美術出版社 高階秀爾監修 反アート入門 幻冬社 樫木野衣										

予備知識	特になし。
DPとの関連	造形活動や芸術文化研究における基礎的な知識、ものの見方・考え方を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常点・前・後期の定期試験、レポート類(展覧会レビュー(2点)、書評(2点)作品カード(2枚))で評価する。前期・後期各100点の平均を出してそれを成績とする。



通年の授業であるので、前期・後期を通じて受講しないと単位取得できません（履修登録は前期のみ）。単位取得の条件は①出席3分の2以上②定期試験受験③授業中の課題提出をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 総論 美術史とは？	内容	講義		180
2回	テーマ 美術史を記述する。	内容	講義		90
3回	テーマ 視覚イメージを読むI	内容	講義		180
4回	テーマ 視覚イメージを読むII	内容	講義		180
5回	テーマ 初期ルネサンス美術1 建築・彫刻	内容	講義	作品カード作成①	180
6回	テーマ 初期ルネサンス美術2 絵画	内容	講義		180
7回	テーマ 盛期ルネサンス美術 建築・絵画・彫刻	内容	講義	作品カード作成②	180
8回	テーマ マニエリスム 建築・絵画・彫刻	内容	講義	作品カード作成③	90
9回	テーマ 15世紀の北方美術 建築・絵画・彫刻	内容	講義		90
10回	テーマ 北方ルネサンス 建築・絵画・彫刻	内容	講義		90

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ バロック①	イタリヤ・フランス(南ネーデルラント)	講義		180
	内容				
12回	テーマ バロック②	オランダ・スペイン・フランス(イギリス・ドイツ)	講義		180
	内容				
13回	テーマ ロココの美術	18世紀の美術	講義		90
	内容				
14回	テーマ 近代美術とは?	「神が死んだ」の巻	講義		90
	内容				
15回	テーマ 近代1	新古典主義と革命期の美術	講義		90
	内容				
16回	テーマ 近代2	ブレ・ロマン主義/ロマン主義(フランス)	講義		90
	内容				
17回	テーマ 近代2	デンマーク特集:絵画と鉄道/ロマン主義(イギリスなど)	講義		180
	内容				
18回	テーマ 近代3	写実主義とその時代	講義		90
	内容				
19回	テーマ 近代4	写真の時代	講義		90
	内容				
20回	テーマ 近代5	印象主義・象徴主義・後期印象主義、そして世紀末芸術へ	講義		90
	内容				

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ ----- 内容	総括	講義	目標到達度レポート作成	90

科目名	基礎デッサンⅠ(1美)				開講学年	1	講義コード	1670401	区分	選択		
英文表記	basic drawingⅠ				開講期	前期	開講形態		単位数	2		
担当教員	勝野 真言											
研究室	L号館A104						オフィス アワー 火・放課後					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	空間、量感、線、面											
授業概要	二次元空間の基本要素である点、線、面、またはその連続により生じる形態の持つ動勢、機能について考え、その視覚表現の方法の可能性を探る。静物や人物に見出される緊張感や躍動感、バランスの美しさといった様々な美的要素をデッサンの量と枚数を通して追及することを目的とする。これは現代の幅広い美術活動の根とも言うべき、大切な勉強である。このような一連のプロセスを辿ることで様々な分野で役立つような企画力、計画性、コミュニケーション力を養う。								関連科目			
									建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修 【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術) 【各科目に含めることが必要な事項】・・・絵画(映像メディア表現を含む。)								学修・教育目標			
									JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	観察力を身に付けることができるようになる										
	②	空間把握ができるようになる										
	③	画面の構図が理解できるようになる										
	④	明暗・陰影(調子)の理解ができるようになる										
	⑤	木炭、鉛筆、練ゴム、ケント紙、木炭紙などの描画材料を扱うことができるようになる										
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	0	20	60	10	10	100			
教科書	授業時にプリントを配布する											
参考書	授業時にプリントを配布する											

予備知識	1年必修科目全般
DPとの関連	<p>学びのキーワードは「対象をよく観る＝観察力の習得」である。対象を見つめることから発想を得、コンセプトを練り上げ、制作のための試行錯誤を繰り返えし、他者にわかりやすく魅力的に伝える為の表現力やプレゼンテーション力を鍛えることができる。【知識・理解】【汎用的技能】【態度・志向性】</p>
実務経験のある教員	
評価明細基準	課題毎の講評会及び作品の提出と出席

テーマにそった内容の講義を実習内に適時行い、テーマにつながる文献等を紹介し、実習外でそれらを補う学習法を指示する。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	観察による対象の理解	実習	手のクロッキー(エスキース)	240
	内容	人体クロッキー(クロッキーブック鉛筆・ゴシテ) 2分・5分・10分(計20枚制作)			
2回	テーマ	観察による対象の理解	実習	解剖図の模写	240
	内容	人体クロッキー(クロッキーブック鉛筆・ゴシテ) 2分・5分・10分(計20枚制作)			
3回	テーマ	観察による対象の理解	実習	手のクロッキー(エスキース)	240
	内容	手のデッサン(木炭紙) 中間評			
4回	テーマ	観察による対象の理解	実習	手のクロッキー(エスキース)	240
	内容	手のデッサン(木炭紙)			
5回	テーマ	観察による対象の理解	実習	手のクロッキー(エスキース)	240
	内容	手のデッサン(木炭紙) 講評			
6回	テーマ	観察による対象の理解	実習	手のクロッキー(エスキース)	240
	内容	手のデッサン(木炭紙) 講評会			
7回	テーマ	観察による対象の理解	実習	解剖図の模写	240
	内容	人体デッサン・固定ポーズ(木炭紙)			
8回	テーマ	観察による対象の理解	実習	解剖図の模写	240
	内容	人体デッサン・固定ポーズ(木炭紙)			
9回	テーマ	観察による対象の理解	実習	解剖図の模写	240
	内容	人体デッサン・固定ポーズ(木炭紙)			
10回	テーマ	観察による対象の理解	実習	解剖図の模写	240
	内容	人体デッサン・固定ポーズ(木炭紙)			



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	観察による対象の理解	実習	グラデーションの研究	240
	内容	石膏デッサン(木炭紙) 頭像・胸像(選択)			
12回	テーマ	観察による対象の理解	実習	グラデーションの研究	240
	内容	石膏デッサン(木炭紙) 頭像・胸像(選択) 中間評			
13回	テーマ	観察による対象の理解	実習	グラデーションの研究	240
	内容	石膏デッサン(木炭紙) 頭像・胸像(選択) 講評			
14回	テーマ	観察による対象の理解	実習	グラデーションの研究	240
	内容	石膏デッサン(木炭紙) 頭像・胸像(選択)			
15回	テーマ	観察による対象の理解	実習	グラデーションの研究	240
	内容	石膏デッサン(木炭紙) 頭像・胸像(選択) 講評			
16回	テーマ	観察による対象の理解	屋外実習	クロッキー	240
	内容	動物スケッチ			

科目名	コンピュータ基礎実習(1美)				開講学年	1	講義コード	1670601	区分	選択		
英文表記	Practice of basic computer Literacy				開講期	前期	開講形態		単位数	4		
担当教員	甲野 善一郎											
研究室	D-213						オフィス アワー 火曜日1限					
メールアドレス	zkouno@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	コンピュータ,ハードウェア,ソフトウェア,プレゼンテーション											
授業概要	<p>コンピュータが生産機材として、またコミュニケーションの道具として確立された今日においてコンピュータを使えるということが当然になっている。ここでは、コンピュータの、道具としての位置づけを明確にしたい。そのためにコンピュータを使う目的を明確にし、各自のテーマに沿った調査・情報収集・分析・プレゼンテーションまでの一連の作業を通して、コンピュータの道具としての位置づけを明確にする。また、プレゼンテーションの重要性とその前のコミュニケーションの重要性を認識し、コンピュータという道具を通して人に情報を伝える能力を習得する。</p>								関連科目			
									デザイン概論			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作</p>								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	コンピュータの基本操作の修得										
	②	画像加工技術の習得										
	③	パワーポイントでのプレゼンテーション										
	④											
	⑤											
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	20	60	0	10	10	100			
教科書	授業時に配布											
参考書	授業時に配布											

予備知識	1,提出期限を厳守する 2,自ら発想し製作する 授業内のコンピュータの操作の復習と各自のテーマについて、常にリサーチしておくこと。
DPとの関連	優れた応用力を有する専門家になるため、汎用的基礎力と基本的な専門知識を身につけたもの。
実務経験のある教員	
評価明細基準	課題のすべてが提出されなければ作品点は0となる。 成果発表(口頭・実技) 60点 レポート 20点 ポートフォリオ 10点 出席 10点

コンピュータを使いこなしている人、全く苦手な人など様々であろうと想像します。コンピュータは道具であるということを知覚することを目的としているので何も知らないことを前提に授業を展開します。大切なのは自分で決めたテーマをプレゼンテーション出来ることであり、コンピュータそのものを学ぶことではない。日頃からテーマにできるものを意識して欲しい。

学修上の  
注意  
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	コンピュータ基礎	講義+課題 +プレゼン テーション	「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	コンピュータのハードウェアとソフトウェア 特にデータの流れを中心に簡単な構造を解説する。ハードウェア(HD,メモリー,CPU,モニタなど)の解説。			
2回	テーマ	コンピュータ基礎	講義+課題 +プレゼン テーション	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	コンピュータで文字を扱うコンピュータで扱う色情報の解説。画質(解像度と階調)について解説。出力機(プリンター)の種類と方式に関しての解説。			
3回	テーマ	アプリケーション操作概要	講義+課題 +プレゼン テーション	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	プレゼンテーションソフトウェア(パワーポイント)の解説1 プレゼンテーションの大切さと方法を解説。パワーポイントの実習。			
4回	テーマ	アプリケーション操作概要	講義+課題	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	フォトショップの基本操作			
5回	テーマ	アプリケーション操作概要	講義+課題	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	フォトショップの応用操作			
6回	テーマ	アプリケーション操作	講義+課題	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	イラストレータのための基本操作			
7回	テーマ	テーマ発表	講義+課題 +プレゼン テーション	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分) パワーポイントを使用して各自発表。一人3分 質疑応答(アドバイスなど)宿題:テーマに関しての調査。	120
	内容	各自のテーマと概要(なぜこのテーマなのか)を発表(プレゼンテーション)キックオフ			
8回	テーマ	プレゼンテーション作成	講義+課題 +プレゼン テーション	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分) 資料調査と報告。宿題:テーマに関しての調査。	120
	内容	テーマに関する資料調査:スライド作成準備1			
9回	テーマ	プレゼンテーション作成	講義+課題 +プレゼン テーション	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分) 資料調査と報告。宿題:テーマに関しての調査。	120
	内容	テーマに関する資料調査:スライド作成準備2			
10回	テーマ	プレゼンテーション作成	講義+課題 +プレゼン テーション	プロジェクターを使用し、全員の前でプレゼンテーション。プレゼン資料作成(パワーポイント)宿題:テーマに関しての調査。	120
	内容	テーマに関する資料調査:スライド作成準備3 資料調査と報告。			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	中間発表	講義+課題 +プレゼン テーショ ン	プロジェクターを使用し、全員の前でプレゼンテーション。	120
	内容	中間プレゼンテーション			
12回	テーマ	プレゼンテーション作成	講義+課題 +プレゼン テーショ ン	中間プレゼンテーションの修正作業。「予習」製作「復習」 製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	内容確認と修正			
13回	テーマ	プレゼンテーション作成	講義+課題 +プレゼン テーショ ン	予習」製作「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)中 間プレゼンテーションの修正作業。	120
	内容	内容確認と修正			
14回	テーマ	発表	講義+課題 +プレゼン テーショ ン	「予習」製作「復習」製作 プロジェクターを使用し、全員の前 でプレゼンテーション。質疑応答。	120
	内容	最終プレゼンテーション1			
15回	テーマ	総括	講義+課題 +プレゼン テーショ ン	「予習」製作「復習」製作 プロジェクターを使用し、全員の前 でプレゼンテーション。質疑応答。	120
	内容	最終プレゼンテーション2			

科目名	美術領域論Ⅱ（立体造形）（2美デ）				開講学年	1	講義コード	1670702	区分	選択	
英文表記	Art theory 2 (3D modeling)				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	川畑 浩徳										
研究室	L-A-216						オフィス アワー 月曜5限				
メールアドレス	@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	立体造形										
授業概要	様々な国や時代の彫刻作品や立体造形物を概観し、その作品の歴史的、社会的背景などにも触れながら、立体芸術への興味を引き出し、最終的に立体造形や作家研究のテーマを決めプレゼンテーションを行う。立体芸術を深く味わう楽しさを共有しながら、表現者としての資質を伸ばしていく。							関連科目			
								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)							学修・教育目標			
								JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	立体造形物への興味と知識を深めることができる									
	②	美術史と彫刻作品や作家などを関連づけて理解することができる									
	③	自らテーマを見つけ、研究することができるようになる									
	④	研究したものをプレゼンテーションすることができるようになる									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	30	0	10	10	100		
教科書	適宜指示する										
参考書	適宜指示する										

予備知識	西洋美術史、日本美術史、東洋美術史、西洋彫刻論
DPとの関連	幅広い専門知識と、考察力の備わった人材育成。
実務経験のある教員	
評価明細基準	・立体造形物や彫刻家に対する興味と研究姿勢 ・研究内容のプレゼンテーションおよびレポート ・出席などを併せて評価する



常に、いつ、誰が、どのように、なんの為にそれを作ったかという観点に立ち、自ら疑問を持つことで、研究のきっかけを見つける姿勢が必要。また表現者としての立場と、客観的な立場の双方から造形物や作家を考察することで、鑑賞力の向上を目指す。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	心に響く彫刻（導入）	講義		90
2回	テーマ ..... 内容	古代文明の彫刻概観	講義	西洋美術史の予習	90
3回	テーマ ..... 内容	ギリシャ彫刻概観	講義	西洋彫刻論の（予習、復習）	90
4回	テーマ ..... 内容	キリスト教的主題の彫刻、造形物	講義	西洋彫刻論（予習・復習）	90
5回	テーマ ..... 内容	作家論：ミケランジェロとルネサンス、 マニエリスム	講義	ミケランジェロ作品の検索	90
6回	テーマ ..... 内容	作家論：ロダンとその弟子たち	講義	ロダン作品の検索	90
7回	テーマ ..... 内容	日本の仏教的主題の彫刻、造形物Ⅰ	講義	仏教美術史予習 復習	90
8回	テーマ ..... 内容	日本の仏教的主題の彫刻、造形物Ⅱ	講義	仏教美術史予習 復習	90
9回	テーマ ..... 内容	人物埴輪の造形的特徴概観Ⅰ	講義	仏教美術史予習 復習	90
10回	テーマ ..... 内容	人物埴輪の造形的特徴概観Ⅱ	講義	仏教美術史予習 復習	90

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	近代から現代の彫刻概観	講義	西洋美術史 復習	90
	内容				
12回	テーマ	個人研究プレゼンテーション	演習	個人研究	90
	内容				
13回	テーマ	個人研究プレゼンテーション	演習	個人研究	90
	内容				
14回	テーマ	個人研究プレゼンテーション	演習	個人研究	90
	内容				
15回	テーマ	個人研究プレゼンテーション	演習	個人研究	90
	内容				
16回	テーマ	相互評価 反省など	演習	評価	90
	内容				

科目名	日本画実習ⅠA(1美)			開講学年	1	講義コード	1670901	区分	選必		
英文表記	Japanese PaintingⅠA			開講期	前期	開講形態		単位数	8		
担当教員	中村 賢次(実務経験) 田淵 恵理(非常勤)										
研究室	A416					オフィス アワー 水曜昼休み					
メールアドレス	ken1214@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画										
授業概要	日本画には特有の用具・材料があり、基本的にその原材料の全てがこの日本国内の自然から採取することが出来る。その使用方法に於いては季節や時間、気候等と深く関連があり、この授業では前職における文化財保存修復の実務の経験を活かし、画材に関する基礎知識と技術修得において授業の中で学生たちに教授している。また、日本画制作に於いて最も基本的、且つ重要である写生に重点を置いて、描くことの基本姿勢を身に付ける。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	日本画の画材の名称及び原材料を理解し、その基本的な使用方法を理解できるようになる。									
	②	基礎的な描写力と描くための集中力・持久力を身に付けることができるようになる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席及び制作姿勢(10点)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	高校美術までの日本画に関する基礎知識
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的に作品を前に口頭での質疑を行うことによって理解度を確認。一作品ごとに合評・採点を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう。

学修上の  
注意  
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	日本画の基礎知識	講義	日本画の定義について自分なりの考えを探る	720
	内容	現在に至るまでの日本画の歴史的背景を理解する			
2回	テーマ	日本画の画材	講義	実際の画材に触れ、その用途について確認する	720
	内容	名称・原材料・基本的な使用方法を理解する			
3回	テーマ	筍	実習	鉛筆の使用方法を検討する	720
	内容	鉛筆による細密写生			
4回	テーマ	筍	実習	鉛筆の使用方法を検討する	720
	内容	鉛筆による細密写生			
5回	テーマ	筍	実習	鉛筆の使用方法を検討する 自身の作品を客観的に観察・評価	720
	内容	鉛筆による細密写生及び合評・採点			
6回	テーマ	ジャガイモとネギ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	和紙(美濃紙)を水貼りし鉛筆で描写			
7回	テーマ	ジャガイモとネギ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	墨入れ(骨描き及び濃淡)と地塗り			
8回	テーマ	ジャガイモとネギ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	細密写生(水干絵具)			
9回	テーマ	ジャガイモとネギ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	細密写生(水干絵具)			
10回	テーマ	合評及び採点	講義	自身の作品を客観的に観察・評価	720
	内容	客観的に自身の作品を捉える			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	スルメ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	和紙(美濃紙)を水貼りし鉛筆で描			
12回	テーマ	スルメ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	墨入れ(膏描き及び濃淡)と地塗り			
13回	テーマ	スルメ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	細密描写(水干絵具)			
14回	テーマ	スルメ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	細密描写(水干絵具)			
15回	テーマ	スルメ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	細密描写(水干絵具)			
16回	テーマ	合評及び採点	講義	自身の作品を客観的に観察・評価	720
	内容	客観的に自身の作品を捉える			



科目名	洋画実習ⅠA(1美)			開講学年	1	講義コード	1671101	区分	選必	
英文表記	Oil PaintingⅠA			開講期	前期	開講形態		単位数	8	
担当教員	下城賢一 熊谷有展 古澤伸一郎(非常勤)									
研究室	L号館D201					オフィス アワー 火34,水34,木12,金34				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp@以降を入力									
キーワード	石膏デッサン、裸婦デッサン、油彩									
授業概要	1年時のカリキュラムは平面表現にかかわる全ての基礎造形力を身につけてもらうことを主眼において組まれている。適切な観察によるモチーフの理解(観察力)・再現性の高い描写力(技術)・美しい画面に不可欠な構成力と構図を組む力(構成力)。この3点を軸に具体的な課題をに取り組んでもらう。この課題によって完成した作品から以下の評価基準を基に観察力・技術・構成力のポイントにしぼり評価採点する。						関連科目			
							洋画実習ⅠB、洋画実習ⅡA、洋画実習ⅡB、洋画実習ⅢA、洋画実習ⅢB、洋画実習ⅣA、洋画実習ⅣB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	再現性の高い描写力を養うことができる								
	②	人体骨格・筋肉など基本構造が理解できる								
	③	油彩画の技法を習得することができる								
	④	バランスの取れた構成・構図を理解することができる								
	⑤	平面上における立体表現を再現することができる								
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	20	60	10	10	100	
教科書	授業の中で指示する									
参考書	授業の中で指示する									

予備知識	基礎デッサン、西洋美術史、日本美術史、絵画技法論
DPとの関連	テーマにそった内容の講義を実習内に適時に行い、テーマにつながる文献等を紹介する。実習外で美術館見学などを通じて鑑賞力を身につける。古今の西洋絵画の名画の画像資料を用いて構成・構図の研究、画題の研究を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	実技課題における学生の作品の完成度および取り組む姿勢。各課題終了毎に作品寸評を含んだ講評会において学生に口頭で評価を伝える。

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	石膏デッサン(首)			
2回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	石膏デッサン(首)			
3回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	石膏デッサン(首)			
4回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	石膏デッサン(胸像)			
5回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	石膏デッサン(胸像)			
6回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	石膏デッサン(胸像)			
7回	テーマ	講評	実習 講評	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	石膏デッサン(胸像) 講評ノ採点			
8回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	人物着衣デッサン			
9回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	人物着衣デッサン			
10回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	人物着衣デッサン			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	講評	実習 講 評	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	人物着衣デッサン 講評/採点			
12回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	裸婦デッサン			
13回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	裸婦デッサン			
14回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	裸婦デッサン			
15回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	裸婦デッサン			
16回	テーマ	講評	実習 講 評	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物デッサン 講評/採点			
17回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			
18回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			
19回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			
20回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
21回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			
22回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			
23回	テーマ	講評	実習 講評	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物/油彩 講評/採点			

科目名	彫刻実習ⅠA(1美)				開講学年	1	講義コード	1671301	区分	必修	
英文表記	sculpture work 1A				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	川畑 浩徳										
研究室	L A-216						オフィス アワー 月曜 5限				
メールアドレス	@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	粘土、頭像制作										
授業概要	粘土による頭像の制作を行う。写実的な表現を試みることで、基礎的な立体造形力を身につけることを目指す。量感や奥行きといった、立体ならではの感覚を高め、粘土素材を自由に駆使できるようになるには、多くの修練が必要である。頭像制作は、人物の表情や人格までも写し出す、大変高度な技量が求められる。何度も繰り返し制作を続けながら、表現者としての感性、観察眼を養う。授業以外の時間で自主的に制作を深め、毎日制作する習慣を身につけることで、表現者としての資質の向上を目指す。							関連科目			
								西洋彫刻論 西洋美術史 彫刻実習IB 石膏実技実習A 石膏実技実習B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	モデルを観察して、特徴を把握できるようになる									
	②	粘土の性質を知って塑像の制作過程を理解できるようになる									
	③	塊や面などについて理解できるようになる									
	④	道具の使い方を工夫できるようになる									
	⑤	塑像の楽しみを味わえるようになる									
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	70	10	20	100		
教科書	適宜指示する										
参考書	適宜指示する										

予備知識	基礎科目:西洋美術史Ⅰ、西洋美術史Ⅱ、美術領域論Ⅱ(立体)
DPとの関連	芸術や文化における専門家としての基礎的な技術や知識を総合的に身に付け、造形活動や芸術の研究を通して培った豊かな感性や高い倫理観を持った、社会人となるための修練や、あらゆる物事に真摯に取り組む姿勢を持つ人物の育成を目指すとともに、社会における芸術の役割を認識した上で、現代の課題を発見し、それを解決することによって未来の文化形成に寄与し、社会貢献できる人物を育成するという目標沿った授業となっています。
実務経験のある教員	
評価明細基準	・デッサンの的確さ ・塑像制作の基礎的な技法 ・準備、作品管理 ・制作への真摯な取り組み ・作品を高度化するための自主的な制作



・制作に入る前の準備、制作後の片付け、さらに作品管理をすることも制作に必至。粘土を常に最適な状態にし、モデルへの配慮も忘れず授業に臨むという、基本的なマナーも身につける。観察眼を伸ばすためのデッサンや制作を毎日するペースを身につけ、表現者としての自覚を持つことが大切である。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ ..... 内容	モデルのデザインをして特徴を把握する	実習、A L	1毎日デッサンする	180
2回	テーマ ..... 内容	粘土の研究	実習、A L	1粘土の性質、種類などを予習する	180
3回	テーマ ..... 内容	塑像制作の流れを理解する	実習、A L	カーヴィング、とモデリングの作品を比較し、塑像の特徴を予習する	180
4回	テーマ ..... 内容	心棒組みと荒付け	実習、A L	心棒に使用する材料を用意しておく	180
5回	テーマ ..... 内容	粘土による頭像制作Ⅰ	実習、A I L	粘土管理をし、自主的な制作をする	1080
6回	テーマ ..... 内容	中間講評Ⅰ 相互評価	実習、A I L	講評を反映して制作する	180
7回	テーマ ..... 内容	粘土による頭像制作Ⅱ	実習、A I L	粘土管理をし、自主的な制作をする	1260
8回	テーマ ..... 内容	中間講評Ⅰ 相互評価	実習、A I L	講評を反映して制作する	180
9回	テーマ ..... 内容	粘土による頭像制作Ⅲ	演習、A L	粘土管理をし、自主的な制作をする	1800
10回	テーマ ..... 内容	最終講評・評価	実習、A I L	評価を反映し、次作の計画を立てる	180

科目名	美術史基礎演習Ⅰ(1美)				開講学年	1	講義コード	1671701	区分	選必	
英文表記	Basic Study for Art History I				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A312						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	作品解説 展覧会評 作家論 評論 構造分析										
授業概要	<p>本学科の人材育成の目標の一つに、「芸術・文化における多様な基本的知識と教養を身に付ける」があり、本科目は芸術文化コース1年生の初めての専門科目として必要不可欠な科目である。美術雑誌や展覧会図録、新聞、美術史学や芸術学、美学等の学術雑誌に掲載された1～3回で読み切れる長さの、さまざまなジャンルの作品解説や展覧会評、作家論、美術評論、美術理論、学術論文などを採り上げて読み進めることで、美術や芸術に関わる著作物にはさまざまな言説・論述形態があることを学び、基礎的かつ専門的な記述力を養うとともに、展覧会等の観覧によって初歩的なフィールドワーク力を養う。</p>							関連科目			
								西洋美術史、日本美術史、東洋美術史、美術概論、西洋彫刻論、美術ジャーナル論など			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	作品解説の構造を知り、作品解説が書けるようになる。									
	②	作家略歴の書き方を知り、作家略歴が書けるようになる。									
	③	展覧会評の構造を知り、展覧会評が書けるようになる。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	75	0	10	15	100		
教科書	授業の中で配布										
参考書	美術批評家著作選集 ゆまに書房 五十殿利治監修 美術批評史 みすず書房 リオネロ・ヴェントゥーリ著 辻 茂訳 各種図録										

予備知識	特に必要ありませんが、新聞や美術雑誌等に掲載された展覧会案内や展覧会評に目を通すくせをつけて欲しい。
DPとの関連	芸術文化研究の基礎的方法や専門的知識を学び、論理的思考力を身に付けることで、さまざまな問題や課題を論理的に解決する力が身に付けられる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	課題として「作品解説」(計3本)(各15点)と「展覧会評」2本(各15点)を書いてもらい、それらと出席率(15点)、ポートフォリオ(10点)を総合して評価する。合計が6割に満たない場合は課題を再提出させる。

作成された課題は毎年開催される美術学科展に展示物として展示する。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	概説	講義 演習	授業の進め方・目標を理解する	0
	内容	オリエンテーション(講義の説明と資料配布) 平面の作品(西洋・日本・東洋)解説の読解とその構造分析			
2回	テーマ	作品解説とは	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	平面の作品(西洋・日本・東洋)解説の読解とその構造分析			
3回	テーマ	作品解説とは	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	立体の作品(西洋・日本・東洋)解説の読解とその構造分析			
4回	テーマ	作品解説とは	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	立体の作品(西洋・日本・東洋)解説の読解とその構造分析			
5回	テーマ	展覧会評とは	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	新聞や美術雑誌掲載の展覧会評の読解とその構造分析			
6回	テーマ	展覧会評とは	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	新聞や美術雑誌掲載の展覧会評の読解とその構造分析			
7回	テーマ	美術評論とは	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	作家論もしくは美術評論の読解とその構造分析			
8回	テーマ	美術評論とは	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	作家論もしくは美術評論の読解とその構造分析			
9回	テーマ	学術論文とは	講義 演習	配布資料の復習	50
	内容	学術論文の読解とその構造分析			
10回	テーマ	学術論文とは	講義 演習	配布資料の復習	50
	内容	学術論文の読解とその構造分析			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	展覧会の見学	AL	なし	0
	内容	展覧会評を書くための展覧会の見学			
12回	テーマ	展覧会評を書く	AL	展覧会評(1)を事前に作成してくる	120
	内容	展覧会評を書く(1)執筆・発表・添削			
13回	テーマ	展覧会評を書く	AL PBL	展覧会評(2)を事前に作成してくる	120
	内容	展覧会評を書く(2)執筆・発表・添削			
14回	テーマ	作品・作家解説を書く	AL PBL	作品解説・作家解説(1)を事前に作成	120
	内容	作品解説・作家解説(1)執筆・添削			
15回	テーマ	作品・作家解説を書く	AL PBL	作品解説・作家解説(2)を事前に作成	120
	内容	作品解説・作家解説(2)執筆・添削			
16回	テーマ	仕上げ	AL 実習	授業の前にパネル原稿を作成	120
	内容	パネル原稿の作成・出力・カッティング			

科目名	視覚造形実習ⅠA(1美)		開講学年	1	講義コード	1671901	区分	選択		
英文表記	Visual Arts work ⅠA		開講期	前期	開講形態		単位数	6		
担当教員	永田 郁 三枝泰之 林浩(非常勤) 野島泉里(非常勤)									
研究室	永田L号館A208 三枝L号館D315					オフィス アワー 水曜日5限(永田)				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	アート制作 ドローイング 素材・道具 グラフィック・アート									
授業概要	<p>視覚芸術コースのカリキュラムの視覚造形実習ⅠA、ⅠBの実技実習と連動して、本演習は理論と制作に必要な言語・思考能力について受講者のプレゼンテーション、ライティング(レポート作成)を通して、「アートって何」という問いに対して、理解を深め、制作に必要な「抽象力」を高めることを目的とする。その他、ダンボール自画像を通して、客観的に自分を見つめ、それを如何にアウトプットするか、企画構想から制作までを自分の立てた計画に即して実現出来るかを検証していく。視覚造形実習ⅠA概要 本実習は視覚芸術コース独自のプログラムであり、アート制作にあたってデザイン的表現方法を含め、様々な領域を横断して作品制作が可能となる基本的な思考・方法論を学び、2年次以降自分が構想するイメージを多様なメディアを統合して作品制作できる基礎的なものの見方、考え方およびデザインの思考を学び、アート制作の基盤を構築する。前期は①素材の取り扱い、道具の扱いなどの技術実習②グラフィック・アート領域、③デッサン・ドローイングで構成される。アート制作に必要な基本的な技術・発想法を含めアートへのアプローチの方法を習得していく。なお、理論およびプレゼンテーション、ライティングの技術については視覚造形演習A、B(永田担当)において習得していく。本実習は週2コマ×3回で実施される。2年次以降のアート制作を実現するための様々なツール(デザイン領域、アート理論領域)を修得し、自分が制作したい作品内容を実現するための方法を様々な分野を横断しながら、作品に落とし込み、その表現方法を身につけていく。各領域の担当開講曜日は下記の通りである。水曜日1-2限:素材の取り扱い・実技実習(林浩[美/非])、木曜日1-2限:グラフィック・アート系(三枝[デ]) 金曜日3-4限:デッサン・ドローイング(野島[泉])[美/非]・永田[美])</p>						関連科目			
							視覚造形実習ⅠB/視覚造形演習A/視覚造形演習B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。						学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	アート制作にあたり、必要な基本的なものの考え方、素材や道具の扱い方、体を動かして発想する方法を理解できる。								
	②									
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	80	10	10	0	100	
教科書	特に指定しない。									
参考書	<p>100の思考実験—あなたはどこまで考えられるか— 紀伊國屋書店 ジュリアン・バジーニ          デザインの生態学—新しいデザインの教科書 東京書籍 後藤武著          ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」精読 岩波書店 多木浩二          文化と現実界 青土社 キャサリン・ベルシー          生き延びるためのラカン バジリコ株式会社 斉藤環</p>									



予備知識	
DPとの関連	視覚芸術コースとしての造形活動に対する初歩的・基本的な考え方・ものの見方を思考と体を動かしながら身につけていく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	各クラスの課題80%、ポートフォリオ10%、目標到達度レポート10%の100点。

本実習内容は曜日毎に内容が異なるので、オリエンテーションには必ず出席すること。

学修上の  
注意  
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)		授業内容	講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	林浩(非常勤)クラス 素材・道具の扱い方・発想	講義	課題の概要を知る	180
	内容	授業概要の説明			
2回	テーマ	立方体の概念の確認	レクチャー — 実習	正確な立方体をつくるための道具と技術を知る	180
	内容	ゲント紙による10mm×10mm×10mmの立方体の制作・立方体の概念の確認			
3回	テーマ	製作技術の習得	レクチャー — 実習	アクリル板のカット技術の習得	180
	内容	アクリル板(10mm×10mm×10mm×2mm)6枚の貼り合わせによる立方体の制作			
4回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	マイナス空間(何もない部分)を構成要素として使用するpart 1	180
	内容	ゲント紙(10mm×10mm)とスチレンボード(5mm×5mm)を素材とした積層による立方体の制作			
5回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	マイナス空間(何もない部分)を構成要素として使用するpart 2	180
	内容	ゲント紙(10mm×10mm)の噛み合わせによる立方体の制作			
6回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	マイナス空間(何もない部分)を構成要素として使用するpart 2	180
	内容	発泡ウレタンボードの面材(10mm×10mm)×6枚を任意の形でくりぬいたものによる立方体の制作			
7回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	素材の特徴の理解と切削、接着技術の習得	180
	内容	段ボール(10mm×10mm×3mm)を素材とした積層による立方体の制作			
8回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	材の特徴の理解と切削、接着技術の習得及びマイナス空間(何もない部分)を構成要素として使用するpart 4	180
	内容	段ボール(10mm×10mm×3mm)とボール紙(サイズは任意)を素材とした積層による立方体の制作			
9回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	素材の特徴の理解と切削、接着技術の習得	180
	内容	線材(竹串)の積層による立方体の制作			
10回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	素材の特徴の理解と切削、接着技術の習得	180
	内容	粒子材の集合による立方体の制作			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	オリジナル素材による立方体の制作素材技術の発想力	180
	内容	任意の面材(10mm×10mm×10mm)6枚の貼り合わせによる立方体の制作			
12回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	オリジナル素材による立方体の制作素材技術の発想力	180
	内容	任意の面材(10mm×10mm×10mm)6枚の貼り合わせによる立方体の制作			
13回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	オリジナル素材による立方体の制作素材技術の発想力	180
	内容	任意の線材の積層による立方体の制作			
14回	テーマ	立方体の概念の確認と製作技術の習得	レクチャー — 実習	オリジナル素材による立方体の制作素材技術の発想力	180
	内容	任意の粒子材の集合による立方体の制作			
15回	テーマ		レクチャー —	反省と今後の課題	180
	内容	作品講評とまとめ			
16回	テーマ	三枝泰之クラス グラフィックアート領域	レクチャー — 実習		180
	内容	①全体概要と展望テクノロジーやデザインとの関連の中からグラフィックアートの位置、基礎的な準拠について理解する。			
17回	テーマ	②洞窟絵画	レクチャー — 実習		180
	内容	ラスコーやアルタミラの洞窟絵画について理解する。「ベジヤミジ複製技術時代の芸術作品」の講読から、礼拝的価値/展示的価値を理解する。			
18回	テーマ	③複製技術	レクチャー — 実習	並行した関連制作(1)	180
	内容	「ベジヤミジ複製技術時代の芸術作品」の講読から、写真技術とデウラの関係を理解する。			
19回	テーマ	④再現(リプレゼンテーション)	レクチャー — 実習	並行した関連制作(2)	180
	内容	再現としての模倣/寓意/比喩に関わる古典芸術と中世・現代芸術について理解する。			
20回	テーマ	⑤絵画芸術の寓意	レクチャー — 実習	並行した関連制作(3)	180
	内容	17世紀オランダ絵画/フェルメールとカメラ・オブスクーラ			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容	講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
21回	テーマ ①ー⑤の総括 内容 ①ー⑤のまとめと中間発言・発表			180
22回	テーマ ⑦文化と現実界(1) 内容 文化と現実界ノデルフルワイーニ夫妻の肖像 a.	レクチャー —実習	並行した関連制作(4)	180
23回	テーマ ⑧文化と現実界(2) 内容 文化と現実界ノデルフルワイーニ夫妻の肖像 b.	レクチャー —実習	並行した関連制作(5)	180
24回	テーマ ⑨文化と現実界(3) 内容 文化と現実界ノラス・メニエチス	レクチャー —実習	並行した関連制作(6)	180
25回	テーマ ⑩近代絵画のはじまり 内容 ミシェル・ラーゴワノマネ論	レクチャー —実習	並行した関連制作(7)	180
26回	テーマ ⑪20世紀絵画(1) 内容 媒体の固着性と行為ノアクション・ペインティングノイベント ルーチョ・フォンタナノジャクソン・ポロックノイブ・クラインノ	レクチャー —実習		180
27回	テーマ ⑫20世紀絵画(2) 内容 「これはパイプではない」アルネ・マグリット 記号論の理解(ジニツイエノジニフィアン)	レクチャー —実習		180
28回	テーマ ⑬20世紀絵画(3) 内容 大衆文化としてのアートノポップ・アート(デジダイン・ウオーホル、ロイ・リキテンシュタイン)スーパー・フラット(村上隆)ネオデニー	レクチャー —実習		180
29回	テーマ ⑭映画と平面芸術 内容 「ベンジャミン複製技術時代の芸術作品」の講読から、映画の知覚を理解する。	レクチャー —実習		180
30回	テーマ 総括 内容 ⑦ー⑭までのまとめ。			180

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
31回	テーマ	野島泉里(非常勤)・永田 ドローイング ドローイング課題1(3週)	実習	いわゆるデッサンは、ドローイングの中の一手法であるといえる。様々なドローイングの方法を体験しながら、五感で物事をとらえる手段としてのドローイングを身につける。	540
	内容				
32回	テーマ	ドローイング課題2(3週)	実習		540
	内容				
33回	テーマ	ドローイング課題3(3週)	実習		540
	内容				
34回	テーマ	ドローイング課題4(3週)	実習		540
	内容				
35回	テーマ	ドローイング課題5(3週)	実習		540
	内容				

科目名	視覚造形演習A(1美)				開講学年	1	講義コード	1672101	区分	選択	
英文表記	Visual Art Basic Seminar A				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	A208(芸術学部棟)						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アートって何 ダンボール自画像 企画構想 芸術理論 抽象力										
授業概要	視覚芸術コースのカリキュラムの視覚造形実習IA、IBの実技実習と連動して、本演習は理論と制作に必要な言語・思考能力について受講者のプレゼンテーション、ライティング(レポート作成)を通して、「美術って何」という問いに対して、理解を深め、制作に必要な「抽象力」を高めることを目的とする。その他、ダンボール自画像を通して、客観的に自分を見つめ、それを如何にアウトプットするか、企画構想から制作までを自分の立てた見積に即して実現出来るかを検証していく。							関連科目			
								視覚造形実習IA、視覚造形実習IB、視覚造形演習B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像が表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	自分の調べた課題を口頭で発表し、さらにその内容を文章化できる。									
	②	自分の作りたいイメージを如何に実現化するかについて、企画・構想から予算立て、制作までの詳細を自分で計画し、実現できる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	40	40	10	10	0	100		
教科書	美術ってなあに? 河出書房新社 スージー・ホッジ 上記のテキストは購入の必要なし、適宜コピーを配布する。										
参考書	5歳の子どもにできそうでできないアート 現代美術の100の読み解き 東京美術 スージー・ホッジ 制作へ EKRITS 上妻世海 路上と観察をめぐる表現史 考現学の「現在」 フィルムアート社 広島市現代美術館監修 抽象の力 亜紀書房 岡崎乾二郎 時のかたち 事物の歴史をめぐる 鹿島出版会 ジョージ・クブラー										

予備知識	
DP との 関連	視覚芸術コースとしての造形活動に対する初歩的・基礎的な考え方・ものの見方を身につけていく。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	プレゼンテーション／レポート(40)、課題(企画書、制作)(40)、ポートフォリオ(紙媒体、10)、目標到達度レポート(10)



オリエンテーションでは、視覚芸術コースの卒業研究(制作)までの実習・演習の流れを説明するので、必ず出席のこと。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ ..... 内容	オリエンテーション 視覚芸術で何を学ぶことができる 本演習のオリエンテーション	講義		180 (1)
2回	テーマ ..... 内容	『美術ってなあに?』を読む、調べる。4月-5月 『美術ってなあに?』を読んで、アートに関わるテーマを各自がリサーチし、発表する。	講義・演習	毎回発表したテーマについて発表後、レポート作成する。	900 (2-6)
3回	テーマ ..... 内容	段ボール自画像制作 6月 7月1-7日の学科展に向けて、企画構想・予算立て・制作。	実習		720 (7-10)
4回	テーマ ..... 内容	作品撮影 (7月第1週) 学科展の展示作品の撮影	実習		180 (11)
5回	テーマ ..... 内容	展覧会見学 (7月第2週) 熊本県内外の展覧会を見学する。	鑑賞見学	観覧後、展評作成。	180 (12)
6回	テーマ ..... 内容	路上観察と表現 (7月後半-8月第1週) 路上観察から表現の種を探す。	演習	路上観察の成果を発表する。ポートフォリオ作成。	720 (13-16)

科目名	共通絵画実習Ⅱ（洋画）（2美）				開講学年	2	講義コード	1672501	区分	選必	
英文表記	Common OilPainting practiceⅡ				開講期	前期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	下城賢一 熊谷有展										
研究室	L号館A102						オフィス アワー 月1,2				
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	銀筆デッサン、展覧会見学										
授業概要	デッサンを中心とした洋画の基礎造形をとおり、描く力を養い、また、九州各県の美術館で開催されている展覧会を見学し、絵画の幅広い表現に触れる。							関連科目			
								共通絵画実習Ⅰ（日本画）			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目（中学校及び高等学校 美術）【各科目に含めることが必要な事項】…絵画（映像がデッサン表現を含む）							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	細密描写ができる									
	②	画家とその作品の時代性が理解できる									
	③	優れた作品と対峙する事で、自身の作品を考えることができる									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	40	10	30	10	10	100		
教科書	特になし										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	展覧会見学については、1ヶ月以上前より日程と展覧会の内容を告知する。
DPとの関連	国内外の美術展を見学することで、幅広い絵画表現の現場に触れる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	展覧会見学参加、レポート、作品提出

レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	細密デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	720
	内容	銀筆による細密デッサン			
2回	テーマ	鑑賞	見学演習	該当する展覧会の作家や作品について調べておく	1980
	内容	国内外の美術展を見学			

科目名	日本画実習ⅡA(2美)				開講学年	2	講義コード	1672701	区分	選必	
英文表記	Japanese PaintingⅡA				開講期	前期	開講形態		単位数	8	
担当教員	佐藤 和歌子										
研究室	A412						オフィス アワー 火曜・昼休み				
メールアドレス	w-sato@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具,運筆,色紙,短冊,白描法,彫塗,没骨,溜塗,たらし込み										
授業概要	<p>明治以降、日本の生活文化は大きく西洋文化の影響を受けながら変化してきた。日本絵画の世界もそれに伴ない大きく変化し、現代においては会場芸術として額装形態の作品が主流となるが日本建築の存続に対し、軸・色紙・短冊の形態も根強く残ることとなる。この形態・様式に対する理解と伝統技法の習得を目指す。</p>							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	墨・和紙の性質を理解できるようになる									
	②	筆の種類・基本的使用方法・様々な筆法を理解できるようになる									
	③	色紙・短冊等の性質と形態の特徴に起因する特有の表現様式を理解できるようになる									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席(10点)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書											

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	一作品ごとに合評・採点を行う。



この実習は単時限完結であるため、前回の実習における技術的反省点を各自クリアしておくことが重要である。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ ..... 内容	運筆 筆と筆法	実習	画材や技法について十分に検討する	180
2回	テーマ ..... 内容	運筆 潤筆と乾筆、直筆と側筆	実習	画材や技法について十分に検討する	180
3回	テーマ ..... 内容	運筆 和紙の種類・ドーサの有無による相違	実習	画材や技法について十分に検討する	180
4回	テーマ ..... 内容	運筆 干濃淡	実習	画材や技法について十分に検討する	180
5回	テーマ ..... 内容	運筆 竹の鉛筆写生	実習	画材や技法について十分に検討する	180
6回	テーマ ..... 内容	運筆 墨で描く(付立)	実習	画材や技法について十分に検討する	180
7回	テーマ ..... 内容	運筆 谷評・採点	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
8回	テーマ ..... 内容	色紙・短冊 色紙・短冊の技法 百描法・彫塗り・波膏・溜塗り・だらし込み等の表現技法	実習	画材や技法について十分に検討する	180
9回	テーマ ..... 内容	色紙・短冊 色紙 野菜・果物の鉛筆写生	実習	画材や技法について十分に検討する	180
10回	テーマ ..... 内容	色紙・短冊 色紙 墨・顔彩で描く	実習	画材や技法について十分に検討する	180

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	色紙・短冊	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	色紙 風景写生(鉛筆淡彩)			
12回	テーマ	色紙・短冊	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	色紙 墨彩画(墨ど顔彩)			
13回	テーマ	色紙・短冊	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	短冊 花の写生(鉛筆淡彩)			
14回	テーマ	色紙・短冊	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	短冊 墨彩画(墨ど顔彩)			
15回	テーマ	色紙・短冊	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	短冊 墨彩画(墨ど顔彩)			
16回	テーマ	色紙・短冊	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	合評・採点			

科目名	洋画実習ⅡA(2美)				開講学年	2	講義コード	1672901	区分	選必	
英文表記	Oil PaintingⅡA				開講期	前期	開講形態		単位数	8	
担当教員	熊谷有展 上野洋嗣(非常勤)										
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金曜日5時限目				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	洋画実習ⅡA										
授業概要	<p>洋画実習を経て、絵画の総合的な完成を求める。絵画上で表現力を養い、総合的な作品と共にプレゼンテーションができる様にする。発想と技術の重要性に目を向け、個々の感性による表現を大切にす。対象物を観察し、調和の取れた感動ある作品を目指す。この授業には汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。</p>							関連科目			
								洋画実習ⅠA、ⅠB			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	絵画上の表現力を身に付けることができる									
	②	感性による表現を大切にすることができる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	70	10	20	100		
教科書	プリント配布										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	洋画実習ⅠA,ⅠBを経て、絵画の総合的な完成を求める洋画実習ⅢBへと繋がる。
DPとの関連	汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理能力の内容も含まれている。
実務経験のある教員	
評価明細基準	テーマ作品の提出と出席

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	制作	実習	人物着衣を描く、オリエンテーション、デッサン、エスキース、油彩による着彩	720
	内容	人物画(油彩)			
2回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
3回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
4回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
5回	テーマ	制作	"	" 作品講評	720
	内容	"			
6回	テーマ	制作	実習	静物を描く、オリエンテーション、発想、デッサン、エスキース、油彩による着彩	720
	内容	静物画(油彩)			
7回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
8回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
9回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
10回	テーマ	講評	" 講評	" 作品講評	720
	内容	"			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	制作	実習	人物ヌードを描く、オリエンテーション、デッサン、エスキース、 油彩による着彩	720
	内容	人物画(油彩)			
12回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
13回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
14回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
15回	テーマ	講評	" 講評	" 作品講評	720
	内容	"			



科目名	彫刻実習ⅡA(2美)			開講学年	2	講義コード	1673101	区分	必修	
英文表記	sculpture work 2A			開講期	前期	開講形態		単位数	6	
担当教員	川畑 浩徳									
研究室	L-A-216					オフィス アワー 月曜 5限				
メールアドレス	@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	塑像による全身像									
授業概要	<p>塑像による人体の全身像を制作する。対象を鋭く観察し、様々なアプローチを試みることによって、人体の持つ存在感やムーブメントを的確に捉える修練や、それを立体で表現する能力を高める。粘土の持つ可塑性を駆使した表現を自ら探求する姿勢を身につける 作品の自己評価力を高める 作品管理能力、自己管理能力の向上を目指す。</p>						関連科目			
							基礎科目:西洋美術史特論Ⅰ、西洋美術史特論Ⅱ、美術領域論Ⅱ(立体)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	ポーズを理解できるようになる								
	②	量塊の的確な構成(デッサン)ができるようになる								
	③	写実に基づくモデリングができるようになる								
	④	モデルの個性を掴み、表現できるようになる								
	⑤	自分の制作した作品について、とことん追求する姿勢を身につけることができるようになる								
	⑥	作品についてプレゼンテーションすることができるようになる								
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	20	60	10	10	100	
教科書	適宜指示する									
参考書	適宜指示する									

予備知識	石膏技法実習
DPとの関連	美術表現者としての専門性、感性を伸ばし、徹底した観察に基づく制作姿勢を貫かせることは、自ずから作家としての資質のみならず、人間性を育てることにつながり、DPを達成する要素を網羅した授業内容である。
実務経験のある教員	
評価明細基準	・作品制作への姿勢 ・観察力、探究心 ・立体造形の技術力 ・基礎デッサン力 ・作品管理能力 ・自己管理能力

・全身像への取り組みは、精神的、体力的にもハードルが高くなる。したがって、授業に臨む前の準備、その後の作品管理も含め、計画的に制作していく必要がある。作品が完成するまでの、長期間の制作で、いかに多くの発見ができるか、常に新しい発見に挑む姿勢で制作することが大切である。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ ..... 内容	オリエンテーション	講義	内容の確認	90
2回	テーマ ..... 内容	ポーズ決定のためのデッサン	実習、A L	ポーズの研究を予習する	540
3回	テーマ ..... 内容	ポーズの決定と分析	実習、A L	ポーズの研究(復習)	180
4回	テーマ ..... 内容	心棒組み	実習、A L	必要な材料を準備する	360
5回	テーマ ..... 内容	制作Ⅰ 荒付け	実習、A L	構築的に粘土を荒付けする	2160
6回	テーマ ..... 内容	中間講評Ⅰ 相互評価	実習、A L	講評を反映して制作する	180
7回	テーマ ..... 内容	制作Ⅱ 展開	実習、A L	観察を基にバランスよく全体の粘土をつけ、方向性を探りながら制作する	2160
8回	テーマ ..... 内容	中間講評Ⅱ 相互評価	実習、A L	講評を反映して制作する	180
9回	テーマ ..... 内容	制作Ⅲ まとめ	実習、A L	問題点を探りながら、仕上げに向けて制作を深める	3330
10回	テーマ ..... 内容	最終講評・評価 相互評価	実習、A L	講評を反映して、次作への計画を立てる	180

科目名	木彫実習(2美)		開講学年	2	講義コード	1673301	区分	必修		
英文表記	Wood carving (Practicum)		開講期	前期	開講形態		単位数	4		
担当教員	森 英顕 (非常勤)									
研究室	本館1階 非常勤講師室				オフィス アワー 火曜日 授業の前後					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	彫刻 木彫 立体造形 木工技法									
授業概要	<p>本授業では、木という実材(作品として恒久的に設置することを想定した素材)から彫刻を生み出すプロセスを通して木彫の基本的な技術を学び、素材の持つ要素・特性と向き合いながら魅力的な彫刻作品を生み出すことを目的とします。木彫制作といった物体を手で加工する行為は、視覚情報に合わせて手接触を通じた身体感覚情報を一致させ認識することにより、より正確な体性感覚を身に付けることができます。体性感覚とは触覚や圧覚、位置・動き・力の感覚などです。正確な体性感覚は、加工技能の向上だけではなく、社会にあふれる様々な情報を正確に判断する自分自身の物差しを持つことができ、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養います。自己身体の持つ感覚と物体との関わりを木彫制作を通して学び、汎用的造形力・表現力を体得し、各自の表現活動に生かすことのできる能力を養います。</p>						関連科目			
							彫刻実習 2B、3A、3B、4A、4B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	木彫制作に必要な道具の扱い方を習得することができる。								
	②	重さ・硬さ・色など、木が持つ形の強さや魅力を知り、立体造形に必要な構造・要素を発見することができる。								
	③	木の素材と向き合い、自分の手で作品を生み出す創造力・実践力を養うことができる。								
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	20	60	10	10	100	
教科書	授業の中で適宜配布する									
参考書	授業の中で適宜配布する									

予備知識	<p>塑造、造形</p>
DPとの関連	<p>実習科目として位置づけられる本授業を通して、立体表現の初歩的な技術及び理解を得ることが期待できる。【知識・理解】 その後の学修の基盤となる力を身に付けることが期待できる。【汎用的技能】 課題を通して幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付ける。【態度・志向性】</p>
実務経験のある教員	
評価明細基準	<p>出席・制作過程・完成作品などを考慮し、総合的に評価する。</p>

動きやすく作業に適した服装であること。作業には電動工具や刃物など危険を伴う道具を使用するため、注意説明をよく聞き、わからないことは事前に質問すること。事故防止のため、常に作業場の清掃や道具等の整理整頓に努めること。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	説明	講義	木彫の材料・道具について	180
	内容	ガイダンス			
2回	テーマ	木を彫る	実習	制作プランと寸法決め	180
	内容	木彫制作 01			
3回	テーマ	木を彫る	実習	木取りと粗取り	180
	内容	木彫制作 02			
4回	テーマ	木を彫る	実習	木取りと粗取り	180
	内容	木彫制作 03			
5回	テーマ	木を彫る	実習	構造について①	180
	内容	木彫制作 04			
6回	テーマ	木を彫る	実習	空間と量塊①	180
	内容	木彫制作 05			
7回	テーマ	木を彫る	実習	面と稜線①	180
	内容	木彫制作 06			
8回	テーマ	制作を振り返る①	実習	中間講評	180
	内容	木彫制作 07			
9回	テーマ	木を彫る	実習	構造について②	180
	内容	木彫制作 08			
10回	テーマ	木を彫る	実習	空間と量塊②	180
	内容	木彫制作 09			



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	木を彫る	実習	面と稜線②	180
	内容	木彫制作 10			
12回	テーマ	木を彫る	実習	全体と細部について	180
	内容	木彫制作 11			
13回	テーマ	木を彫る	実習	形と表現①	180
	内容	木彫制作 12			
14回	テーマ	木を彫る	実習	形と表現②	180
	内容	木彫制作 13			
15回	テーマ	木を彫る	実習	形と表現③	180
	内容	木彫制作 14			
16回	テーマ	制作を振り返る②	実習	プレゼンテーション及び講評	180
	内容	木彫制作 15			

科目名	石彫実習（2美）				開講学年	2	講義コード	1673401	区分	選択		
英文表記					開講期	前期集中	開講形態		単位数	2		
担当教員	野島 泉里（非常勤）											
研究室	硯川実習棟107						オフィス アワー 火曜日16時30分					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	石彫,構造,											
授業概要	<p>石の起源を調べると、地球の誕生までさかのぼる。これほど長い時間と生命を宿し続けている素材は他には無く、現代人の心をつつ石による巨大な建造物や都市などが、世界各地に現存していることは既によく知られている。古代の人々は、石を掘り磨くことを思いつくと同時に美を感じる心を発揮し、現代では想像も出来ないほどの根気と情熱を傾けて、素晴らしい動物や女性の像などを制作した。これらの作品は私たちに驚きと、人類の限りない生命力、可能性を教えてくれる。石彫技法を初歩から習得し、作家としての姿勢を認識しながら情熱ある作品作りを展開させたい。</p>								関連科目			
									建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分									学修・教育目標			
									JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	道具の扱いができるようになる										
	②	手掘りの技術を身に付けることができる										
	③	共同作業により協調性を身に付けることができる										
	④											
	⑤											
	⑥											
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計			
	0	0	0	10	10	50	10	20	100			
教科書	プリント											
参考書	プリント											

予備知識	塑造実習1A,1B,2A,2B,3A,3B
DPとの関連	造形活動を通して培った汎用的造形力・表現力を生かし、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できるの能力を身に付ける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	作品と制作に対する姿勢を総合的に判断し評価する

Gパンのような生地の厚い長ズボン・長袖シャツ・運動靴・帽子か手ぬぐい・軍手を用意しておくこと。（メガネ、マスクは学校で用意します）

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	石の性質と動かし方・重心について	実習	イメージデッサン	270
2回	テーマ ..... 内容	道具(ノミ・ゴヤスゲ・ピジャン・ヤスリ・電動工具など)の使い方と作業時の服装について	実習	エスキースの制作(粘土か石膏)	270
3回	テーマ ..... 内容	デッサンと実在の関係について	実習	制作(実材)	270
4回	テーマ ..... 内容	面の彫り方の理解	実習	制作(実材)	270
5回	テーマ ..... 内容	良い作品と生命感の理解 完成・作品講評(全体・個人)	実習		270

科目名	デザイン表現演習Ⅰ(2美)			開講学年	2	講義コード	1673501	区分	選択	
英文表記	Design Expression Practice			開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	三枝泰之									
研究室	D315					オフィス アワー 月曜3時限目				
メールアドレス	lunacy@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	DTP									
授業概要	自分の研究している内容を文章(テキスト)とともに、図や写真などを組み合わせ、視覚的にその内容を伝える能力が美術史を学習していく上でも重要である。本演習では視覚伝達デザインの基礎的な知識・技術についての理解を深め、実際にPhotoshopやIllustratorのソフトの基礎的な操作を学ぶ。上記のソフトを使用して、ポスターやチラシ、また展示パネルなどの制作ができる能力を習得する。						関連科目			
							メディアデザイン実習、コンテンツ制作実習、広告デザイン実習、グラフィックデザイン実習、総合造形実習			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	グラフィックアプリケーションの基本操作の修得								
	②									
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	10	10	10	70	100	
教科書	授業の中で指示する									
参考書	世界一わかりやすいIllustrator 操作とデザインの教科書 Web ピクセルハウス									

予備知識	PCの基本的な仕組みの理解
DPとの関連	優れた応用力を有するための、汎用的基礎力と基本的な専門知識を身につけることで社会の中に発信していく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	① 授業中の質疑や課題発表から学生の理解度を評価する。② 並行した関連制作を通して、受講者の理解度を確認・評価

コンピューターやソフトの操作は慣れることは必要です。日常的にコンピューターに触れる機会を多くつくること。

学修上の  
注意  
(SBOs)



授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	授業全体に関するオリエンテーション	視覚資料による講義	シラバス確認・オリエンテーション	20
	内容	WebClass、Webmailの理解、PCの仕組み/USBメモリ			
2回	テーマ	アプリケーション/フォント	視覚資料による講義・実習	アプリケーションを使った理解	20
	内容	文字、CG、動画、画像、ラスター/ベクター			
3回	テーマ	イラストレータの理解__01	視覚資料による講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	イラストレータの基本(ベジェ曲線)			
4回	テーマ	イラストレータの理解__02	視覚資料による講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	トレース基本1			
5回	テーマ	イラストレータの理解__03	視覚資料による講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	トレース基本2			
6回	テーマ	イラストレータの理解__04	視覚資料による講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	文字入力、アウトライン化			
7回	テーマ	フォトショップの理解__01	視覚資料による講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	フォトショップの基本(ビットマップ)			
8回	テーマ	フォトショップの理解__02	視覚資料による講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	画像編集1			
9回	テーマ	フォトショップの理解__03	視覚資料による講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	画像編集2			
10回	テーマ	イラストレータの応用__01	視覚資料による講義・実習	アプリケーションを使った自学	20
	内容	ベジェ曲線とロゴマーク1			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	イラストレータの応用__02	視覚資料 による講 義・実習	アプリケーションを使った自学	20
	内容	ベジエ曲線とロゴマーク1			
12回	テーマ	フォトショップの応用__01	視覚資料 による講 義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	切り抜きコラージュ1			
13回	テーマ	フォトショップの応用__02	視覚資料 による講 義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	切り抜きコラージュ2			
14回	テーマ	イラストレータとフォトショップ	視覚資料 による講 義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	イラストレータとフォトショップの互換、下絵とグリiddingパス			
15回	テーマ	総括	視覚資料 による講 義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	20
	内容	まとめ			
16回	テーマ	公開発表	合評	発表	20
	内容	公開発表			

科目名	デザイン表現演習Ⅱ(2美)			開講学年	2	講義コード	1673601	区分	選必		
英文表記	Design Skills II			開講期	前期	開講形態		単位数	2		
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日5限					
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	ドキュメント制作 写真撮影 画像加工・編集										
授業概要	文化財を含む芸術作品を対象とする美術史という学問は自分の目で観察した芸術作品を言葉で伝えるというのが基本的な作業となる。その一方、対象とした作品を映像、特に視覚イメージとして映像技術で再現・記録することも美術史研究にはなくてはならない能力である。本講義では芸術作品の記録・加工・編集という観点から「写真」を用いた資料についての考え方の他、カメラの扱い方、写真撮影の基本操作について講義と撮影実習を通して学んでいく。講義については事前に配布されたテキストを精読しておくこと。実践編では使用する機材(カメラ、ライティング機材など)を扱える状態しておくので、事前に触って、実践にスムーズに進めるような状態にしておくこと。							関連科目		芸術文化専門科目全般、デザイン表現演習Ⅰ、視覚造形実習Ⅰ-Ⅳ、博物館実習	
								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	文化財を含む芸術作品について理解を深めるために映像表現をどのように活用できるかについて理解できる。									
	②	基礎的な写真撮影の操作およびドキュメント作成ができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	60	0	10	30	100		
教科書	特に指定しない。										
参考書	光と影の芸術 平凡社 東京都写真美術館編 たのしい写真 よい子のための写真教室 平凡社、2009年 ホンマタカシ 写真がもっと好きになる。菅原一剛の写真ワークショップ。ソフトバンククリエイティブ、2008年 菅原一剛 フィルムカメラの教科書 雷鳥社 キッチンミノル										

予備知識	写真を撮ることに日常的に慣れておくこと。
DPとの関連	造形活動および芸術文化研究に必要なドキュメント作成能力を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	講義および実践の積極的な取り組み(30%)と課題提出(60%)、その他SOJOポートフォリオの提出により評価する。

レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽竊は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ オリエンテーション	授業の進め方	講義		90
2回	テーマ 写真を読む①	画像取り込み/好きな写真の記述	演習/実習	課題①作成	180
3回	テーマ 写真を読む②	画像取り込み/好きな写真に自分でタイトルをつける	演習/実習	課題②作成	180
4回	テーマ カメラを知る。	カメラとフィルムの種類/レンズの種類`スライドフィルム鑑賞`DAMCAMによる撮影	講義		180
5回	テーマ スナップ写真を撮ろう①	写るんです篇	演習	写るんです撮影、現象、プリント	180
6回	テーマ スナップ写真を撮ろう②	ポラロイドカメラ篇	演習	ポラロイド撮影	180
7回	テーマ マニュアル一眼レフカメラの撮影体験	ネガとポジ・フィルムの撮影実習	撮影実習		180
8回	テーマ 撮影実習	カメラの基本操作と心構え`作品の撮影(三脚および照明を使用して)`総括	撮影実習		180

科目名	西洋美術史特論Ⅰ(2美)				開講学年	2	講義コード	1673701	区分	選必	
英文表記	History of Western Art Advanced I				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A312						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	美術史学 芸術学 芸術家列伝										
授業概要	<p>本学科の目標の一つに高度な専門知識を総合的に身に付けるということが挙げられるが、本科目は美術史を専門とする学生にとって必要不可欠の科目である。本科目では、これから芸術を理論的に学んでいく学生のために、美術史学とは何か、芸術学とは何かについて理解を深めるとともに、それらの「学」としての成立や、発展・展開の歴史について学ぶ。平成31年度は、特にイタリアのヴァザーリが書いた芸術家列伝と、列伝中に取り上げられた作家の中から数名を取り上げて作品を見ながら考察していく。</p>							関連科目			
								西洋美術史 西洋彫刻論 など			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	古代から近世にかけての美術史学の展開を理解する。									
	②	文献を正確に読む能力を身につける。									
	③	資料から得られる情報を整理し、整理した情報を根拠として、専門用語を使いながら作家や作品に対する自身の考えを書く能力を身に付ける。									
	④	自分で文章化した内容を要領よく適切にプレゼンテーションできるようになる。									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	35	40	0	10	15	100		
教科書	授業時に配布										
参考書	<p>美術史学の歴史 中央公論美術出版 ウード・クルターマン ISBN4-8055-0289-4  「北方画家列伝」注解 中央公論美術出版 カーレル・ファン・マンデル ISBN978-4-8055-0705-6  芸術家列伝 第1,3,4,5 中央公論美術出版 ジョルジョ・ヴァザーリ  他</p>										

予備知識	特になし。
DPとの関連	芸術文化研究における専門家として社会で活躍するために、専門的知識(ここでは美術史学や芸術学の成立や展開に関する知識)や論理的思考力、プレゼンテーション力を身に付ける。また、4年次の卒業研究に向け、課題や問題に対する古代から近代までの解決方法を学修することができる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	成績の評価は、プレゼンテーションとレポートを中心に、ポートフォリオと出席状況も加味して行う。合計が6割に満たない場合はレポート再提出とする。



プレゼンテーションと課題(レポート)提出がある。参考書は図書館や芸術学部図書室に配架されている。記載された参考書以外の関連書籍も参照して自習して欲しい。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	概説	講義	配布資料の復習	30
	内容	オリエント・モダニズムの美術批評／ドイツ語入門			
2回	テーマ	古代～中世	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	古代～中世までの美術批評／ドイツ語入門			
3回	テーマ	中世～近世	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	中世～近世の美術批評／ドイツ語入門			
4回	テーマ	イタリアの美術家列伝	講義 講読	配布資料の復習	30
	内容	ヴァザリとヴァザリ美術家列伝／ドイツ語入門			
5回	テーマ	イタリアの美術家列伝	講義 講読	配布資料の復習	30
	内容	ヴァザリ美術家列伝／ドイツ語入門			
6回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習	30
	内容	ジョットと列伝の記述			
7回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習 発表対象決定	30
	内容	ジョットと列伝の記述			
8回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習 プレゼン準備	60
	内容	ジョットと列伝の記述			
9回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習 プレゼン準備	60
	内容	レオナルド・ダ・ヴィンチと列伝の記述			
10回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習／プレゼン準備	60
	内容	レオナルド・ダ・ヴィンチと列伝の記述			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習／プレゼン準備	60
	内容	レオナルド・ダ・ヴィンチと列伝の記述			
12回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習／プレゼン準備	120
	内容	ヤコポ・カルッチ・ダ・ボンドルモと列伝の記述			
13回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習／プレゼン準備	120
	内容	ヤコポ・カルッチ・ダ・ボンドルモと列伝の記述			
14回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習／プレゼン準備	180
	内容	ヤコポ・カルッチ・ダ・ボンドルモと列伝の記述			
15回	テーマ	プレゼン まとめ	AL PBL	レポート提出	180
	内容	学生によるプレゼンテーション 総括			

科目名	芸術学演習Ⅱ（原書講読）（2美）				開講学年	2	講義コード	1674001	区分	選必	
英文表記	Seminar on Arts (Reading Original Texts) II				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A312						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	解読,草書体,明治期										
授業概要	<p>本学科の人材育成目標の一つに、専門分野に関する深い理解を獲得し、高度な専門家を養成することがあるが、本科目は、学芸員やそれに類する仕事に就くことを目指す学生には、本科目は必要不可欠な科目である。本科目は、岡倉天心にその才能を認められて日本美術院の創設に参加し、天心の理想とする新日本画創造に邁進した近代日本画家菱田春草の草書体によるさまざまな自筆の書簡や芸術論を読み、作品や作家に対する理解を深め、明治期や大正期の類似した作家の研究に応用できる能力を養う。</p>							関連科目			
								日本美術史、日本文化特論、ほか			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	活字化された明治期の候文が読めるようになる。									
	②	明治期の芸術家の毛筆による草書体の筆跡や文体(候文)、略字、個人的な書き癖に慣れ、独力で原文を読めるようになる。									
	③	作家や作品に対してより深い理解が得られるようになる。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	60	0	0	15	0	10	15	100		
教科書	授業の中で配布する										
参考書	<p>菱田春草総合年譜 下伊那教育会 下伊那教育会編          菱田春草の書簡と絵画—菱田家よりの寄贈品— 下伊那教育会 菱田春草研究委員会          菱田春草 大日本絵画巧芸美術株式会社 菱田春夫          原色日本の美術30近代の日本画 小学館          日本美術史 美術出版社 山根有三監修</p>										

予備知識	特になし。
DPとの関連	芸術文化研究の専門家になるための専門的知識や技術(ここでは史料の読解)を身に付け、課題や問題を自力で解決できるようになる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	定期試験における草書体の書簡や葉書の読み下し文(計60点)と普段の口頭による読み下し(15点)、ポートフォリオ、出席状況の合計点とする。合計が60点に満たない場合は再試験とする。

くずし字解読辞典を必携し、配布資料を予習、復習するとともに、授業で取り上げない書簡等も積極的にコピーし、自主的に解読に努めること。最後に筆記試験がある。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	概説	講義	科目の内容や目標を理解する	30
	内容	オリエンテーション 作家・講読資料に関する概説 日本近代絵画史(日本画史)概説			
2回	テーマ	日本近代絵画史	講義	日本近代絵画史(日本画史)(復習)	40
	内容	日本近代絵画史(日本画史)概説			
3回	テーマ	日本近代絵画史	講義	日本近代絵画史(日本画史)(復習)	40
	内容	日本近代絵画史(日本画史)概説			
4回	テーマ	候文葉書	講義 演習	配布された資料の復習	40
	内容	活字化された候文の葉書の講読			
5回	テーマ	候文葉書	講義 演習	配布された資料の復習	40
	内容	活字化された候文の葉書の講読			
6回	テーマ	候文書簡	講義 演習	配布された資料の復習	40
	内容	活字化された候文書簡の講読			
7回	テーマ	候文書簡	講義 演習	配布された資料の復習	40
	内容	活字化された候文書簡の講読			
8回	テーマ	候文書簡	講義 演習	配布された資料の復習	40
	内容	活字化された候文書簡の講読			
9回	テーマ	草書体の葉書	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の葉書の原文の解説			
10回	テーマ	草書体の葉書	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の葉書の原文の解説			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	草書体の書簡	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の書簡の原文の解説			
12回	テーマ	草書体の書簡	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の書簡の原文の解説			
13回	テーマ	草書体の書簡	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の書簡の原文の解説			
14回	テーマ	草書体の書簡	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の書簡の原文の解説			
15回	テーマ	草書体の書簡	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の書簡の原文の解説			
16回	テーマ	試験	試験	葉書と書簡の原文に関する試験	180
	内容	試験			



科目名	アートマネジメント論 (2美)			開講学年	2	講義コード	1674101	区分	選必	
英文表記	Art Management Study			開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁									
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	アートワークショップ アートプロジェクト コミュニティ									
授業概要	本講義はアートマネジメントについてその誕生から現在までの動向を探ることによって、アートがなぜ人間に必要なのか、または社会が求めるアートとは何かについて考え、今日求められているアートマネジメントのあり方を受講者と一緒に考えていく。そして、アートマネジメント事例研究を行った上で、アートと社会の関係のあり方を議論し、社会における「アート」の役割について理解していく。講義受講後、学習した事柄、概念などをテキストで復習するとともに、テキストの次回の内容を精読しておくこと。常日ごろアートプロジェクトの情報にアンテナを立てておくこと。						関連科目			
							美術ジャーナル論/ワークショップ演習/視覚造形実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ/学芸員資格に必要な科目			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	アートマネジメントについての歴史や基本的な知識を理解できる。								
	②	アートを通して人や社会の関係性を築くことができるかを自分自身で思考できる視点や考え方を理解できる。								
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	20	40	0	10	30	100	
教科書	これからのアートマネジメント-“ソーシャル・シェア”への道 フィルム・アート社 中川真+編集部 アートプロジェクトのつくりかた「つながり」を「つづける」ためのことば フィルムアート社 森司監修 アートプロジェクト・エッジ 拡張する環境芸術のフィールド 東方出版 環境芸術学会 小豆島にみる日本の未来のつくり方 誠文堂新光社 椿昇他 購入の必要なし、講義の際に適宜コピー配布。									
参考書	アートプロジェクト(芸術と共創する社会) 水曜社、2014年 熊倉純子監修 地域を変えるソフトパワー アートプロジェクトがつなぐ人の知恵、まちの経験 青幻舎、2012年 藤浩志、AAFネットワーク著 発展する地域衰退する地域 ちくま学芸文庫、2012年 J・ジェイコブス著 コミュニティ・アートプロジェクト ゼロタテ/絶望をエネルギーに変え、街を再生する アートNPOゼロダテ 中村政人 クリエイティブ・コミュニティ・デザイン 関わり、巻き込もう フィルムアート社 紫牟田伸子・編集部									

予備知識	
DPとの関連	造形活動や芸術文化研究に関連して、マネジメント力(なんとか成し遂げる)についての基礎的な知識・能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	授業への取り組み30、プレゼンテーション40、レジュメ(課題提出を含む)20、SOJOポートフォリオの提出10の計100。

単位修得の条件は①出席3分の2以上、②プレゼンテーション実施(レジユメ提出含む)のすべてを満たしていること。本講義は3年次の「ワークショップ演習」(実践)と連動している。スライドおよび配布資料にて進める。講義前半は『これからのアートマネジメント』を参考にして、「アートマネジメント」のあり方について解説していく。授業の後半ではアートマネジメントの事例を各自取り上げ、発表し、受講者とともにこれからのアートマネジメントのあり方について討議する。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ ..... 内容	序論 ..... これからのアートマネジメント	講義		90
2回	テーマ ..... 内容	新たなアートマネジメントの可能性 ..... 「ソーシャル・シェア」への道	講義/SGD	テキストの内容を精読しておくこと。	90
3回	テーマ ..... 内容	アートマネジメントの歴史① ..... アートマネジメント前史	講義/SGD		90
4回	テーマ ..... 内容	アートマネジメントの歴史② ..... アートマネジメントの誕生から現在まで	講義/SGD		90
5回	テーマ ..... 内容	アートマネジメントの仕事① ..... アートの現場/企画・制作の進め方/展示の方法	講義/SGD		180
6回	テーマ ..... 内容	アートマネジメントの仕事② ..... 評価/お金の問題/ダブル・ジューディング	講義/SGD		180
7回	テーマ ..... 内容	アートマネジメントの思想① ..... 人間にはなぜアートが必要なのか?/「場」の力を考える	講義/SGD		180
8回	テーマ ..... 内容	アートマネジメントの思想② ..... 社会はアートを必要としているのか?/文化の多様性を生み出す	講義/SGD		180
9回	テーマ ..... 内容	プレゼンテーション ..... アートマネジメント事例研究 (第13週)	AL	アートマネジメント(アートプロジェクト、芸術祭など)事例を各自で取り上げ、調べる。	90
10回	テーマ ..... 内容	プレゼンテーション ..... 研究発表&討議 ①② 総括 (第14-15週)	演習/SGD	アートマネジメント事例研究の成果発表	180

科目名	日本画実習ⅢA (3美)			開講学年	3	講義コード	1674301	区分	選必		
英文表記	Japanese Painting ⅢA			開講期	前期	開講形態		単位数	4		
担当教員	中村 賢次										
研究室	A416					オフィス アワー 水曜昼休み					
メールアドレス	ken1214@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画										
授業概要	日本画には古くより特有の表現技法が伝えられている。更に日本画そして絵画全般に云える事は、自然を相手に心の動くところを表現したものである。自然の形態、色彩、明暗、そして匂いや肌で感じるものが人間の感性を動かし、心に映り、心象となって、これが平面の上に描かれ絵画となって行く。特に日本画の基本的様式は平面的・装飾的な表現であり、線が主要なものとなり、対象を見たまに描写するのではなく自分の意思・感覚・思想・生活感情等を通して単純化されたものである。このことを暗まえ、自分の心に呼応した対象と向き合って日本画制作に取り組む。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像がIT表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	自然と対峙し落ち着いて写生を行なう姿勢を養うことができるようになる									
	②	自分が感動した事象を客観的に捉える能力を養うことができるようになる									
	③	大作を描くために必要な過程の理解とその技術を習得することができるようになる									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80点	10	出席10点	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的に質疑を行ない理解度を深める。一作品ごとに合評・採点を行なう。

前回の実習の反省点を十分に検討した上で、毎時ごとに制作到達計画を立てる。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	風景	実習	作品にする風景と出会うため屋外にて写生	180
	内容	風景をテーマとして屋外にて写生及び50号パネル製作			
2回	テーマ	風景	実習	感覚的なイメージを具現化する	180
	内容	小下図・草稿制作及び裏打ち			
3回	テーマ	風景	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	180
	内容	草稿を転写、墨入れ、地塗り			
4回	テーマ	風景	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
5回	テーマ	風景	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
6回	テーマ	風景	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
7回	テーマ	風景	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	谷評・採点			
8回	テーマ	自由制作	実習	十分に写生を繰り返す	180
	内容	描く対象を各自写生及び100号パネル製作			
9回	テーマ	自由制作	実習	感覚的なイメージを具現化する	180
	内容	小下図・草稿制作及び裏打ち			
10回	テーマ	自由制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	180
	内容	墨入れ、地塗り、本紙制作			



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
12回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
13回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
14回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
15回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
16回	テーマ	自由制作	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	合評・採点			

科目名	日本画実習ⅢB (3美)				開講学年	3	講義コード	1674401	区分	選必	
英文表記	Japanese painting Practical ⅢB				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	佐藤 和歌子										
研究室	A412						オフィス アワー 火曜・昼休み				
メールアドレス	w-sato@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具,風景画										
授業概要	二年次までに習得した日本画の基礎的知識と技術・技法の元に各自が自由なテーマに基づき個性的表現の実践と研究を行なう。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像デジタル表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	自分の表現したい世界・対象を具現化するための造形力と技術力を養うことができるようになる									
	②	大作を描くために必要な全プロセスを理解できるようになる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席(10点)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席及び制作姿勢と実習に於ける全ての作品に対して評価を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 風景	風景をテーマとして屋外にて写生及び50号パネル製作	実習	作品にする風景と出会うため屋外にて写生	180
2回	テーマ 風景	小下図・草稿制作及び裏打ち	実習	感覚的なイメージを具現化する	180
3回	テーマ 風景	草稿を転写、墨入れ、地塗り	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	180
4回	テーマ 風景	本紙制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
5回	テーマ 風景	本紙制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
6回	テーマ 風景	本紙制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
7回	テーマ 風景	谷評・採点	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
8回	テーマ 自由制作(100号)	描く対象を各自写生及び100号パネル製作	実習	十分に写生を繰り返す	180
9回	テーマ 自由制作	小下図・草稿制作及び裏打ち	実習	感覚的なイメージを具現化する	180
10回	テーマ 自由制作	墨入れ、地塗り、本紙制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	180

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
12回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
13回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
14回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
15回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
16回	テーマ	自由制作	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	合評・採点			

科目名	洋画実習ⅢA (3美)				開講学年	3	講義コード	1674701	区分	選必	
英文表記	Oil Painting ⅢA				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	熊谷有展 永田和之 (非常勤)										
研究室	L号館A201						オフィス アワー 月3,4 木3,4				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp@以降を入力										
キーワード	作家研究、フレスコ										
授業概要	二年次までのカリキュラムで習得した基本的技術を完成させ、自分自身の絵画世界を展開させる。また、13世紀にイタリアで完成されたフレスコ画を学ぶ。漆喰の下地作りからはじめなければ描画にすすむ事ができず、手順をふみながらの不慣れた材料や技法であるが、現代の絵画を再生し、自己の表現を豊かにするための優れた情報が詰まっている。							関連科目			
								洋画実習ⅡB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	ルネッサンス以前の表現技法の理解									
	②	制約の多い技法の理由の理解。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	10	20	60	10	0	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	古典技法の知識、洋画実習ⅡB,
DPとの関連	今後の創作活動を見据え、専門的な知識や技術を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	作品を前にしてテーマのプレゼンテーション。作品の完成度。



レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽竊は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	制作	実習	準備物と課題計画の確認	3960
	内容	作家研究及び研究を踏まえてのエスキースからの大作制作。講評			
2回	テーマ	制作	実習/講義	準備物と課題計画の確認	1440
	内容	パレスコ画(F15号)			

科目名	洋画実習ⅢB (3美)				開講学年	3	講義コード	1674801	区分	選択	
英文表記	Oil Painting ⅢB				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	熊谷 有展 永田和之 (非常勤)										
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金曜日5時限目				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	洋画ⅢB										
授業概要	<p>大作を制作するには、特にプロセスが重要である。発想段階から取材、デッサン、エスキース等の試行錯誤を経て作品のテーマが明確化される。自主的な制作計画を身につけながら自己の造形能力、感性を錬磨し、積極的な制作活動が求められる。発想段階から制作プロセスをエスキース等を見ながら話し合いを進めていく。この授業には汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。</p>							関連科目			
								洋画実習ⅢA			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像が表現を含む)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	作家研究をしながら自身に合う表現を探ることができる									
	②	方向性・個性を確立させることができる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	70	10	20	100		
教科書	特になし										
参考書	特になし										

予備知識	洋画実習ⅢAと連動して、テーマ制作を更に深める。
DPとの関連	汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理能力の内容も含まれている。
実務経験のある教員	
評価明細基準	課題作品のデッサン、エスキースを含んだ作品 講評、採点

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	制作	実技	オリエンテーション、発想、取材、デッサン、エスキース等	360
	内容	テーマ、構図の決定			
2回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
3回	テーマ	制作	"	構図の決定	360
	内容	"			
4回	テーマ	制作	"	各自、自由な発想に基づいて、よりプロセスを大事にして取り組む	360
	内容	油彩による制作			
5回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
6回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
7回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
8回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
9回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
10回	テーマ	講評	" 講評	"	360
	内容	" 中間講評			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
12回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
13回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
14回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
15回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
16回	テーマ	講評	" 講評	"	360
	内容	作品講評			

科目名	彫刻実習ⅢA (3美)				開講学年	3	講義コード	1675101	区分	選必	
英文表記	Sculpture trainingⅢA				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	勝野 眞言 (実務経験)										
研究室	A212						オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	粘土,人体,観察,量塊										
授業概要	<p>人間をテーマにした彫刻表現の歴史は永い。私自身塑造分野の世界で人間表現の追求に取り組み、国内外での発表活動を経て半世紀近い。また、制作を通じた美術振興に関わる様々なプロジェクトの立案、支援も取り組んできた。これらの知見をもとにこの科目では、塑造による人体表現をテーマとして、身に付けるべき普遍的な造形の基礎を学びながら、成果物としての作品を地域共創活動での発表として展開する。授業は人体観察による等身大の塑造制作である。人間のフォルムの理解を深めるためにポーズを固定し、時間をかけ様々な角度から観察によるアプローチを繰り返す。人体観察を通して、自然の摂理、構築を観察する中で、自由な精神に基づいた真理への探究心や、知性、感性に裏付けられた柔軟な思考力と発想力を身に付ける。また、作品制作や研究を通し立案、計画、作業を自分で組み立て実現させる実行力を身に付ける。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを相互の意見交換を交えた中間講評により確認し、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。完成作品を地域共創活動として玉名市の高瀬蔵での展示会で発表する。</p>							関連科目			
								基礎デッサンⅠ・Ⅱ 共通立体 彫刻実習ⅡA・ⅡB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	デッサンによる形態把握ができるようになる									
	②	心棒の制作が正確に出来るようになる									
	③	空間の中での量塊の位置が正しく理解できるようになる									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	プリント(解剖図)										
参考書	適時指示する										



予備知識	モチーフを人物(ヌード)とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。
DPとの関連	1.客観的な観察力を身に付けるために、対象を深く見つめ、人体の基本的な構造、動勢、比率を素描(平面)と塑造(立体)の両次元から理解を深めて行くことができる。【知識・理解】 2.課題を通して幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付けることができる。【汎用的技能】【態度・志向性】
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。

作業着を着用し、作品を包む布、ビニール袋を準備しておくこと。モデルが入室する前に制作の準備をしておくこと。遅刻した場合休憩時間まで入口で待機しておくこと。常に室内の気温がモデル制作に適温か、留意すること。制作後の清掃は必ず行うこと。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	対象の理解	実習	時間をかけた観察により対象の特性を理解する	180
	内容	制作Ⅰ 素描(デッサン)			
2回	テーマ	対象の理解	実習	短時間での対象の特性理解	180
	内容	制作Ⅱ 素描(クロッキー)			
3回	テーマ	対象の理解	実習	制作意図の確認	180
	内容	制作Ⅲ ポーズの決定			
4回	テーマ	構造の理解	実習	芯棒による量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅳ 芯棒制作			
5回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅴ 粘土付け			
6回	テーマ	客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅵ 中間講評会			
7回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅶ 作り込み			
8回	テーマ	対象の理解	実習	造形原理の生かし方とその構築について	180
	内容	制作Ⅷ 彫刻の構築			
9回	テーマ	客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅸ 講評会			
10回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅹ 作り込み			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
12回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
13回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
14回	テーマ	対象の理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	同上			
15回	テーマ	客観的な理解	実習	「到達度ポートフォリオ」の提出	180
	内容	講評会			

科目名	彫刻実習ⅢB (3美)			開講学年	3	講義コード	1675201	区分	選必	
英文表記	Sculpture trainingⅢB			開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	勝野 眞言									
研究室	A212					オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	粘土,人体,観察,造形力									
授業概要	<p>主として粘土を用い人体をモチーフとしてⅢAとは違うポーズの人物塑造制作を行う。塑造に入る前にデッサンを通じた観察を行い、量を構成する動きや構造などの造形要素を考察する。また塑造制作でのポーズ決め、ポーズの狙い、制作意図を確認して心棒制作に入る。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを意見交換を交えた中間講評により確認し、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。1つの制作の中で、観察する位置や角度を工夫し、多面的な観察により形態、動勢、質感などを理解し観察力をつけ、表現技術も身につけて行く。主として粘土を用い人体をモチーフとして人物塑造制作を行う。観察を通して人の形の内にある、量を構成する動きや構造などの造形要素を考察する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。</p>						関連科目			
							基礎デッサンⅠA/ⅠB 共通立 体 彫刻実習ⅡA/ⅡB			
教職関連 区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校および高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)						建築学科 のみ	建築 総合	建築 計画	建築 構造
							学修・教育 目標			
JABEE 記号	学生の到達度目標									
	①	デッサンにより形態の把握ができるようになる								
	②	心棒制作が正確に出来るようになる								
	③	空間の中での量塊の位置が正確に与えることができるようになる。								
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	20	60	10	10	100	
教科書	プリント									
参考書	プリント									

予備知識	モチーフを人物(ヌード)とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。
DPとの関連	1.客観的な観察力を身に付けるために、対象を深く見つめ、人体の基本的な構造、動勢、比率を素描(平面)と塑造(立体)の両次元から理解を深めて行くことができる。【知識・理解】 2.課題を通して幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付けることができる。【汎用的技能】【態度・志向性】
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。

モデル使用の為室温に常に留意すること モデル使用中の教室の入退出は禁止である。制作に入るための準備、特に室温調整をあらかじめしておくこと。制作後の清掃は必ず行うこと。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	対象の理解	実習	時間をかけた観察により対象の特性を理解する	180
	内容	制作Ⅰ 素描(デッサン)			
2回	テーマ	対象の理解	実習	短時間での対象の特性理解	180
	内容	制作Ⅱ 素描(クロッキー)			
3回	テーマ	対象の理解	実習	制作意図の確認	180
	内容	制作Ⅲ ポーズの決定			
4回	テーマ	構造の理解	実習	芯棒による量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅳ 芯棒制作			
5回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅴ 粘土付け			
6回	テーマ	対象の理解 客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅵ 中間講評会			
7回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅶ 作り込み			
8回	テーマ	対象の理解	実習	造形原理の生かし方とその構築について	180
	内容	制作Ⅷ 彫刻の構築			
9回	テーマ	客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅸ 講評会			
10回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅹ 作り込み			



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
12回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
13回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
14回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
15回	テーマ	客観的な理解	実習	「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	講評会 制作の狙いの確認			

科目名	鑄造実習A(3美)				開講学年	3	講義コード	1675501	区分	選択	
英文表記	Casting Practice A				開講期	前期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	陶山 伸一 (非常勤)										
研究室	硯川実習室107						オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	,技法,窯,溶解,蠟,ブロンズ										
授業概要	<p>蠟型鑄造に対する理解を深め、実習によって蠟の合わせ方、流し方、窯の組み方、火入れ、焼成、合金の割合、金属溶解、鑄込み、仕上げなどについて、確実に安全な方法を身につける。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。</p>							関連科目			
								彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	蠟型鑄造に対する理解を深めることができる。									
	②	安全に作業を行うことができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	10	60	10	20	100		
教科書	プリント										
参考書	プリント										

予備知識	彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B
DPとの関連	1.造形活動を通して培った汎用的造形力・表現力を通して、社会への関わり方や発展に持続的に貢献できる能力を身に付ける。【知識・理解】【汎用的技能】 2.課題を通して幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付ける。【態度・志向性】
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席・課題の取り組み・到達度などを考慮し、総合的に評価する。

実習中に適宜指示する。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	鑄造技法	実習	講義で工程の流れを知る	80
	内容	蠟型鑄造法とは			
2回	テーマ	鑄造技法	実習	蠟の特性を知る	270
	内容	蠟原型制作			
3回	テーマ	鑄造技法	実習	工程のポイントを学ぶ	450
	内容	窯詰め、焼成 火入れ、鑄型の焼成をする			
4回	テーマ	鑄造技法	実習	工程のポイントを学ぶ	450
	内容	鑄込み			
5回	テーマ	鑄造技法	実習	到達度ポートフォリオの作成	80
	内容	仕上げ 型を割り、湯道、釘を抜く 酸洗い、着色、色止めをする			

科目名	日本文化特論（近代）（3美）				開講学年	3	講義コード	1675801	区分	選必	
英文表記	Japanese Culture: Modern Japan, Advanced				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	モダン彫刻 モニュメント 近代日本 長崎										
授業概要	<p>明治以降、日本は西洋列強と肩を並べるべく急激な近代化を推し進めた。日本美術もまた「西洋近代」を受容し、近代化を推し進めていった。彫刻という造形言語が絵画との対比において確立する時期、モニュメントとしての彫刻もまた地に溢れる。近代彫刻史はその一部においてモニュメントの歴史でもある（『彫刻の問題』より抜粋）。本講義は「白川昌生・小田原のどか《彫刻の問題》」展のテキストを通して、近代における彫刻、モニュメントの問題について検証する。同時に長崎の爆心地に関連するモニュメントに焦点を当てその意味について受講生と一緒に考えたい。</p>							関連科目			
								日本美術史／東洋美術史／美術概論／芸術学演習Ⅰ／アートマネジメント論／日本・東洋美術史特論Ⅱ／彫刻実習ⅢA/ⅢB/ⅣA/ⅣB/視覚造形実習Ⅲ/視覚造形実習Ⅳ			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)							学修・教育目標			
								JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	芸術というものが常に社会と関連して展開していることを理解できる。									
	②	芸術や美術の社会的な役割についての理解を深めることができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	40	0	10		100		
教科書	彫刻の問題 トポフィル 金井直他 特集「彫刻」ってなんだろう?(美術手帖2006年3月号) 美術出版社 彫刻1空白の時代、戦時の彫刻、この国の彫刻のはじまりへ トポフィル 小田原のどか 上記のテキストは講義時に適宜コピー配布。										
参考書	日本彫刻の近代展(図録) 淡交社 東京国立近代美術館他編6 美術の日本近現代史 制度・言説・造型 東京美術 北澤憲昭他編 境界の美術史―「美術」形成史ノート ブリュック 北澤憲昭 眼の神殿―「美術」受容史ノート(定本) ブリュック 北澤憲昭 日本美術全集第16巻(激動期の美術)／第17巻(前衛とモダン)／第18巻(戦争と美術) 小学館 山下裕二他編著										

予備知識	
DPとの関連	造形活動および芸術文化研究における批判的な洞察力、さらにはそ言葉として表現する能力・態度を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	各テーマにおけるプレゼンテーション(40)および課題レポート(50)、他SOJOポートフォリオ(10)で評価する

単位修得の条件 ①出席3分の2以上を満たしていること。②講義中に出された課題がすべて実施・提出されていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ オリエンテーション	本講義の進め方など、テキストについて	講義	事前にテキストは熟読し、疑問点、わからない点などを整理して、授業に臨むこと。	90
2回	テーマ 『彫刻の問題』を読む、調べる、体験する。	百川直生「近代・モニュメント・戦争」①	講義		90
3回	テーマ 『彫刻の問題』を読む、調べる、体験する。	百川直生「近代・モニュメント・戦争」②	講義		90
4回	テーマ 『彫刻の問題』を読む、調べる、体験する。	広島と長崎における「モニュメント」の問題について調べ、発表する。(③④)	演習		180
5回	テーマ 『彫刻の問題』を読む、調べる、体験する。	小田原のどが「この国の彫刻のために」(①②)	演習	①北村西望《平和記念像》 ②富永直樹《母子像》について調べる。	180
6回	テーマ 『彫刻の問題』を読む、調べる、体験する。	小田原のどが「この国の彫刻のために」③	講義		90
7回	テーマ 『彫刻の問題』を読む、調べる、体験する。	小田原のどが「この国の彫刻のために」④	講義		90
8回	テーマ 『彫刻の問題』を読む、調べる、体験する。	金井直「代わりとしてのモニュメント、モニュメントの代わり」①	講義		90
9回	テーマ 『彫刻の問題』を読む、調べる、体験する。	金井直「代わりとしてのモニュメント、モニュメントの代わり」②	講義		90
10回	テーマ 『彫刻の問題』を読む、調べる、体験する。	金井直「代わりとしてのモニュメント、モニュメントの代わり」(③④)	演習	「モニュメント」について調べる。	180

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ ..... 内容	見学(エクスカーション〔予定〕)他 ①長崎市の関連モニュメントの見学〔予定〕②①が出来なかった場合、『彫刻1』所収の論文を取り上げ、プレゼンテーション。③『彫刻の問題』に関する問題についてのレポート作成。	実地見学 / 演習		180

科目名	宗教芸術・文化Ⅰ（ヨーロッパ・日本）（3美）			開講学年	3	講義コード	1676101	区分	選必		
英文表記	Religious Art & Culture I : European & Japanese Society			開講期	前期	開講形態		単位数	2		
担当教員	関根 浩子										
研究室	A312					オフィス アワー 金曜放課後					
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	キリスト教美術 キリシタン美術 聖母マリア キリスト										
授業概要	<p>本学科の人材育成目標の一つに、芸術文化研究における専門的知識を総合的に修得するということが挙げられているが、本科目は西洋美術史の二大根幹といえるキリスト教美術について基礎的知識を身に付けるという意味で、芸術文化コースの学生にとって必要不可欠な科目である。本年度も、キリスト教美術の発生から現代に至るまでの重要なキリスト教建築・美術・文化について学習する。また特に本年度は、岡田温司氏の『キリストの身体』を主な教科書として、キリスト教美術におけるキリストの図像の創造やそれらの享受について学習、考察していく。また近代のマリアの「奇跡」の表象としてフランスのルルドの例を紹介するとともに、日本の近世や近代における聖母マリア信仰の特徴についても紹介し、キリスト教美術史全般の基礎的知識の習得を目指す。</p>							関連科目			
								西洋美術史、西洋美術史特論Ⅰ、西洋美術史特論Ⅱ、日本近世・近代美術史、ほか			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
①	キリスト教美術の主題や図像について基礎的知識を得る。										
②	様式的な変化を生じさせた時代背景や要因について考察する思考力を養う。										
③	資料作成能力を身に付ける。										
④	プレゼンテーション力を身に付ける。										
⑤	学術的な記述力を身に付ける。										
⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	40	35	0	10	15	100		
教科書	キリストの身体 血と肉と愛の傷 中公新書 岡田温司 ISBN9784121019981										
参考書	聖母マリア 講談社選書メチエ 竹下節子 聖母マリア 創元社 シルヴィ・バルネイ著 船本弘毅監修 遠藤ゆかり訳 聖母像の到来 白水社 若桑みどり キリスト教美術図典 吉川弘文館 柳宗玄 中森義宗編										

予備知識	特になし。
DPとの関連	芸術文化研究における専門家として、専門的知識(ここではキリスト教美術)や論理的思考力、プレゼンテーション力、国際的視点を身に付け、社会において課題や問題を解決できるようにする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	P.P.を使用した発表(35点)とレポート(40点)、ポートフォリオ、出席状況の合計点とする。合計が6割に満たない場合はレポートの再提出がある。

P.P.を使用した発表とレポート提出がある。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	1回目の復習	40
	内容	ガイダンス／キリスト教の歴史			
2回	テーマ	キリスト教の歴史	講義	2回目の復習	40
	内容	概説(キリスト教の歴史)			
3回	テーマ	キリスト教の歴史	講義	3回目の復習	40
	内容	概説(キリスト教の歴史)			
4回	テーマ	聖母マリア信仰	講義	4回目の復習	40
	内容	概説(聖母マリア信仰とマリア像の諸型)			
5回	テーマ	聖母マリア信仰	講義	5回目の復習	40
	内容	講義(聖母マリア信仰とマリア像の諸型) 研究発表分担の決定			
6回	テーマ	ルルドと聖洞窟模型	講義	6回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	講義(ルルドの奇跡と模造ルルドの世界への普及)			
7回	テーマ	ルルドと天草	講義	7回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	講義(巡礼地ルルドと天草の模造ルルド)			
8回	テーマ	日本のルルドの聖母信仰	講義	8回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	講義(日本におけるルルドの聖母信仰と模造ルルドの普及)			
9回	テーマ	キリストの画像	講義 演習	9回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	美しいキリスト、醜いキリスト			
10回	テーマ	キリストの画像	講義 演習	10回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	美しいキリスト、醜いキリスト			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	キリストの図像	講義 演習	11回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	美しいキリスト、醜いキリスト			
12回	テーマ	キリストの図像	講義 演習	12回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	パンとワイン、あるいはキリストの血と肉			
13回	テーマ	キリストの図像	講義 演習	13回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	パンとワイン、あるいはキリストの血と肉			
14回	テーマ	プレゼン	AL PBL	学生による研究発表1、総括	180
	内容	学生による発表 4章 キリストに倣って			
15回	テーマ	プレゼン	AL PBL	学生による研究発表2、総括	180
	内容	学生による発表 5章 愛の傷			
16回	テーマ	レポート提出	AL PBL	レポート作成・添削	180
	内容	レポート提出			

科目名	ワークショップ演習(3美)(通年)			開講学年	3	講義コード	1676201	区分	選必	
英文表記	Workshop Practice			開講期	通年・集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁									
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	ワークショップ ファシリテーター									
授業概要	近年、アートワークショップという形での芸術活動が非常に注目されている。アートワークショップが美術館・博物館や地域において社会と人々を繋ぐものとして、有効に活用されている。また、アートワークショップを表現手段の一つとして活躍しているアーティストも増えてきている。本演習は受講者全員と担当教員と一緒に、「アートワークショップ」という実践的な方法で、アートと社会の関係を考えていく。併せて、アートワークショップの実践を通して、社会と人々をつなげるファシリテーター(活動を促進する人)としての基礎的な知識・技術を理解していく。初回、オリエンテーションに従い講義&実践を進めていくので、受講者自身が意識をもって、「指示待ち」状態にならないよう、特にワークショップの実践においては事前に自分の役割を確認し、任された作業・仕事は確実に実施し、協働作業に支障がないよう準備しておくこと。						関連科目			
							美術史基礎演習Ⅰ／Ⅱ、アートマネジメント論、美術ジャーナル論、デザイン表現演習Ⅰ／Ⅱ／視覚造形実習Ⅰ-Ⅳ／学外演習(視覚芸術)／学芸員課程科目／教職課程科目			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)						学修・教育目標			
							JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標									
①	実践的な学習によって、アートの方で地域や人々を繋いでいき、アートの楽しさ、アートの可能性について実践的な方法で理解できる。									
②	実践を執り行っていく過程で、色々な問題が生じるが、それを「manage」(なんとかする)して、計画が実施できる柔軟な対応力を身につけることができる。									
③										
④										
⑤										
⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	10	30	0	10	50	100	
教科書	tupera tupera わくわくワークショップ みんなでたのしむ造形タイム チャイルド本社 tupera tupera アートプロジェクトのつくり方「つながり」を「つづける」ためのことば アートフィルム社 森司監修 上記のテキストは購入の必要なし、適宜コピーを配布する。									
参考書	これからのアートマネジメント“ソーシャル・シェア”への道 フィルムアート社 中川真+編集部 藤浩志のかえるワークショップ いまをかえる、美術の教科書 3331 ARTS CYD 藤浩志 アートプロジェクト(芸術と共創する社会) 水曜社 熊倉純子 コミュニティ・アートプロジェクト ゼロダテ/絶望をエネルギーに変え、街を再生する NPOゼロダテ 中村政人 クリエイティブ・コミュニティ・デザイン 関わり、つくり、巻き込もう フィルムアート社 紫牟田伸子・編集部									



予備知識	積極的に美術館・博物館や地域で開催されているワークショップに参加しておく参考となる。
DPとの関連	人間社会の様々な問題や課題に対して、課題解決のための知識や取り組み方を実践的に学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常の授業／ワークショップの取り組み方(50点)ワークショップ企画プレゼンテーション(30点)実践成果および提出物(企画書・報告書など)(10点)、SOJOポートフォリオ(10点)

本演習は基本的にグループ作業で行う。芸術文化コース以外にも受講可(学芸員課程、教職課程受講者も歓迎します)

学修上の  
注意  
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	序(4月)	講義		90
	内容	オリエンテーション(授業の進め方)			
2回	テーマ	研究・計画編①(2-5回)	講義/演習		360
	内容	よしみち展×ワークショップ@くまもと森都心プラザ図書館 見学/ゼンテーション(第一次選考)/くまもと森都心プラザにて企画プレゼンテーション(企画確定)			
3回	テーマ	研究・計画編①(6-10回)	講義/演習	企画立案 企画プレゼンテーション	450
	内容	ワークショップテーマ設定/企画立案、プレ			
4回	テーマ	研究・計画編②(11-12回)7-8月)	AL		180
	内容	タイムスケジュール、実施段取り等詳細決定(8/10夏季休暇前までに)			
5回	テーマ	実践編①(9-10月、13-18回)	AL		540
	内容	受講生によるDM・ポスター作成(9-10月)			
6回	テーマ	実践編②(10-11月、19-28回)	AL		900
	内容	ワークショップ(11月後半実施)の準備・制作・実施			
7回	テーマ	総括・まとめ(1月、29-30回)	AL	ポートフォリオ作成	180
	内容				
8回	テーマ				
	内容				
9回	テーマ				90
	内容				

科目名	美術ジャーナル論 (3美)				開講学年	3	講義コード	1676301	区分	選択必修	
英文表記	Theory of art journal				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	三枝泰之										
研究室	D315						オフィス アワー 木曜3時限目				
メールアドレス	lunacy@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	美術批評、報道										
授業概要	美術作品を記述し伝達するということは、作品の理解にとって重要な過程の一段階である。作品のコンセプト、印象や感動をことばに換える作業は、美術の理解をより深くするものであると同時に、他者とその鑑賞体験を共有することの第一歩でもある。それは時代のエートス(時代精神)を反映し、ともに制作するということでもある。							関連科目			
								3年: 総合造形実習			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	美術作品を理解し記述し伝達することができる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	30	20	0	10	40	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書											

予備知識	2年: アート・クリエイション論
DPとの関連	優れた応用力を有する専門家になるため、汎用的基礎力と基本的な専門知識を身につけ社会人として豊かな文化づくりに貢献する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	① レポート提出、アンケートを通して、受講者の理解度を確認・評価 ② 取材・記事作成・報道の体験的理解度を評価する。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	美術ジャーナルの位置	講義	記録を取る	20
	内容	美術ジャーナリズムについて理解する。			
2回	テーマ	ユーザとしての報道(1)	講義・議 論	関連記事を読む予習	20
	内容	気になる記事を提出/記事を講読・討議			
3回	テーマ	ユーザとしての報道(2)	講義・議 論	関連記事を読む予習	20
	内容	気になる記事を提出/記事を講読・討議			
4回	テーマ	取材+記事を書こう_01	鑑賞	内容を事前に予習	20
	内容	展覧会鑑賞			
5回	テーマ	授業内ゲスト	講義	記録を取る	20
	内容	新聞記者など報道関係者			
6回	テーマ	ユーザとしての報道(3)	講義	関連記事を読む予習	20
	内容	気になる記事を提出/記事を講読・討議			
7回	テーマ	ユーザとしての報道(4)	講義	関連記事を読む予習	20
	内容	気になる記事を提出/記事を講読・討議			
8回	テーマ	取材+記事を書こう_02	講義	内容を事前に予習	20
	内容	展覧会鑑賞			
9回	テーマ	授業内ゲスト	講義	記録を取る	20
	内容	学芸員など展覧会制作者			
10回	テーマ	ユーザとしての報道(5)	講義	関連記事を読む予習	20
	内容	気になる記事を提出/記事を講読・討議			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	ユーザとしての報道(6)	講義	関連記事を読む予習	20
	内容	気になる記事を提出/記事を講読・討議			
12回	テーマ	取材+記事を書こう_03	講義	内容を事前に予習	20
	内容	展覧会鑑賞			
13回	テーマ	授業内ゲスト	講義	記録を取る	20
	内容	評論家など			
14回	テーマ	ジャーナリズムの問題	講義	記録を取る	20
	内容	経過評価・議論			
15回	テーマ	まとめ	講義	全体を復習	20
	内容	全体のまとめ。			
16回	テーマ	発表	展示	全体を復習	20
	内容	期末プレゼンテーション			



科目名	考古学と文化財Ⅰ（考古・発掘）（3美）				開講学年	3	講義コード	1676401	区分	選必		
英文表記	Archeology and Cultural Property I: Archeology & Excavation				開講期	前期	開講形態		単位数	2		
担当教員	島津義昭（非常勤） 関根 浩子											
研究室	芸術学部棟1階 事務室						オフィス アワー 金曜5限					
メールアドレス	yosiakicar@ezweb.ne.jp											
キーワード	考古学 魏志倭人伝 弥生時代の日本 文化財 日本国家の成立											
授業概要	<p>美術学科の人材育成の目標の一つに、専門家としての知識を総合的に身に付けるということが謳われているが、本科目は、特に芸術文化コースの学生にとっては、古代の文化や人類の遺産について知るために必要不可欠の科目である。西暦3世紀に書かれた中国の正史『三国志』の「魏志」に「倭人伝」と言う一章があり、当時の日本列島に諸国があり「邪馬台国」を中心にまとまっていたと言うことは長年の研究により知られている。この時代は考古学の時代区分では弥生時代に相当し、様々な遺跡や遺物が知られている。「倭人伝」に描かれている倭人の習俗を、最新の考古学の成果から解説した佐原真氏の研究をテキストとして学びたい。併せて、九州・熊本県の始原文化についても研究成果を紹介する。</p>								関連科目			
									考古学と文化財Ⅱ			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	考古学はどのような学問分野か知ることができる。										
	②	倭国(日本)の成り立ちの概要を刺ることができる										
	③	考古学(弥生時代)の最新の知識を得ることができる										
	④	文化財は何かを知ることができる。										
	⑤	日本古代の歴史を知ることができる。										
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	30	50	0	10	10	100			
教科書	魏志倭人伝の考古学 岩波現代文庫 佐原真 ISBN4-00-600106-1c0121											
参考書	新訂 魏志倭人伝・後漢書倭伝・宋書倭国伝・隋書倭国伝 岩波文庫 なし ISBN4-00-334011-6c0121 倭人伝 講談社文庫 藤堂明保 ISBN979-4-06-29210											

予備知識	特になし
DPとの関連	芸術文化研究において培った基礎的知識や専門的知識、論理的思考力、歴史的視点を活かして、社会で芸術文化研究における専門家として芸術文化の発展に持続的に貢献できる力を身に付けることを目指す。
実務経験のある教員	
評価明細基準	購読の区切り毎に口頭試験を実施する。また、講義関連の小レポートを作成し発表する。

正規出席は授業開始後15分までとし、30分以降は欠席とする。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業の目的	AL	高校時代の日本史の最初の章「原始」を読んてくる	90
	内容	何を学習し、何を得るか			
2回	テーマ	魏志倭人伝の国々	AL	魏志倭人伝を読んてくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	倭人伝の成り立ち			
3回	テーマ	邪馬台国	AL	魏志倭人伝を読んてくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	魏志倭人伝			
4回	テーマ	潜り漁	AL	魏志倭人伝を読んてくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	魏志倭人伝			
5回	テーマ	入れ墨	AL	魏志倭人伝を読んてくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	魏志倭人伝			
6回	テーマ	髪と衣服	AL	魏志倭人伝を読んてくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	魏志倭人伝			
7回	テーマ	石器時代の日本	AL	魏志倭人伝を読んてくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	農業の開始			
8回	テーマ	稲	AL	魏志倭人伝を読んてくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	最近の考古学の成果			
9回	テーマ	蚕と絹	AL	魏志倭人伝を読んてくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	女王卑弥呼の時代			
10回	テーマ	牛馬なし	AL	魏志倭人伝を読んてくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	邪馬台国論争			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	矛と盾	AL	魏志倭人伝を読んでもくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	矛と盾			
12回	テーマ	弓	AL	魏志倭人伝を読んでもくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	弓			
13回	テーマ	矢尻と矢柄	AL	魏志倭人伝を読んでもくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	矢尻と矢柄			
14回	テーマ	生業	AL	魏志倭人伝を読んでもくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	生業			
15回	テーマ	倭国の乱	SGD	魏志倭人伝を読んでもくる(史料は事前に配布する)	90
	内容	倭国の乱			
16回	テーマ	吉野ヶ里遺跡			
	内容	邪馬台国の実像			

科目名	芸術文化演習Ⅰ(3美)				開講学年	3	講義コード	1676601	区分	必修		
英文表記	Art & Culture Studies : Practice I				開講期	前期	開講形態		単位数	4		
担当教員	関根 浩子 永田 郁											
研究室	A312 A208						オフィス アワー 金曜放課後					
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	文献検索 資料収集 テーマ設定 論文執筆 プレゼンテーション											
授業概要	<p>本学科の人材育成目標の一つに、研究の授業を通して課題を発見し、解決する能力を養うことがあるが、本科目は芸術文化コースで4年次に卒業研究提出を目指す学生にとっては必要不可欠な科目である。本科目では、4年次の卒業研究(論文作成)に向けて、研究課題の設定や研究の方法、論文の構成や書き方など、卒業研究(論文)の遂行に必要な一連の事柄(作品やものの見方や考え方を含む)の指導を行う。また、到達度目標の達成状況をみながら、学生による研究発表も開始し、課題の発見力を養う。</p>								関連科目			
									芸術文化コースの全科目			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)</p>								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	卒業研究のために確実な資料収集が行えるようになる。										
	②	卒業研究のために的確な問題設定ができるようになる。										
	③	卒業研究の方向づけを行うことができるようになる。										
	④	研究成果を論文の中での的確に展開できるようになる。										
	⑤	研究成果の発表方法に熟達できるようになる。										
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	50	25	0	10	15	100			
教科書	個別に指示、指導する											
参考書	個別に指示、指導する											

予備知識	テーマに関するある程度の知識が必要。
DPとの関連	芸術文化研究における専門家となるための知識や技術、特に論文執筆のための調査研究方法や技術を身に付けることで、社会においても芸術文化の研究や発展に貢献、寄与できるようにする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常の討議・発表内容および提出された小論文(もしくはレポート)、口頭発表、並びに出席状況、ポートフォリオによって総合的に評価する。

受講生各自の積極的な取り組みと研究内容のP.P.等を使用した口頭発表が必要である。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)



授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	論文とは	講義	科目の内容と目標を理解する	0
	内容	オリエンテーション(論文とは何か)			
2回	テーマ	論文作成のタイムスケジュール	講義	各自タイムスケジュール作成(復習)	60
	内容	ガイダンス(論文作成のためのタイムスケジュール)			
3回	テーマ	資料収集法	講義 演習	各自文献検索(復習)	60
	内容	資料収集法1(文献)			
4回	テーマ	資料収集法	講義 演習	各自画像取り込み(復習)	60
	内容	資料収集法2(画像)			
5回	テーマ	資料収集法	講義 演習	各自作品データの収集・電子化作業(復習)	60
	内容	資料収集法3(作品データの収集)			
6回	テーマ	文献検索法	講義 演習	学習した文献検索方法によって課題のリスト作成(復習)	60
	内容	文献検索の方法1(図書館、文書館、美術館、博物館等の施設の活用)			
7回	テーマ	文献検索法	講義 演習	論文が掲載されている書籍から各自復習として論文を検索してみる(復習)	60
	内容	文献検索の方法2(論文検索のための書籍の活用)			
8回	テーマ	文献検索法	講義 演習	WEBから自身の研究課題に関する文献を検索してみる(復習)	60
	内容	文献検索の方法3(WEBの活用)			
9回	テーマ	問題設定	講義 演習	各自で論文のテーマを想定して、構成を考えてみる(復習)	30
	内容	論文の問題設定と方向づけについて			
10回	テーマ	テーマ設定	講義 演習	各自で内容に合致したよりよいテーマを考えてみる(復習)	30
	内容	テーマ設定(受講生各自のテーマを決定する)			

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	論文の書式	講義 演習	学術雑誌等に当たり、微妙な違いを認識する(復習)	30
	内容	論文執筆の実際1(論文の書式)			
12回	テーマ	論文の展開	講義 演習	論文の文章の構成、展開に関する復習	30
	内容	論文執筆の実際2(文章の展開法)			
13回	テーマ	プレゼンのテクニック	講義 演習	プレゼンに関する復習	30
	内容	プレゼンテーションの技法(視聴覚機器の使い方、資料の提示法)			
14回	テーマ	資料の加工	講義 演習	パソコンを使って実際に資料を加工してみる(復習)	40
	内容	資料の加工(視聴覚資料の作成)			
15回	テーマ	図版作成	講義 演習	パソコンやスキャナなどを使い独力で図版を使ってみる(復習)	40
	内容	図版作成(論文の挿図や口絵などの作成)			
16回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
17回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	60
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
18回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
19回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
20回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	60
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
22回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
23回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	60
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
24回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
25回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	60
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
26回	テーマ	研究発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
27回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	60
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
28回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
29回	テーマ	小論文執筆	AL PBL	卒業論文に向けての小論文執筆(予習)	180
	内容	小論文執筆			
30回	テーマ	提出・添削	AL PBL	卒業論文に向けての小論文執筆(予習)	180
	内容	小論文執筆・提出			

科目名	視覚造形実習Ⅲ（3美）			開講学年	3	講義コード	1676801	区分	選必	
英文表記	Visual Arts Work III			開講期	前期	開講形態		単位数	8	
担当教員	永田 郁 野島泉里（非常勤） 野島マーサ（非常勤） 東耕平（非常勤）									
研究室	芸術学部棟A208（永田） 硯川実習棟303/102（非常勤）					オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	作品制作 現代アート									
授業概要	<p>本実習は3年後期の大型作品の制作を念頭に入れて、基本的には制作系は野島泉里、野島マーサ両講師によるアプローチと制作のための理論については永田のアプローチにより、受講者自身がいかに日頃感じている、またはいろんな場面で発見した「気づき」を作品化できるよう、制作および理論の双方で指導していく。視覚造形実習Ⅲではfinding your voice(自身の興味を掘り下げる、または自分をみつめる)およびSelf research(自ら学ぶ)のアプローチにより実験的なことも含め個人の興味を探りながら考えを深めていく。本実習を通して、アートと社会の関係も考え、本実習の学びがどのように実社会に還元できるかも学生と一緒に議論する。本実習は週2コマ×4回で実施される。3年後期の大型作品の制作に必要な方法論、理論について野島(泉)&amp;(マ)両講師、東講師および永田が担当する。担当開講曜日は下記の通りである。月3-4限:野島(泉)講師[美/非] 火曜東講師[美/非] 木曜3-4限永田[美] 金曜日3-4限:野島(マ)講師[美/非]</p>						関連科目			
							視覚造形実習Ⅳ、学外演習(視覚)、ワークショップ演習			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像がIT表現を含む)						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
①	3年後期の大型作品の制作へ向けての作品の構想化から制作実施まで実現できるようなテーマを発見し、またそのテーマを具体的に視覚化できるよう方法論について理解し、実践でできるようになる。									
②										
③										
④										
⑤										
⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	20	70	10	0	100	
教科書	特に指定しない									
参考書	メイキング 人類学・考古学・芸術・建築 左右社 T・インゴルド ラインズ 線の文化史 左右社 T・インゴルド ライフ・オブ・ラインズ フィルムアート社 T・インゴルド 制作へ EKTRITS 上妻世海									

予備知識	
DPとの関連	造形活動を通して総合的な問題解決の方法を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	実習の取り組み方(アート制作実習、理論演習)と各担当における提出課題(70点)・作品または研究発表(プレゼン)(20点)により評価する。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

オリエンテーションおよび実習の初回には必ず出席すること。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	野島泉里・野島マーサ合同 ソーシャルアート課題	実習	プレゼンテーション・ディスカッション	18時間
	内容	研究課題 ソーシャルアート等のアートの社会への広がりのあり方をさまざまな事例を通して学ぶ。			
2回	テーマ	制作課題	実習	各人がパブリックアートのプラン作成	18時間
	内容				
3回	テーマ	野島マーサ(金1-2限)	実習	課題制作1	9時間
	内容	表現課題1 各人の作品制作における発想から素材の上での実現までのプロセスを徹底して学ぶ。			
4回	テーマ	野島マーサ(金1-2限)	実習	課題制作2	18時間
	内容				
5回	テーマ	野島泉里(月3-4限)	実習	課題制作3	9時間
	内容	表現課題3 各人の作品制作における発想から素材の上での実現までのプロセスを徹底して学ぶ。			
6回	テーマ	野島泉里(月3-4限)	実習	課題制作4	18時間
	内容				
7回	テーマ	東耕平(火1-2限)	実習		
	内容	素材研究			
8回	テーマ	東耕平(火1-2限)	実習		3時間
	内容				
9回	テーマ	東耕平(火1-2限)	実習	素材の特性と扱い方を学ぶ。	9時間
	内容				
10回	テーマ	東耕平(火1-2限)	実習	素材研究で取り扱った素材(複数選択制限有)による制作。	12時間
	内容				

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ ..... 内容	課題制作Ⅱ(9-14回)	実習	これまで扱った素材、新たな素材を組み合わせる作品制作。	12時間
12回	テーマ ..... 内容	講評(15回)	実習	制作レポート作成。	3時間
13回	テーマ ..... 内容	永田(木3-4限) ポートフォリオをつくらう		ポートフォリオとは何?から具体的なコンテンツを立てる。	6時間
14回	テーマ ..... 内容	講読会①(4-5月)	演習	参考文献の一つ取り上げ、それについて担当を決めて発表する。	9時間
15回	テーマ ..... 内容	作家・素材作品研究②(6月)	演習	興味ある作家・素材やメディアの作品を取り上げ、リサーチして発表する(5月最終週に発表)。	12時間
16回	テーマ ..... 内容	図書館プロジェクト(6月)	実習	見学・企画書作成・プレゼンテーション	6時間
17回	テーマ ..... 内容	学科展プロジェクト。講読会の発表についてのレポート作成。	実習	(野島(泉)・野島(マ)クラス、東クラス連動。講読会についてのレポート作成。	12時間



科目名	特別演習（日本画）（3美）				開講学年	3	講義コード	1677001	区分	選択	
英文表記	Special Seminar (Japanese Painting)				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	中村 賢次 佐藤 和歌子										
研究室	A412						オフィス アワー 火曜・昼休み				
メールアドレス	ken1214@@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画、絹本、掛軸										
授業概要	<p>明治以降、日本は西洋文化の影響を大きく受け、生活様式や文化も大きく変化してきた。日本画の世界においても同様で、現代では額装形態の作品が主流となり、それに伴ない、古来より用いられてきた材料である絵絹の使用が減ってきた。しかしこの絹に描かれた絵画は紙とは異なった美しさを持ち、更にその技術・技法も違うことを踏まえ、日本画の材料研究を行なう。</p>							関連科目			
								日本画実習 I～IV、学外演習（日本画）			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	絵絹の性質を理解し、古典的な日本画の支持体である絹本に描写する技術を身に付けることができるようになる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席及び制作姿勢(10点)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的に質疑を行い理解度を確認する。合評による作品評価。

絵絹は非常にデリケートな材料であるため、授業前にその日に実施可能な作業工程を十分に検討し、それに必要な画材の準備をする。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	花鳥	講義	絹による古典技法の理解を深める	90
	内容	絹本に於ける伝統的な画材と技法			
2回	テーマ	花鳥	講義	絹による古典技法の理解を深める	90
	内容	絹本に於ける伝統的な表現様式			
3回	テーマ	花鳥	実習	モチーフの持つ特色を観察・考察する	90
	内容	各自用意した花の写生			
4回	テーマ	花鳥	実習	日本画における空間表現について理解を深める	90
	内容	小下図の制作			
5回	テーマ	花鳥	実習	日本画における空間表現について理解を深める	90
	内容	原寸大の草稿制作			
6回	テーマ	花鳥	実習	日本画における空間表現について理解を深める	90
	内容	原寸大の草稿制作			
7回	テーマ	花鳥	実習	絹と墨について十分な理解をする	90
	内容	草稿の転写と墨入れ			
8回	テーマ	花鳥	実習	絹と胡粉について十分な理解をする	90
	内容	絹に胡粉を塗る(下塗り)			
9回	テーマ	花鳥	実習	日本画における空間表現について理解を深める	90
	内容	空間を意識した彩裏色			
10回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			
12回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			
13回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			
14回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			
15回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			
16回	テーマ	花鳥	実習	客観的に自身の作品を評価する	90
	内容	合評・採点			

科目名	特別演習（洋画）（3美）				開講学年	3	講義コード	1677101	区分	選択	
英文表記	Special Seminar(Oil Painting)				開講期	前期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	高梨芳実（非常勤） 熊谷有展 下城賢一										
研究室	L号館A201						オフィス アワー 前期集中				
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アクリル絵具、マチエール、										
授業概要	人体表現における油彩表現。色数限定による油彩表現。							関連科目			
								洋画実習ⅢA・ⅢB、基礎デッサンⅠ、基礎デッサンⅡ			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	アクリル絵具の特性を理解することができる									
	②	テーマに添ったマチエールの効果を表現することができる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	70	10	0	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	洋画実習ⅢA、ⅢB、基礎デッサンⅠ、基礎デッサンⅡ、美術人体解剖学
DPとの関連	古典技法と近代絵画、印象派と現代美術
実務経験のある教員	
評価明細基準	クロッキー(速写)の理解 色数限定の油彩画制作の理解 人物画の構図理解

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の  
注意  
(SBOs)



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	アクリル画	実習	準備物と課題計画の確認	420
	内容	アクリル画制作			
2回	テーマ	作品解説	実習／講義		840
	内容	作品解説、講義			

科目名	特別演習（彫刻）（3美）				開講学年	3	講義コード	1677201	区分	選択	
英文表記	Special Seminar (Sculpture)				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	川畑 浩徳										
研究室	L-A-216						オフィス アワー 月曜5限				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	彫刻素材 彫刻作家										
授業概要	4年次の卒業研究のための予備研究として位置づけ、研究テーマの絞込みと、制作力の向上をめざして、制作のみならず、作家研究や論理的な考察も試みながら、表現者としての資質向上を目指す。							関連科目			
								日本美術史、西洋美術史、東洋美術史、西洋彫刻論、美術領域論Ⅱ			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	主な近代彫刻家について研究し理解することができるようになる									
	②	近代から現代の彫刻について幅広い知識を得ることが出来るようになる									
	③	卒業制作の試作を行なうことができるようになる									
	④	主な彫刻素材について自ら研究できるようになる									
	⑤	鑑賞したり研究したことを端的にレポートにできるようになる									
	⑥	調べたことをプレゼンテーションできるようになる									
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0	20	30	30	10	10	100		
教科書	適宜指示する										
参考書	適宜指示する										

予備知識	自分の好きな作家や興味のある作品などの研究をする 制作テーマを見つける。出来るだけ多くの美術館やギャラリーに行き、作品を見る(データや画像でなく本物を見る)
DPとの関連	専門的な力を身につけた、感性豊かな人格と、論理的な思考力を持つ人材を育てる
実務経験のある教員	
評価明細基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彫刻芸術に対する基本的な知識を得られたか</li> <li>・自他の作品に対して、自らの言葉で感想やコンセプトを伝えることができたか</li> <li>・作家研究等によって、自分の作品に反映することができたか</li> <li>・卒業研究テーマが決まったか</li> </ul>

彫刻芸術に対する深い理解者となり、高度な資質を備えた表現者となるために、論理的なアプローチと感性的なアプローチをバランスよく試み、素材研究、作家研究、制作上での技法研究、コンセプチュアルな表現研究などの中から興味深いテーマを選び、自らの研究テーマを導き出す。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	導入	講義	演習内容を理解する	90
	内容	オリエンテーション			
2回	テーマ	作家研究	演習	作家研究(予習)	270
	内容	作家研究を行いプレゼンテーションをする			
3回	テーマ	素材研究	演習	素材研究(予習)	450
	内容	素材研究をし、成果発表をする			
4回	テーマ	テーマ設定	演習	テーマ制作(予習)	450
	内容	テーマ制作を行い、プレゼンテーションする			
5回	テーマ	プレゼンテーション	演習	卒業研究テーマの決定	90
	内容	総括まとめ			

科目名	芸術文化演習Ⅲ◎（4美）				開講学年	3	講義コード	1677901	区分	必修		
英文表記	Art & Culture Studies : Practice III				開講期	前期	開講形態		単位数	4		
担当教員	関根 浩子 永田 郁											
研究室	A312 A208						オフィス アワー 金曜放課後					
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	文献検索 資料収集 テーマ設定 論文執筆 プレゼンテーション											
授業概要	<p>課題を発見し、解決できる高度な専門家を目指し卒業研究を論文で提出する学生にとっては必要不可欠な科目である。本科目は、「芸術文化演習Ⅱ」に引き続き、4年次の卒業研究(論文作成)に向けて、研究課題の設定や研究の方法、論文の構成や書き方など、卒業研究(論文)の遂行に必要な一連の事柄(作品やもの見方や考え方を含む)の指導を行う。「芸術文化演習Ⅲ」では、学術論文を実際に数本読みながら、論文や論文の書き方についてさらに知識を深めた後、学生による研究発表(1名/1週間)を中心に授業を進め、課題発見力や解決能力を養う。</p>								関連科目			
									芸術文化コースの全科目			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	卒業研究のために確実な資料収集が行えるようになる。										
	②	卒業研究のために的確な問題設定ができるようになる。										
	③	卒業研究の方向づけが行えるようになる。										
	④	研究成果を論文の中での的確に展開できるようになる。										
	⑤	研究成果の発表方法に熟達できるようになる。										
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	50	25	0	10	15	100			
教科書	授業の中で個別に指示する											
参考書	授業の中で個別に指示する											

予備知識	テーマに関するある程度の知識。
DPとの関連	芸術文化研究における専門家となるための知識や技術、特に論文執筆のための調査研究方法や技術を身に付けることで、社会においても芸術文化の研究や発展に貢献、寄与できるようにする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常の討議・口頭発表の内容、提出された小論文もしくはレポート、出席状況、ポートフォリオによって総合的に評価する。

受講生各自の自主的、積極的な取り組みが必要である。また、研究内容の口頭発表、小論文の提出は必須である。

学修上の  
注意  
(SBOs)



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	なし	0
	内容	オリエンテーション1(科目のガイダンス)			
2回	テーマ	進捗状況報告	講義 演習	報告準備	90
	内容	オリエンテーション2(研究の進捗状況報告)			
3回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
4回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
5回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
6回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
7回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
8回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
9回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
10回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
12回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
13回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
14回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
15回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
16回	テーマ	論文講読	講義 演習	事前の下調べ・論文収集(予習)	40
	内容	論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読)			
17回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
18回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
19回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
20回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
21回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
22回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
23回	テーマ	執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
24回	テーマ	執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
25回	テーマ	執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
26回	テーマ	執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
27回	テーマ	執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
28回	テーマ	執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
29回	テーマ	執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
30回	テーマ	総括	講義	小論文最終作成(予習)	180
	内容	半期の総括と各学生への今後の指導/小論文提出			

科目名	卒業研究◎（日本画、洋画、彫刻、視覚芸術）（4美）				開講学年	4	講義コード	1678101	区分	必修	
英文表記	Graduation Study/Work				開講期	後期	開講形態		単位数	16	
担当教員	熊谷有展 下城賢一										
研究室	A 2 1 2 A 4 1 2						オフィス アワー 金曜日昼休み				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	卒業制作、卒業研究										
授業概要	各専門に関連する各自の卒業研究テーマを決定し、担当教官より個別の指導を受け、4年間の集大成として作品制作及び研究を行なう。							関連科目			
								本学科で履修した全ての科目			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	作品及び研究に於ける全プロセスへの理解を深め、テーマの具現化を目指す。その過程に於いて問題提起とその解決能力を身に付けることができるようになる									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0	10	0	70	10	10	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	本学科で履修した全ての科目
DPとの関連	卒業制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	研究作品と制作論、研究姿勢などを総合的に評価する

担当教員の指導のもとで各々の研究に必要な準備・取材等に十分な時間を掛け、目標に向かって日常的に自己反省とその解決のために必要な準備を実践する

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	卒業制作・研究	実習	各学生が担当教員のもと、3年間で修得した内容を踏まえテーマを設定する	任意
	内容	制作・研究のテーマ決定			
2回	テーマ	卒業制作・研究	実習	設定したテーマを具現化するために必要な理論及びイメージの構築	任意
	内容	テーマの具体化			
3回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作・研究に必要な取材、使用画材・機材等の準備を行	任意
	内容	制作・研究のための準備			
4回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	任意
	内容	制作・研究			

科目名	卒業研究◎（芸術文化）（4美）			開講学年	4	講義コード	1678201	区分	必修		
英文表記	Graduation Study/Work(Art & Culture)			開講期	通年	開講形態		単位数	8		
担当教員	関根 浩子 永田 郁										
研究室	A312 A208					オフィス アワー 金曜放課後					
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	論文 美術史 文化史										
授業概要	<p>本科目は芸術文化コースの卒業研究(論文)を執筆するために必要不可欠な科目である。各自の卒業研究のテーマを決定し、個別に指導を受けながら、4年間の集大成として研究論文の執筆を行う。担当教員の指導下で各々の研究に必要なフィールドワークや文献収集を十分に行い、提起した問題の解明(結論)に向けてを努力することで、論文を執筆する基礎能力や汎用的調査・研究能力を養う。</p>							関連科目			
								芸術文化コース全科目			
教職関連 区分								建築学科 のみ	建築 総合	建築 計画	建築 構造
								学修・教育 目標			
JABEE 記号	学生の到達度目標										
	①	学術論文の書き方や構成方法を習得する。									
	②	論理的な考察ができるようになる。									
	③	注の意味を理解し注が付けられるようになる。									
	④	文献の扱い方や参考文献一覧の作成方法を習得する。									
	⑤	図版の処理やキャプションのつけ方に習熟する。									
	⑥	フィールドワークや写真撮影、インタビューなどができるようになる。									
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0		20	70	10	0	100		
教科書	個別に指導										
参考書	個別に指導										



予備知識	テーマに関するある程度の事前知識が必要
DPとの関連	学外(フィールド)に出て第一次資料の実見や写真撮影、台帳記入をしたり、図書館等で文献調査・収集を行ったりして、研究課題解決のための技術や知識、論理的思考力、プレゼンテーション力を身に付けることで、社会において芸術文化研究の専門家として芸術文化の発展に持続的に貢献できる力を修得することを目指す。
実務経験のある教員	
評価明細基準	論文(70点)と口頭発表(20点)、ポートフォリオ(10点)の総点で評価を行う。

先行研究を熟読し、できるだけ早く未解明の問題を絞り込み、問題解明のための資料や文献収集、インタビューを行うこと。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	学術論文を書く 授業としては設定せず、必要に応じ随時指導	AL PBL	学生に応じて異なる	8カ月

科目名	西洋彫刻論（1美デ）				開講学年	1	講義コード	2670301	区分	選択	
英文表記	History of Western Sculpture				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A313						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	彫刻 西洋美術史										
授業概要	<p>本学科の人材育成の目標の一つ芸術・文化における多様な基礎的知識と教養を身に付けることがあるが、中でも本科目は教職を目指す学生の必修科目となっている。本科目では古代ギリシア・ローマから近代までの西洋彫刻の流れを代表的な作家や作例を挙げて解説しながら概説する。2019年度も、古代ギリシアからバロックまでの彫刻の流れを代表的な作例や作家を挙げながら概説して基礎的知識を養うとともに、彫刻の主な展開場所であった建築についても基礎的な知識の習得や用語の習熟を目指す。</p>							関連科目			
								西洋美術史、美術領域論Ⅱ ほか			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…必修【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	彫刻の様式の流れや様式の変遷と時代背景との関係が理解できるようになる。									
	②	時代を画するような彫刻家とその作品や技法が理解できるようになる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	35	40	0	0	0	0	10	15	100		
教科書	授業の中で配布する。										
参考書	世界美術大全集 第3～5、第7～13巻、15、16巻 小学館 大系世界の美術 第5、6、10、12～14、16巻 学習研究社 世界の彫刻 1000の偉業 二玄社 ジョゼフ・マンカ他 杉山昌夫訳 彫刻—その制作過程と原理— 中央公論美術出版社 ルドルフ・ワイトコウアー 池上忠治監訳										

予備知識	特になし
DPとの関連	造形活動や美術教育、芸術文化研究における専門家となり、人間社会の構築や発展に貢献できるように、基礎的知識を身に付ける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	成績の評価は、小(中間)試験(35点)と定期試験(40点)、その他(15点)、ポートフォリオ(10点)によって行い、合計60点以上を合格とする。

中間試験と定期試験の両方を必ず受ける必要がある。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	古代	講義	1回目の復習	40
	内容	オリエンテーション導入、古代ギリシアの彫刻			
2回	テーマ	古代	講義	2回目の復習	40
	内容	古代ギリシア／アルカイック			
3回	テーマ	古代	講義	3回目の復習	40
	内容	古代ギリシア／アルカイック～クラシック（厳格様式期）			
4回	テーマ	古代	講義	2回目の復習	40
	内容	古代ギリシア／クラシック（厳格様式期～盛期クラシック様式期）			
5回	テーマ	古代	講義	2回目の復習	40
	内容	古代ギリシア／盛期クラシック（パルテノン神殿）			
6回	テーマ	古代	講義	2回目の復習	40
	内容	古代ギリシア／後期クラシック			
7回	テーマ	古代	講義	2回目の復習	40
	内容	古代ギリシア／ヘレニズム彫刻			
8回	テーマ	中間試験	試験	1～7回目の復習	180
	内容	古代ギリシア／ヘレニズム彫刻／中間試験			
9回	テーマ	中世	講義	8回目の復習	40
	内容	初期キリスト教美術における彫刻			
10回	テーマ	中世	講義	9回目の復習	40
	内容	ロマネスク彫刻			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	中世	講義	10回目の復習	40
	内容	ゴシック彫刻			
12回	テーマ	ルネサンス	講義	11回目の復習	40
	内容	初期ルネサンス(ライオンツェッセル、洗礼堂門扉ゴッサー)			
13回	テーマ	ルネサンス	講義	12回目の復習	40
	内容	初期ルネサンスの彫刻家～ミケランジェロ			
14回	テーマ	ルネサンス	講義	13回目の復習	40
	内容	盛期ルネサンス～マニエリスム(ミケランジェロとその追隨者の作品)			
15回	テーマ	バロック	講義	14回目の復習	40
	内容	バロック(ベルニーニを中心とする彫刻家とその作品)			
16回	テーマ		試験	8～14回目の復習	180
	内容	定期試験			



科目名	基礎デッサンⅡ（1美）				開講学年	1	講義コード	2670501	区分	選択		
英文表記	basic drawing Ⅱ				開講期	後期	開講形態		単位数	2		
担当教員	下城 賢一											
研究室	A214						オフィス アワー 金曜日・放課後					
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	デッサン、石膏、静物											
授業概要	一人一人が創ってみたい、表現してみたいものは様々であり、将来自分の作品を、自分の思い通りに創り上げる力を養う為にするのがデッサンである。ここでいう基礎デッサンとは、実際のモチーフ(人体や静物など)をよく視て描き、明暗法、ヴァール、マッスや立体感などの基礎的な技術を学び高めるのはもちろんのこと、頭の中にイメージしたものを明確に形にし、表現していける力を養うものである。物の見方や考え方の柔軟な若い時期にデッサンを重ねることにより、幅広い基礎力や、作家としての視る力、表現する力を体得してほしい。								関連科目			
									建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…必修【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。								学修・教育目標			
									JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	観察から表現へ 作家としての視る力、表現する力を養うことができるようになる。										
	②	平面表現における空間把握の理解ができるようになる										
	③	構図の理解ができるようになる										
	④	明暗、陰影(調子)の理解ができるようになる										
	⑤	観察と書き込みにより完成度を高めることができるようになる										
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	0	20	70	10	0	100			
教科書	授業の中で指示する											
参考書												

予備知識	基礎デッサンⅠ
DPとの関連	造形活動や芸術文化研究における専門家として、基礎的技術や専門的知識を総合的に身に付けたものに関連した科目である
実務経験のある教員	
評価明細基準	<p>1.口頭による成果発表 適時に自分の作品に対し狙い及び批評を行う 各10点×2回 20点 2.作品制作に対する取り組み姿勢、作品の内容(表現力、完成度、他)で総合的に評価する(70点) 3.ポートフォリオ 各課題の制作過程、完成作品を所感と図版を交え、A4サイズのファイルにまとめて最終日に提出する(10点)</p>

デッサン用具一式(木炭、木炭紙、鉛筆、カルトンなど)を準備する。テーマにそった内容の講義を実習内に適時行い、テーマにつながる文献等を紹介し、実習外でそれらを補う学習法を指示する。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	静物素描	実習	対象をよく観察し、不要な部分を整理して、表現する力を養う。 形、明暗、材質、空間の表現	180
2回	テーマ ..... 内容	〃	実習	〃	180
3回	テーマ ..... 内容	〃	実習	〃	180
4回	テーマ ..... 内容	〃	実習	〃	180
5回	テーマ ..... 内容	〃	実習	〃	180
6回	テーマ ..... 内容	〃	実習	〃	180
7回	テーマ ..... 内容	〃	実習	〃 ポートフォリオの中間チェック	180
8回	テーマ ..... 内容	〃	実習	〃	180
9回	テーマ ..... 内容	石膏デッサンⅠ	実習	古典彫刻の作品の造形から、形態の美しさを学び、素描の基礎力を培う。	180
10回	テーマ ..... 内容	〃	実習	〃	180

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	"	実習	"	180
	内容				
12回	テーマ	石膏デッサンⅡ	実習	石膏デッサンⅠより高度な石膏像に取り組むことにより、応用力を身につける。ポートフォリオの提出	180
	内容				
13回	テーマ	"	実習	"	180
	内容				
14回	テーマ	"	実習	"	180
	内容				
15回	テーマ	"	実習	"	180
	内容				

科目名	美術領域論Ⅰ（平面造形）（1美デ）				開講学年	1	講義コード	2670701	区分	選択		
英文表記	Art domain theory (Plane painting)				開講期	後期	開講形態		単位数	2		
担当教員	古澤 伸一郎（非常勤）											
研究室	A212						オフィス アワー 金曜日・放課後					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	セザンヌ,キュビズム,抽象表現主義											
授業概要	<p>多数の作品の画像をパワーポイントで紹介しながら講義・ディスカッションをする。学生は消費者としてではなく、表現者になるためにそれらのイメージの根底を読み解いていかなければならない。近代以降の画家は何を読み取り、何を表現してきたのか。この講義では、キュビズムをはじめとする20世紀の美術に多大な影響を与えたことから、「近代絵画の父」と言及されるセザンヌから、ピカソ、ブラックが、20世紀初頭に始めた視覚上革命的な美術表現であるキュビズム。そして第二次世界大戦後のアメリカで生まれた抽象表現絵画等の作品の解説、分析を通してその作品の理解を深め、深く味わう楽しさを伝えることを目的とする。本授業を通して、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。</p>								関連科目			
									建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)</p>								学修・教育目標			
									JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	作品の分析ができるようになる										
	②	視覚的な表現の楽しさを学ぶことができる										
	③	感性だけで消化せず、作品を読み取る作業を通して洞察力・観察力・考える力を身に付けることができるようになる										
	④	作品などのプレゼン発表により、自作に対して、客観的にみる力と、コミュニケーション能力を高めることができる。										
	⑤											
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	70	10	10	5	5	100			
教科書	授業の中で指示する											
参考書												

予備知識	セザンヌ,キュビズム,抽象表現主義について調べておく 日本画実習1A・洋画実習2A・彫刻実習1A・視覚造形実習1・基礎デッサン1
DPとの関連	【知識・理解】造形活動や芸術文化研究における専門家として、基礎的技術や専門的知識を総合的に身に付けたものと関連する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	実技作品提出 10点 口頭プレゼンテーション 10点 レポート提出(レポート3課題30 論文1課題40) 70点 その他(出席など就学態度)5点 ポートフォリオ 5点

次の講義の課題について調べておくこと

学修上の  
注意  
(SBOs)



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	セザンヌ#1	講義	独自性に溢れた革新的な表現とは？	90
2回	テーマ ..... 内容	セザンヌ#2	講義	多角的な視点の採用	90
3回	テーマ ..... 内容	セザンヌ#3	講義	キュビズムの形成に与えた影響	90
4回	テーマ ..... 内容	キュビズム#1	講義	一つの視点から複数の視点(同時的視覚)へ	90
5回	テーマ ..... 内容	キュビズム#2	講義	セザンヌのキュビズム	90
6回	テーマ ..... 内容	キュビズム#3	講義	分析的キュビズム	90
7回	テーマ ..... 内容	キュビズム#4	講義	総合的キュビズム	90
8回	テーマ ..... 内容	キュビズム#5	講義	ロココ的キュビズム	90
9回	テーマ ..... 内容	抽象表現主義#1	講義	第二次世界大戦後の美術の動向	90
10回	テーマ ..... 内容	抽象表現主義#2	講義	アメリカがなぜ世界の美術の中心になったのか？	90

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	抽象表現主義#3	講義	抽象表現主義とは？	90
	内容				
12回	テーマ	抽象表現主義#4	講義	作品の特徴	90
	内容				
13回	テーマ	抽象表現主義#5	講義	クレメント・グリンバーグとフォーマリズム	90
	内容				
14回	テーマ	抽象表現主義#6	講義	「色彩的な絵画」・「線的な絵画」	90
	内容				
15回	テーマ	補足	講義	日本の美	90
	内容				
16回	テーマ	補足	講義	編集について	90
	内容				

科目名	コンピューター演習（1美）				開講学年	1	講義コード	2670801	区分	選択	
英文表記	Seminar in Computer				開講期	後期集中	開講形態		単位数	4	
担当教員	森 英顕（非常勤）										
研究室	教務課前 非常勤講師室						オフィス アワー 木曜日 授業の前後				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	コンピューター活用法、文書作成、画像編集、アートディレクション										
授業概要	<p>本演習では、アーティストとしての活動を行う上で武器となるアート・マネジメント、その一つである企画・広報のための資料作成のプロセスを踏む中で、道具であるコンピュータを用いて紙媒体への出力を目的とした印刷データを作成し、基礎的なコンピュータの操作方法を学ぶものである。《アートのためのセルフ・ディレクション》ディレクションとは、プロジェクトの制作から管理まで総合的な役割を示す言葉である。一般的に企画を管理する役割、「全体を見る」「取りまとめる」だけではなく、実際に制作に関わる・手を使うというニュアンスも含まれている。セルフ(自分自身)で自分自身の展覧会(個展)をディレクションすることで、企画に関わる一連の流れを通して基礎的なコンピュータの活用法を学び、書類作成とプレゼンテーションの能力を習得することを目的とする。</p>							関連科目			
								コンピュータ基礎実習			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	コンピュータの活用法を習得することができる。									
	②	アートのためのセルフ・ディレクションのプロセスを理解することができる。									
	③	企画・広報に関わる文書・フライヤー等の作成法を習得することができる。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	25	30	20	10	15	100		
教科書	授業の中で適宜配布する										
参考書	授業の中で適宜配布する										

予備知識	コンピューター基礎実習
DPとの関連	<p>アートのためのセルフ・ディレクションに関わる資料作成を通して、道具としてのコンピュータ活用法を理解することが期待できる。【知識・理解】企画・広報のための資料作成のプロセスを踏む中で、文書作成・画像編集ソフトウェアのオペレーションを習得し、社会活動に応用できる力を身に付けることが期待できる。【汎用的技能】【態度・志向性】</p>
実務経験のある教員	
評価明細基準	<p>点数の割り当ては以下とする。(合計 100 点) レポート 25 点 成果発表(口頭・実技)30 点 作品 20 点 ポートフォリオ 10 点 その他(出席)15 点 ※作品点(20 点)は、すべての課題を提出することで付加する。</p>

作品発表を前提として演習を行う。自分の作品(3点)を制作しておくこと。コンピューターの操作を覚えるだけでなく、日常の中で実際に活用できることが本カリキュラムの目的である。課題を通して自分自身の様々な活動に応用できるように、その意識を持って取り組むこと。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ ..... 内容	コンピュ ータ 基礎 道真としてのコンピュータを扱うための 基礎知識、「プリントの ためのセルフ ・ディレクション」の概要	講義 + 課題 演習	興味がある展覧会のリストアップ	180
2回	テーマ ..... 内容	文書 作成 Microsoft Word の基本操作	講義 + 課題 演習	展覧会のフライヤーなど参考資料を 集めておくこと	180
3回	テーマ ..... 内容	文書 作成 展覧会計画書の作成	講義 + 課題 演習	展覧会のフライヤーなど参考資料を 集めておくこと	180
4回	テーマ ..... 内容	画像 編集 Adobe Photoshopの基本操作	講義 + 課題 演習	自分の作品(3点)の写真を撮っておくこと。	180
5回	テーマ ..... 内容	レイアウト編 集 Adobe Illustratorの基本操作	講義 + 課題 演習	参考にしたい展覧会のフライヤー (ハガキサイズ/DM)を集めておくこと	180
6回	テーマ ..... 内容	レイアウト編 集 Adobe Illustratorの応用操作	講義 + 課題 演習	参考にしたい展覧会のフライヤー (ハガキサイズ/DM)を集めておくこと	180
7回	テーマ ..... 内容	レイアウト編 集 フライヤー(DM)の作成	講義 + 課題 演習	自分の作品(3点)の写真の準備と、自分が作りたいフライヤー(ハガキサイズ/DM)のイメージ図を考えてくること	180
8回	テーマ ..... 内容	レイアウト編 集 フライヤー(DM)の作成	講義 + 課題 演習	自分が作りたいフライヤー(ハガキサイズ/DM)のイメージ図を考えてくること	180
9回	テーマ ..... 内容	レイアウト編 集 フライヤー(DM)の作成	講義 + 課題 演習	自分が作りたいフライヤー(ハガキサイズ/DM)の完成イメージ図を考えてくること	180
10回	テーマ ..... 内容	中間 講評 印刷出力のための基礎知識	講義 + 課題 演習	Illustrator の基本操作の確認	180

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	レイアウト編集	講義 + 課題 + 演習	参考にしたい展覧会のフライヤー (A4)を集めておくこと	180
	内容	フライヤー(A4)の作成(基本)			
12回	テーマ	レイアウト編集	講義 + 課題 + 演習	自分の作品(3点)の写真の準備と、自分が作りたいフライヤー(A4)のイメージ図を考えてくること	180
	内容	フライヤー(A4)の作成(応用)			
13回	テーマ	レイアウト編集	講義 + 課題 + 演習	自分が作りたいフライヤー(A4)のイメージ図を考えてくること	180
	内容	フライヤー(A4)の作成(応用)			
14回	テーマ	レイアウト編集	講義 + 課題 + 演習	自分が作りたいフライヤー(A4)の完成イメージ図を考えてくること	180
	内容	フライヤー(A4)の作成(応用)			
15回	テーマ	文書編集	講義 + 課題 + 演習	自分の作品(3点)の作品名・サイズ・素材・制作年をリストアップしておくこと。	180
	内容	キャプション・プレスリリースの作成			
16回	テーマ	文書編集	プレゼン + 講評	提出課題である、/展覧会計画書/ フライヤー(DM)/フライヤー(A4)/キャプション/プレスリリース/ のデータチェックをしておくこと。	180
	内容	最終講評			

科目名	日本画実習ⅠB(1美)				開講学年	1	講義コード	2671001	区分	選必	
英文表記	Japanese Painting I B				開講期	後期	開講形態		単位数	8	
担当教員	佐藤 和歌子 田淵 恵理 (非常勤)										
研究室	A412						オフィス アワー 火曜・昼休み				
メールアドレス	w-sato@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画, 細密写生, 模写, 鳥獣戯画										
授業概要	<p>東洋芸術と西洋芸術の相違は、その地の人々の生活・文化・宗教等に起因するものである。その中において日本美術は正確且つ現実的な物体・空間・存在を表現するのではなく、自然との対話と融合を重んじ、精神性を求める芸術へと発展してきた。この日本画本来の美意識や技法を古典を臨模することにより探求する。</p>							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	古来より続く日本美術に対して理解できるようになる									
	②	現代社会における模写の役割を理解できるようになる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席及び制作姿勢(20点)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										



予備知識	日本画実習 I A
DP との 関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	出席及び制作姿勢と実習に於ける全ての作品に対して評価を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	細密写生 鳥の剥製	実習	水張りに使用する道具(刷毛、筆洗、のり、絵皿など)の準備、手順を確認しておく	180
	内容	使用する剥製の選択 和紙(美濃紙)の水張り及び鉛筆で描写			
2回	テーマ	細密写生 鳥の剥製	実習	日本画細密写生における鉛筆の使い方について十分に検討する	180
	内容	鉛筆で描写			
3回	テーマ	細密写生 鳥の剥製	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	鉛筆で描写 墨入れ・地塗り			
4回	テーマ	細密写生 鳥の剥製	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	水干絵具による細密写生			
5回	テーマ	細密写生 鳥の剥製	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	水干絵具による細密写生			
6回	テーマ	細密写生 鳥の剥製	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	水干絵具による細密写生			
7回	テーマ	細密写生 鳥の剥製	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	谷評・採点			
8回	テーマ	模写 鳥獣戯画	講義	模写の技法・役割について十分に検討する	180
	内容	鳥獣戯画及び模写の技法・役割等の説明			
9回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	模写における鉛筆の使い方について十分に検討する	180
	内容	模写(鉛筆)			
10回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	模写における鉛筆の使い方について十分に検討する	180
	内容	模写(鉛筆) 水張り(厚美濃紙)			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	模写における鉛筆の使い方について十分に検討する	180
	内容	模写(鉛筆) 永張り(薄美濃紙)			
12回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	模写(墨)			
13回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	模写(墨)			
14回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	模写(墨)			
15回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	模写(墨)			
16回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	合評・採点			

科目名	洋画実習ⅠB(1美)				開講学年	1	講義コード	2671201	区分	選必	
英文表記	Oil PaintingⅠB				開講期	後期	開講形態		単位数	8	
担当教員	下城賢一 熊谷有展 古澤伸一郎(非常勤)										
研究室	L号館D201						オフィス アワー 月1,2 火3,4 木3,4 金1,2				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	油絵具、グリザイユ技法、キアロスクーロ(古典的デッサン)										
授業概要	洋画実習ⅠAにおいて試行した基礎造形力を学ぶ課題をさらに深化させたカリキュラムを組んでいる。洋画実習ⅠBではこの基礎造形力を身につける課題に引き続き取り組みつつⅠAで評価基準とした3点をがどのような面で絵画表現にとって必要かを思考し各学生が共有できるように課題が組まれている。この授業での評価基準としてはⅠAにおける3点(観察力・技術・構成力)に加えて各学生の油彩表現における絵画的な豊かさや技法の習得、色彩と明暗の理解も併せて評価の基準とする。							関連科目			
								洋画実習ⅠA			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	洋彩画の基本的な技法を理解し、応用力を養うことができる。									
	②	キャンバス上の油絵具の厚みを考えることができる。									
	③	油絵具による質感表現に取り組むことができる。									
	④	グリザイユ技法による空間表現を理解することができる。									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	洋画実習1A、基礎デッサン、西洋美術史
DPとの関連	絵画制作の基本的な技術を追求しながら、幅広い芸術世界についても、美術館見学等を通し、探求する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	授業への積極的な参加と制作作品により評価。実技課題における学生の作品の完成度および取り組む姿勢。各課題終了毎に作品寸評を含んだ講評会において学生に口頭で評価を伝える。

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	デッサン	実習	使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認	540
	内容	着彩紙デッサン(キアロスクーロ)			
2回	テーマ	デッサン	実習	使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認	1620
	内容	裸婦デッサン/大型木炭紙			
3回	テーマ	油彩画	実習	使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認	2700
	内容	着衣人物/油彩画			
4回	テーマ	油彩画	実習	使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認	5220
	内容	人物座像/デッサン、グリザイユ、油彩画			



科目名	彫刻実習ⅠB(1美)				開講学年	1	講義コード	2671401	区分	必修	
英文表記	Sculpture Work 1B				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	川畑 浩徳										
研究室	L-						オフィス アワー 月曜5限				
メールアドレス	@art.sono-u.ac.jp										
キーワード	人物塑像制作										
授業概要	モデルを用いて、的確なデッサンに基づく立体表現の基礎的な実習を行なう。塑像による半身像を制作し、立体的な表現や、粘土による表現力を養う。							関連科目			
								西洋美術史、日本美術史、美術領域論Ⅱ			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	人体のデッサン力を高めることができるようになる									
	②	心棒の組み方が理解できるようになる									
	③	塑像による表現を楽しめるようになる									
	④	面や量感などの造形要素を理解できるようになる									
	⑤	モデルを見て、的確なモデリングができるようになる									
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書											
参考書											

予備知識	粘土の性質を理解する 人体の骨格や筋肉などを観察して繰り返しデッサンする 彫刻の素材や制作の為の道具について研究する
DPとの関連	芸術や文化における専門家としての基礎的な技術や知識を総合的に身に付け、造形活動や芸術の研究を通して培った豊かな感性や高い倫理観を持った、社会人となるための修練や、あらゆる物事に真摯に取り組む姿勢を持つ人物の育成を目指すとともに、社会における芸術の役割を認識した上で、現代の課題を発見し、それを解決することによって未来の文化形成に寄与し、社会貢献できる人物を育成するという目標を持った授業となっています。
実務経験のある教員	
評価明細基準	的確なデッサンに基づくモデリングができたか 表現に工夫がみられたか 毎回テーマを持って取り組めたか

心身ともに健康面の管理を徹底する 粘土や道具等の管理を自ら責任をもって行なう 最後まで粘り強く作品を作り上げる姿勢で臨む 自主制作を徹底する

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義		150
	内容	内容の確認			
2回	テーマ	ポーズ決め	実習		150
	内容	デッサン			
3回	テーマ	ポーズ決め	実習		150
	内容	デッサン			
4回	テーマ	ポーズ決め	実習		150
	内容	デッサン			
5回	テーマ	心棒組み	実習		150
	内容	心棒組み			
6回	テーマ	心棒組み	実習		150
	内容	心棒組み			
7回	テーマ	制作	実習		150
	内容	粘土によるモデリング			
8回	テーマ	制作	実習		150
	内容	粘土によるモデリング			
9回	テーマ	制作	実習		150
	内容	粘土によるモデリング			
10回	テーマ	制作	実習		150
	内容	粘土によるモデリング			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	中間講評	講評		150
	内容	粘土によるモデリング			
12回	テーマ	制作	実習		150
	内容	粘土によるモデリング			
13回	テーマ	制作	実習		150
	内容	粘土によるモデリング			
14回	テーマ	制作	実習		150
	内容	粘土によるモデリング			
15回	テーマ	制作	実習		150
	内容	粘土によるモデリング			
16回	テーマ	講評 評価			150
	内容	プレゼンテーション 評価			

科目名	石膏技法実習A (1美)				開講学年	1	講義コード	2671501	区分	必修	
英文表記	Plaster technique work A				開講期	後期前半	開講形態		単位数	1	
担当教員	東耕平 (非常勤)										
研究室	A-104						オフィス アワー 金曜日5限				
メールアドレス	seaman.kohei1114@gmail.com										
キーワード	石膏										
授業概要	<p>塑像作品を耐久素材に置き換えるための素材として、石膏は欠かせないものである。石膏の性質を理解し、型取りから成型までの流れを理解し体験し、塑像作品を石膏に置き換えられるようになる。また、石膏を表現素材として活用する技法も身につける。</p>							関連科目			
								彫刻実習 I A、I B			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	石膏素材を自由に扱うことができるようになる									
	②	型取りを理解し、技法を駆使できるようになる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0	10	10	60	10	10	100		
教科書	特になし										
参考書	特になし										

予備知識	<p>塑像制作作品の完成 型取りから成型にいたるまでの行程を理解する</p>
DP との 関連	<p>芸術や文化における専門家としての基礎的な技術や知識を総合的に身に付け、造形活動や芸術の研究を通して培った豊かな感性や高い倫理観を持った、社会人となるための修練や、あらゆる物事に真摯に取り組む姿勢を持つ人物の育成を目指すとともに、社会における芸術の役割を認識した上で、現代の課題を発見し、それを解決することによって未来の文化形成に寄与し、社会貢献できる人物を育成するという目標沿った授業となっています。</p>
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	<p>石膏型取りを理解し技術を体得できたか 実習の為の準備や自主的な制作ができたか 理解した内容が作品に反映できたか</p>

道具等は各自で必要なものを揃える

学修上の  
注意  
(SBOs)



授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	次回授業の準備説明	150
	内容	内容の理解			
2回	テーマ	石膏素材について	講義、実習	石膏及び必要な道具の準備・購入	150
	内容	石膏の特徴や可能性について理解する			
3回	テーマ	型取り実習	実習	型の分け方、石膏の性質を理解する	150
	内容	キリガネの入れ方 石膏の使用法実習 型取り実習			
4回	テーマ	型取り, 成型実習	実習	石膏の扱い方を理解する	150
	内容	成型実習			
5回	テーマ	型取り 成型実習	実習	割り出しの手順、道具の扱いを理解する	150
	内容	成型、割り出し実習			
6回	テーマ	石膏じか付け制作	実習	石膏の扱い、道具の扱いと応用を理解する	150
	内容	石膏によるじか付け制作			
7回	テーマ	石膏じか付け制作	実習	同上	150
	内容	石膏によるじか付け制作			
8回	テーマ	プレゼンテーション 講評、評価	評価	授業内容の理解度を確認する	150
	内容	プレゼンテーション			
9回	テーマ				150
	内容				
10回	テーマ				150
	内容				

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ				150
	内容				
12回	テーマ				150
	内容				
13回	テーマ				150
	内容				
14回	テーマ				150
	内容				
15回	テーマ				150
	内容				
16回	テーマ				150
	内容				

科目名	石膏技法実習B(1美)				開講学年	1	講義コード	2671601	区分	必修	
英文表記	Plaster technique work B				開講期	後期後半	開講形態		単位数	1	
担当教員	東耕平(非常勤)										
研究室	A104						オフィス アワー 金曜5限				
メールアドレス	seaman.kohei1114@gmail.com										
キーワード	FRP樹脂										
授業概要	石膏素材と同じく、FRP樹脂を彫刻の成型素材として使用できることを理解し、その技法を身につけることを目指します。また、石膏やFRPが、型取りや成型の素材としてだけでなく、表現素材としての展開もあることを学びます。							関連科目			
								彫刻実習IA IB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	塑像作品の型取りができるようになる									
	②	FRPの使用方法を理解できるようになる									
	③	FRP成型ができるようになる									
	④	彫刻作品の着色ができるようになる									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	特になし										
参考書	特になし										

予備知識	FRP樹脂とは何かを知っておく
DPとの関連	芸術や文化における専門家としての基礎的な技術や知識を総合的に身に付け、造形活動や芸術の研究を通して培った豊かな感性や高い倫理観を持った、社会人となるための修練や、あらゆる物事に真摯に取り組む姿勢を持つ人物の育成を目指すとともに、社会における芸術の役割を認識した上で、現代の課題を発見し、それを解決することによって未来の文化形成に寄与し、社会貢献できる人物を育成するという目標に沿った授業となっています。
実務経験のある教員	
評価明細基準	FRP樹脂の使い方が理解できたか FRP樹脂成型ができるようになったか 石膏を自由に使用できるようになったか 着色ができるようになったか

危険な薬品等も使用するので、服装、有機溶剤対応のガスマスク等の準備が必要です

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	FRPの特性を理解する	150
	内容	実習概要の説明とFRPについての講義			
2回	テーマ	型取り	実習	石膏の型取りを理解する	150
	内容	石膏による型取り			
3回	テーマ	型取り、粘土掻き出し	実習	粘土のかき出し方を理解する	150
	内容	型取り、粘土掻き出し			
4回	テーマ	FRP成型	実習	FRP成型を理解する	150
	内容	FRP成型			
5回	テーマ	FRP成型	実習	同上	150
	内容	FRP成型			
6回	テーマ	割り出し	実習	割り出し方を理解する	150
	内容	割り出し			
7回	テーマ	修正、着色	実習	修正、着色の作業を理解する	150
	内容	修正、着色			
8回	テーマ	プレゼンテーション 講評、評価	プレゼン 評価	実習の理解度を確認する	150
	内容	プレゼンテーション 講評、評価			

科目名	美術史基礎演習Ⅱ(1美)			開講学年	1	講義コード	2671801	区分	選必	
英文表記	Basic Study for Art History II			開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁									
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	美術史 アートリテラシー 鑑賞能力 文章記述力									
授業概要	美術史という学問はまず「もの(芸術作品)をみる」ことから始まる。それはまさに「世界」を認識することでもある。自分が観察したもの(視覚的情報)を自分の言葉でできるだけわかりやすく変換できるかが美術史の基本作業となり、すべてはそこから始まる。これを「作品記述(description)」と呼ぶ。本演習では美術史の勉強をはじめると同時に、作品記述に必要な様々な技術・能力を養い、「作品記述」を通して、「ものをみる」能力、つまり鑑賞能力(アート・リテラシー)を鍛えていく。また、本演習を通して実社会に役立つ日本語表現応力を身につける。							関連科目		
								日本美術史／東洋美術史／西洋美術史／美術概論／芸術文化コース開講のすべての専門科目に関連する。学芸員課程科目		
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)							学修・教育目標		
	JABEE基準									
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	美術作品の観察力・鑑賞力の基礎力を習得できる。								
	②	美術作品についての記述力・伝達力の基礎力を習得できる。								
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	40	10	30	0	10	10	100	
教科書	高校生のための哲学・思想入門 筑摩書房 竹田青嗣他編著 日本美術史ハンドブック 新書館 辻惟雄他編 美術史と美術理論 西洋十七世紀絵画の見方 放送大学教材 木村三郎 1冊でわかる美術史 岩波書店 ダナ・アーノルド著・鈴木杜幾子訳 購入の必要なし。上記のテキストは適宜コピーを配布する。									
参考書	西洋美術史入門 ちくまプリマー新書、2012年 池上英洋 イメージの歴史 ちくま学芸文庫、2012年 若桑みどり イメージを読む—美術史入門— ちくま学芸文庫、2005年 若桑みどり アートを書く!クリティカル文章術 Next Creator Bookフィルムアート社、2006年 杉原賢彦他 美術を書く 東京美術 シルヴァン・バーネット著、竹内順一監訳									

予備知識	
DPとの関連	2年次以降の専門科目の芸術文化研究を遂行するための初歩的な準備、基礎形成をしっかりと行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常の授業の取り組み10点、自分記述10点、スケッチ10点、モティディ20点、レポート10点、作品カード(3枚)30点、SOJOポートフォリオ10点(計100点)



単位修得の条件は①出席3分の2以上、②上記の課題提出をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	オリエンテーション ..... ものをみるって何？	講義		90
2回	テーマ ..... 内容	「自分」を記述する。① ..... 「牡蠣フライ理論(カキフ)」で記述してみよう。	演習/AL	課題①	90
3回	テーマ ..... 内容	「自分」を記述する。② ..... 「牡蠣フライ理論(カキフ)」で記述してみよう。(添削指導)	演習		90
4回	テーマ ..... 内容	自分のまわりのものをデッサン/記述しよう。① ..... スケッチ×記述(スケデイ)	演習	課題②	180
5回	テーマ ..... 内容	モチーフ構成と記述① ..... モチーフ×記述(モティデイ)	演習	課題③-1	180
6回	テーマ ..... 内容	モチーフ構成と記述② ..... モチーフ×記述(モティデイ)	演習	課題③-2	180
7回	テーマ ..... 内容	視覚情報を的確に他人に伝えよう。① ..... スケッチスキル(スケスキ)	演習		90
8回	テーマ ..... 内容	視覚情報を的確に他人に伝えよう。② ..... デイスクリプションスキル(デイスキ) 美術作品の記述①: 作品カードの作り方	演習/講義		90
9回	テーマ ..... 内容	美術作品の記述②(4コマ) ..... 作品カード作成(3枚)および提出 総括		課題④1-3: 作品カード作成(文章添削含む)	360

科目名	視覚造形実習ⅠB(1美)		開講学年	1	講義コード	2672001	区分	選択		
英文表記	Visual Arts Work I B		開講期	後期	開講形態		単位数	6		
担当教員	永田 郁 勝野眞言 野島泉里(非常勤) 野島マーサ(非常勤)									
研究室	永田A208(芸術学部棟) 勝野A212(芸術学部棟)				オフィス アワー 水曜日5限(永田)					
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	アート制作 ドローイング 塑造 コンセプト									
授業概要	本実習は視覚芸術コース独自のプログラムであり、アート制作にあたってデザイン的表現方法を含め、様々な領域を横断して作品制作が可能となる基本的な思考・方法論を学び、2年次以降自分が構想するイメージを多様なメディアを統合して作品制作できる基礎的なものの見方、考え方およびデザイン的思考を学び、アート制作の基盤を構築する。後期は①デッサン・ドローイング②立体塑造、③制作のアプローチで構成される。アート制作に必要な基本的な技術・発想法を含めアートへのアプローチの方法を習得していく。なお、理論およびプレゼンテーション、ライティングの技術については視覚造形演習B(永田担当)において習得していく。本実習は週2コマ×3回で実施される。2年次以降のアート制作を実現するための様々なツール(デザイン領域、アート理論領域)を修得し、自分が制作したい作品内容を実現できるための方法を様々な分野を横断しながら、作品に落とし込み、その表現方法を身につけていく。各領域の担当開講曜日は下記の通りである。月曜日1-2限:デッサン・ドローイング(野島泉里【美/非】・永田【美】) 木曜日1-2限:立体塑造(勝野【美】) 金曜日1-2限:制作のアプローチ(野島【マ】【美/非】)						関連科目			
							視覚造形実習ⅠA/視覚造形演習A/視覚造形演習B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	アート制作にあたり、必要な基本的なものの考え方、素材や道具の扱い方、またドローイングを通して発想する方法を理解できる。								
	②									
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	80	10	10	0	100	
教科書	特に指定しない。									
参考書	学ばないドローイング(HOW TO SEEシリーズ) フィルム・アート社 ピーター・ジェニー著・石田友里訳 ドローイング・テクニック(HOW TO SEEシリーズ) フィルムアート社 ピーター・ジェニー著・石田友里訳 アーティストの目(HOW TO SEEシリーズ) フィルムアート社 ピーター・ジェニー著・石田友里訳 人間を描く(HOW TO SEEシリーズ) フィルムアート社 ピーター・ジェニー著・石田友里訳									

予備知識	
DPとの関連	アート制作、ドローイング、塑造といった異なる領域の学びを通して、メディア、固定観念にとらわれない造形活動の土台を形成する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	各クラスの課題80%、ポートフォリオ10%、目標到達度レポート10%の100点。

本実習内容は曜日毎に内容が異なるので、オリエンテーションには必ず出席すること。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	野島泉里(非常勤)・永田 ドローイング			
	内容	ドローイングは思考の方法である。ドローイングに正解はなく、むしろその思考の連続性の中に様々な発見をしていくところに価値を見出す。正解を求めることは思考の停止であり、ドローイングはその反対の行為である。一年を通じてドローイングを学んでいくが、2年次以降の創作の基盤となることを目指す。			
2回	テーマ	ドローイング課題1(3週)	実習		540
	内容				
3回	テーマ	ドローイング課題2(3週)	実習		540
	内容				
4回	テーマ	ドローイング課題3(3週)	実習		540
	内容				
5回	テーマ	ドローイング課題4(3週)	実習		540
	内容				
6回	テーマ	ドローイング課題5(3週)	実習		540
	内容				
7回	テーマ	勝野 立体塑造		モデルを観察して、特徴を把握できるようになる	
	内容	1、モデルのデッサンをして特徴を把握する	実習		180
8回	テーマ			粘土の性質を知って塑造の制作過程を理解できるようになる。	
	内容	2、心樺制作と粘土の荒付	実習		180
9回	テーマ			・塊や面、構造について理解できるようになる ・道具の使い方を工夫できるようになる	
	内容	3-4、粘土による頭像制作・I-II	実習		360
10回	テーマ				
	内容	5、中間評での相互評価	レクチャー		180

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ ..... 内容	6、評価を反映して頭像制作・Ⅲ	実習		180
12回	テーマ ..... 内容	7、粘土による頭像制作・Ⅳ	実習		180
13回	テーマ ..... 内容	8、同上・Ⅴ	実習		180
14回	テーマ ..... 内容	9、相互評価による中間評	レクチャー		180
15回	テーマ ..... 内容	10、粘土による頭像制作・Ⅵ	実習		180
16回	テーマ ..... 内容	11、石膏取り・Ⅰ 雌型づくり(作業の流れを理解する。	実習	石膏取り、及びテラコッタ制作の流れを理解できるようになる。	180
17回	テーマ ..... 内容	12、石膏取り・Ⅱ 雌型づくり(作業の)流れを理解する。	実習		180
18回	テーマ ..... 内容	13、テラコッタ用型込め	実習		180
19回	テーマ ..... 内容	14、型外しと修正	実習		180
20回	テーマ ..... 内容	15、焼成	実習		180

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
21回	テーマ ..... 内容	16、窯開けと修正および彩色	実習		180
22回	テーマ ..... 内容	野島マーサ(非常勤) 作品のアプローチ 作品の内容とは何か、ということについて、簡単な制作を通じて考える。随時ディスカッションをする。(前期のほかの講義の内容を踏まえて)			
23回	テーマ ..... 内容	課題1	実習		360
24回	テーマ ..... 内容	課題2	実習		360
25回	テーマ ..... 内容	課題3	実習		360
26回	テーマ ..... 内容	課題4	実習		360
27回	テーマ ..... 内容	課題5	実習		360
28回	テーマ ..... 内容	課題6	実習		360
29回	テーマ ..... 内容	課題7	実習		540



科目名	視覚造形演習B(1美)				開講学年	1	講義コード	2672201	区分	選択	
英文表記	Visual Art Basic Seminar B				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	A208(芸術学部棟)						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	現代アート 人類学 米作り The 3rd Floor つち式										
授業概要	本演習は前期の視覚造形演習Aに引き続き、前半において現代アートにおける理論的な理解を深め、制作に必要なものの見方・考え方の基盤を形成していく。その次に関心を自分の身の回りで起きている事象に向け、本年度は「米作り」に焦点をあて、我々人間にとって「米作り」とは何かを考えめぐらせ、人類学的なアプローチからそれをどのようにプロジェクト化できるかを受講者とともに考える。そして、本演習の最後の課題として、視覚芸術コース年度末の成果発表の場であるThe 3rd Floor展に向け、各自企画構想して、それを如何に実現に向けて主体的に動き制作できるかを学んでいく。							関連科目			
								視覚造形演習A/視覚造形実習I A/視覚造形実習I B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像がIT表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	現代アートのさまざまな表現について理解できる。									
	②	米について考え、どのようにプロジェクト化できるか、計画できる。									
	③	2年生に向けて、制作に必要な基礎的な考え方、ものの見方を修得できた。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	40	40	10	10	0	100		
教科書	5歳の子どもにできそうでできないアート 東京美術 スージー・ホッジ つち式2017 東千茅 上記のテキストは講義時に適宜コピー配布。										
参考書	たぐいvol.1 垂紀書房 Lexicon 現代人類学 以文社 奥野克巳 アートで生きる 美術出版社 杉田敦編 イメージと意味の本 フィルムアート社 ション・ホール アートスクールで学ぶ101のアイデア フィルムアート社 キット・ホワイ										

予備知識	
DPとの関連	視覚芸術コースとしての造形活動に対する初歩的・基礎的な考え方・ものの見方およびリサーチ力を身につけていく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	プレゼンテーションによる発表およびレポート(40)、The 3rd Floor(40)、ポートフォリオ(10)、目標到達度レポート(10)計100点。

本演習は視覚造形実習IBと連動しているため、後期における視覚芸術コースの全体のスケジュールを初回オリエンテーションで説明するので必ず出席すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ ..... 内容	オリエンテーション ..... 後期の課題(The 3rd Floor)とスゲジュールについて	講義		180 (1週)
2回	テーマ ..... 内容	講読・発表1(現代アート編)(10月) ..... 『5歳の子どもにできそうでできないアート』を取り上げ、各回生が発表し、議論する。	演習	発表後、レポート作成する	720 (2-5週)
3回	テーマ ..... 内容	講読・発表2(人類学編)(11月) ..... 収穫の秋、『つち式』を読んで、2020年度米を作り、それを作品化する方法を考える(リサーチ・構想)。例)バケツ米作り <a href="https://life.ja-group.jp/education/bucket/">https://life.ja-group.jp/education/bucket/</a>	演習	各自、「米を作り、それを作品化する」の実行プランを発表後、企画書提出。	900 (6-10週)
4回	テーマ ..... 内容	The3rd Floor ..... 硯川実習棟における課題The3rdFloorの企画・制作	演習	各自企画書作成する。	900 (11-15)
5回	テーマ ..... 内容	まとめ ..... 目標到達度レポートおよびポードフォリオ作成			

科目名	共通立体実習（彫刻）（2美）				開講学年	2	講義コード	2672601	区分	選必	
英文表記	Common three-dimensional training (sculpture)				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	勝野 眞言 森 英顕（非常勤）										
研究室	A212						オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	粘土、観察力、頭部、発見										
授業概要	<p>人体の頭部を観察し、粘土による制作を通して観察力を実践的に養う機会とする。立体制作は、ただ一方向のつつまが合えば良いと言うのではなく、360度あらゆる方向からの観察が必要であり、見慣れた対象を改めて見つめ直すと新たな発見が得られる。『観察力』は今後の造形活動が続けて行く上で必要不可欠なものである。対象をしっかり観察することによって、感動や自分の心を動かすもの、あるいは各自の狙いを素材である土を扱いながら追求を行う。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。</p>							関連科目			
								共通デッサン1、2／日本画実習1A、1B／洋画実習1A、1B／彫刻実習1A、1B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	粘土による制作を通して観察力を深めることができる。									
	②	素材の特徴を理解することができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	プリント										
参考書											

予備知識	基礎デッサン1,2
DPとの関連	<p>学びのキーワードは「対象をよく観る＝観察力の習得」である。対象を見つめることから発想を得、コンセプトを練り上げ、制作のための試行錯誤を繰り返えし、他者にわかりやすく魅力的に伝える為の表現力やプレゼンテーション力を鍛える。このような一連のプロセスを辿ることで企業の現場で役立つような企画力、計画性、コミュニケーション力を身につけ、あらゆる業種の企業から求められる人材育成に繋げることができる。</p>
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席・レポート提出・プレゼンテーションへの取り組み・到達度などを考慮し、総合的に評価する。

動きやすく作業に適した服装であること。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	作家活動紹介	実習	パワーポイントで作例を示す	180
	内容	立体作品紹介			
2回	テーマ	平面描写による立体の理解	実習	鉛筆デッサン	180
	内容	首画像デッサン			
3回	テーマ	心棒制作	実習	木材、棕櫚縄で頭部の心棒をつくる。粘土を土練機で練る	180
	内容	心棒制作・粘土練			
4回	テーマ	頭像観察	実習	面の展開	180
	内容	制作 構造の理解1			
5回	テーマ	頭像観察	実習	量の展開	180
	内容	制作 構造の理解2			
6回	テーマ	頭像観察	実習	切断・分割	180
	内容	制作 塊の理解1			
7回	テーマ	頭像観察	実習	積む構造	180
	内容	制作 塊の理解2			
8回	テーマ	頭像観察	実習	組む構造	180
	内容	制作 塊の理解3			
9回	テーマ	頭像観察	実習	量の全体の中でのバランスの理解	180
	内容	制作 量の構成			
10回	テーマ	客観的な理解	実習	個別にプレゼンを行う	180
	内容	講評会			



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	頭像観察	実習	対象を観察し制作を行なう	180
	内容	制作量の理解			
12回	テーマ	頭像観察	実習	同上	180
	内容	同上			
13回	テーマ	頭像観察	実習	同上	180
	内容	同上			
14回	テーマ	頭像観察	実習	同上	180
	内容	同上			
15回	テーマ	頭像観察	実習	同上	180
	内容	同上			
16回	テーマ	客観的な理解	実習	到達度ポートフォリオの作成	180
	内容	講評会 個別にプレゼンを行う			

科目名	日本画実習ⅡB(2美)			開講学年	2	講義コード	2672801	区分	選必		
英文表記	Japanese painting Practical ⅡB			開講期	後期	開講形態		単位数	8		
担当教員	中村 賢次										
研究室	A416					オフィス アワー 水曜昼休み					
メールアドレス	ken1214@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具,人物画										
授業概要	日本画制作に必要な写生・小下図・草稿・本紙の各課程を理解し実践する中で、日本画の画材全般の使用方法を理解し、制作において必要な集中力・持久力を養う。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像がデジタル表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	感動と観察による写生の重要性を理解できるようになる									
	②	写生を元に作品制作において重要な小下図の役割を理解できるようになる									
	③	日本画の画材の性質上、不可欠な工程である草稿の役割を理解できるようになる									
	④	本紙における各画材の使用方法を理解できるようになる									
	⑤	作品制作で最も重要である感動やイメージを具現化するために必要な気力・体力を身に付けることができるようになる									
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席・平常点10点(日)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的に質疑を行ない理解度を確認する。一作品ごとに合評・採点を行なう。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 人物	人物 肖像又は実在する人物の写生及び20号パネル製作	実習	十分な写生を繰り返す	180
2回	テーマ 人物	人物 写生を元に小下図制作及び和紙(麻紙・楮紙)にドーサ引き	実習	感覚的なイメージを具体化する	180
3回	テーマ 人物	人物 原寸大での草稿及び裏打ち	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	180
4回	テーマ 人物	人物 草稿の転写、墨入れ、地塗り	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	180
5回	テーマ 人物	人物 本紙制作(水干絵具)	実習	画材と技法について十分に検討する	180
6回	テーマ 人物	人物 本紙制作(水干絵具)	実習	画材と技法について十分に検討する	180
7回	テーマ 合評・採点	合評・採点 本紙制作(水干絵具)	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
8回	テーマ 植物	植物 屋外にて植物の写生及び30号パネル製作	実習	十分な写生を繰り返す	180
9回	テーマ 植物	植物 写生を元に小下図制作及び和紙(麻紙・楮紙)にドーサ引き	実習	感覚的なイメージを具体化する	180
10回	テーマ 植物	植物 写生を元に小下図制作及び和紙(麻紙・楮紙)にドーサ引き	実習	感覚的なイメージを具体化する	180

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	植物	実習	カタチに対して十分な検討を行な	180
	内容	草稿の転写、墨入れ、地塗り			
12回	テーマ	植物	実習	画材と技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作(岩絵具)			
13回	テーマ	植物	実習	画材と技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作(岩絵具)			
14回	テーマ	植物	実習	画材と技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作(岩絵具)			
15回	テーマ	植物	実習	画材と技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作(岩絵具)			
16回	テーマ	合評・採点	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	本紙制作(岩絵具)			

科目名	洋画実習ⅡB(2美)				開講学年	2	講義コード	2673001	区分	選択		
英文表記	Thematic Practice in Oil Painting ⅡB				開講期	後期	開講形態		単位数	4		
担当教員	熊谷有展 下城賢一(非常勤) 上野洋嗣(非常勤)											
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金曜日5時限目					
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	洋画ⅡB											
授業概要	<p>洋画実習を経て、絵画の総合的な完成を求める。絵画上での表現力を養い、総合的な作品と共にプレゼンテーションができる様にする。発想と技術の重要性に目を向け、個々の感性による表現を大切にす。対象物を観察し、調和の取れた感動のある作品を目指す。洋画実習をふまえ技術、創造力を身につけ、成長させていく、古典技法発展の実習も行う。この授業には汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。</p>								関連科目			
									洋画実習ⅠB			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像が表現を含む)</p>								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	基礎造形力の集大成としての力をつける										
	②											
	③											
	④											
	⑤											
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	0	0	70	0	30	100			
教科書	プリント配布											
参考書												

予備知識	洋画実習ⅡAと連動する
DPとの関連	自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力をみにつけ、それらを実践できるもの
実務経験のある教員	
評価明細基準	テーマ作品の提出と出席



学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ ..... 内容	人物画(油彩)	実技	人物着衣を描く	
2回	テーマ ..... 内容	.....	.....	.....	
3回	テーマ ..... 内容	.....	.....	.....	
4回	テーマ ..... 内容	.....	.....	.....	
5回	テーマ ..... 内容	.....	.....	.....	
6回	テーマ ..... 内容	静物画(油彩)	.....	静物画を描き、構図を考察する	
7回	テーマ ..... 内容	.....	.....	.....	
8回	テーマ ..... 内容	.....	.....	.....	
9回	テーマ ..... 内容	.....	.....	.....	
10回	テーマ ..... 内容	.....	.....	.....	

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	進級制作作品(油彩)	〃	人物、静物、風景を描く	
	内容				
12回	テーマ	〃	〃	〃	
	内容				
13回	テーマ	〃	〃	〃	
	内容				
14回	テーマ	〃	〃	〃	
	内容				
15回	テーマ	〃	〃	〃	
	内容				

科目名	彫刻実習ⅡB(2美)			開講学年	2	講義コード	2673201	区分	必修		
英文表記	sculpture works ⅡB			開講期	後期	開講形態		単位数	12		
担当教員	川畑 浩徳										
研究室	L-A216					オフィス アワー 月曜5限					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	塑像、人体座像										
授業概要	<p>塑像で人体像を制作することにより、立体制作上の基礎的な構築力や、表現力を身につけることができようになる。さまざまなポーズを研究し、人体彫刻の魅力について考察できるようになる。量感や動勢、バランスなどを考慮しながら肉付けできるようになる。粘土素材で様々な表現技術を試みて、研究を深めることができるようになる。</p>							関連科目			
								共通立体、西洋彫刻論			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	構築的なポーズの研究を深めることができるようになる									
	②	正確なデッサンに基づくモデリングができるようになる									
	③	より深く対象を観察し、自己の表現について考察を深めることができるようになる									
	④	粘土による表現が多様化したか判断できるようになる									
	⑤	人体彫刻の魅力について考察できるようになる									
	⑥	次の作品制作の課題が見えてきたか判断できるようになる									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	10	10	60	10	10	100		
教科書	適宜指示する										
参考書	適宜指示する										

予備知識	ギリシア彫刻のコントラポストなど、片足重心のポーズの際の重心の捉え方や、左右対称のポーズの際の重心の位置などを観察してみる。傾きやひねりなどを意識して面の方向性について観察する。
DPとの関連	表現者としての技量を高めるとともに、制作を通して、人間生豊かな人格の形成を育むことができ、DPに即した内容である
実務経験のある教員	
評価明細基準	モデルの個性を生かしたポーズ決めができたか 構築的な把握ができたか 粘り強く制作に挑戦する姿勢があったか 制作上で新たな発見があったか ・出席状況は良かったか

・準備から作品制作、そして片付けに至るまで、一貫した流れを身につける。制作意欲を自ら高め、課題を持って、積極的に制作に挑む。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	デッサン	実習	ポーズの研究(予習、復習) デッサン	540
	内容	ポーズ研究のためのデッサン			
2回	テーマ	デッサン	実習	ポーズの研究(予習)	180
	内容	ポーズ決めのためのデッサン			
3回	テーマ	制作	実習	素材の準備、心棒作成の研究(予習)	360
	内容	心棒組み			
4回	テーマ	制作	実習	デッサンに基づき粘土をつける(予習、復習)	1620
	内容	荒付けⅠ			
5回	テーマ	制作	講義	合評を基に自主制作する	180
	内容	中間合評			
6回	テーマ	制作	実習	立体の捉え方を自ら問いながら、粘土表現への可能性を研究する	1800
	内容	荒付けⅡ			
7回	テーマ	制作	講義	合評を基に自主制作する 講評について、話し合いさらに研究を深める	360
	内容	中間合評Ⅱ			
8回	テーマ	制作	実習	様々な作家研究をしながら、独自の表現を模索し、作品に反映させる	2000
	内容	中付け			
9回	テーマ	制作	実習	細部や表面処理を研究し、完成に向かう	520
	内容	仕上げ			
10回	テーマ	講評	講義	作品についてプレゼンテーションを行なう(予習)	180
	内容	講評・評価			

科目名	西洋美術史特論Ⅱ(2美)				開講学年	2	講義コード	2673801	区分	選必	
英文表記	History of Western Art Advanced II				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A313						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	パトロン メディチ家 教皇 芸術家 アートとマネー										
授業概要	美術学科の人材育成目標の一つに、美術領域の専門家としての基礎的な知識を総合的に身に付けることがあるが、本科目は特に芸術文化コースの学生にとっては、基礎的な知識を身に付けるのに必要不可欠な科目である。平成31年も、ルネサンスの黄金時代の立役者であったパトロン(メディチ家や教皇)とその主な舞台であるフィレンツェ、そして自己を「芸術家」と認めさせた作家たちとの関係から学び始めるが、今回は『パトロン物語』の方を主要な教科書として学習していく。							関連科目			
								西洋美術史 西洋美術史特論Ⅰ 西洋彫刻論 ほか			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	各時代の芸術・芸術家とパトロンの関係が理解できるようになる。									
	②	調査結果や図版を用いてP.P.で論理的なプレゼンテーションができるようになる。									
	③	情報を整理し、専門用語を用いながら、論理的な記述ができるようになる。									
	④	アートとマネーの関係が理解できるようになる。									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	35	40	0	10	15	100		
教科書	資料は配布										
参考書	メディチ家の世紀 白水社 クリスチャン・ベック メディチ家 講談社現代新書 森田義之 図説 メディチ家 河出書房新社 中嶋浩郎 芸術のパトロンたち 岩波新書 高階秀爾 パトロン物語 角川書店 海野 弘										



予備知識	特になし
DPとの関連	芸術文化研究における専門家として、専門的知識や論理的思考力、プレゼンテーション力、国際的視点を身に付け、社会において課題や問題を解決できるようにする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	成績の評価は、プレゼンテーション及び資料作成(40点)、レポート(35点)、ポートフォリオ、出席状況の合計点とする。合計が6割に満たない場合はレポート再提出とする。

プレゼンテーションと課題(レポート)提出がある。教科書は購入する必要はなし(コピーを配布)。メダイチ家やルネサンス期の芸術家に関する文献は夥しい数にのぼるため、自主的に1冊でも多くの文献を参照すること。  
レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス	ガイダンス	講義 演習	復習	20
	内容 オリエンテーション(ガイダンス、イタリア語入門)				
2回	テーマ 古代	古代	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 古代のパトロンと芸術、マネーの関係ノイタリア語入門				
3回	テーマ ルネサンス	ルネサンス	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 ルネサンスのパトロン(メディチ家)と芸術家、マネーの関係1ノイタリア語入門				
4回	テーマ ルネサンス	ルネサンス	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 ルネサンスのパトロン(メディチ家)と芸術家、マネーの関係2ノイタリア語入門				
5回	テーマ ルネサンス	ルネサンス	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 ルネサンスのパトロン(イザベラ・デステ、他)と芸術家、マネーの関係ノイタリア語入門				
6回	テーマ ルネサンス	ルネサンス	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 レオナルドとティツィアーノのパトロンとマネーの関係ノイタリア語入門				
7回	テーマ バロック	バロック	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 バロックのパトロンと芸術、マネーの関係ノイタリア語入門				
8回	テーマ 近代	近代	講義 演習	配布資料の復習 プレゼン準備	120
	内容 画商、多様なパトロンが登場、オリエントノイタリア語入門				
9回	テーマ 近代	近代	講義 演習	配布資料の復習 プレゼン準備	120
	内容 カーンツヴァイラー、画家・画集の出版人、ロシアのパトロンノイタリア語入門				
10回	テーマ 近代	近代	講義 演習	配布資料の復習ノプレゼン準備	120
	内容 シチューキン家、ロシア・アヴァンギャルドと蒐集家ノイタリア語入門				

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	アメリカのパトロン	講義 演習	配布資料の復習／プレゼン準備／レポート準備	120
	内容	アメリカのパトロンとモダン・アートの誕生			
12回	テーマ	アメリカのパトロン	講義 演習	配布資料の復習／プレゼン準備／レポート準備	120
	内容	マネー・キング、美術史家ベリシジンと画廊デザイン			
13回	テーマ	アメリカのパトロン	講義 演習	配布資料の復習／プレゼン準備／レポート準備	120
	内容	財閥のパトロン(モーガン、カーネギー、ロックフェラーなど)			
14回	テーマ	プレゼン	AL PBL	プレゼン準備／プレゼン準備／レポート準備	120
	内容	学生によるプレゼンテーション/インタリア語入門			
15回	テーマ	プレゼン 総括	AL PBL	レポート完成	120
	内容	レポート完成・提出／総括			
16回	テーマ				180
	内容				

科目名	芸術学演習Ⅰ（原書講読）（2美）				開講学年	2	講義コード	2673901	区分	選択	
英文表記	Seminar on Arts (Reading Original Texts)				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アートリテラシー 文章記述力 文章表現力										
授業概要	美術史に関する英語のエッセイ、論文を講読し、英語によるアート・レテラシー（アートの読み書き）の能力を修得する。必ず毎回講読する英文を日本語にしておくこと。この演習を通して、実社会における汎用的な日本語の文章表現能力を身につける。							関連科目			
								*芸術文化コース専門科目全般に関係するので、関連科目は個別には表記しない。			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	英語の文献を読むための基礎力を養うことができる。									
	②	現代アートの作品記述、どのように言葉で分かりやすく表現できる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	75	0	10	15	100		
教科書	Why Your Five Year Old could not Have Done That Modern Art Explained Thames&Hudson Susie Hodge *初回講義時にコピー配布。										
参考書	美術を書く 美術について語るための文章読本 東京美術 シルヴァン・バーネット著、竹内順一監訳 アートを書く!クリティカル文章術 フィルムアート社 杉原賢彦・暮沢剛巳・前島秀国 美術ってなあに? 河出書房新社 スージー・ホッジ										

予備知識	英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲの修得しているのが望ましい。
DPとの関連	造形活動や芸術文化研究における専門家としてのライティング、プレゼンテーション能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	①テキスト講読の和訳、質問に対する対応、議論の参加など(15点)、②作品解説シート作成・発表(60点)③SOJOポートフォリオ(10点)

英文テキストを輪読するので、毎回事前に予習を各自してくる。英和辞典を持参（電子辞書可）。単位修得の条件は①出席3分の2以上②課題提出をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	序論 この授業の進め方とテキストの解説	演習	事前に英文を読み、日本語にしておくこと。うまく予習：日本語にならなくても、問題ないので、一度日本語におとす。復習：講義終了後は、毎回進んだ分の英文を必ず自分の言葉で日本語にする。	90
2回	テーマ ..... 内容	テキスト講読 Introduction	演習		180
3回	テーマ ..... 内容	Chapter 1 Objects/Toys Lobster Telephone by Salvador DALI	演習	PP.12-13	90
4回	テーマ ..... 内容	Time Transfixed by Rene Magritte	演習	PP.14-15	90
5回	テーマ ..... 内容	Lobster Trap and Fish Tail by Alexander Calder	演習	PP.16-17	90
6回	テーマ ..... 内容	Flag above White with Collage by Jasper Johns	演習	PP.18-19	90
7回	テーマ ..... 内容	Earth Eclipse by Joseph Cornell	演習	PP.20-21	90
8回	テーマ ..... 内容	Homage to New York by Jean Tinguely	演習	PP.22-23	90
9回	テーマ ..... 内容	Pancakes and Sausages by Claes Oldenburg	演習	PP.24-25	90
10回	テーマ ..... 内容	'Monument' for V. Tatlin by Dan Flavin	演習	PP.26-27	90



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Untitled (Structure that eats salad) by Giovanni Anselmo	演習	PP.28-29	90
	内容				
12回	テーマ	Campbell's Soup by Andy Warhol	演習	PP.30-31	90
	内容				
13回	テーマ	No Title by Eva Hesse	演習	PP.32-33	90
	内容				
14回	テーマ	More Love Hours than can ever be repaid and The Wages of Sin by Mike Kelley	演習	PP.34-35	180
	内容				
15回	テーマ	課題提出(上記の訳出)		これまで訳出したものを作品解説シートとしてまとめる。	
	内容				

科目名	日本・東洋美術史特論Ⅰ(2美)			開講学年	2	講義コード	2674201	区分	選必	
英文表記	Japanese/Eastern Art History, Advanced I			開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁									
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	日本美術史 鑑賞能力 アートリテラシー 文章記述力									
授業概要	美術史は芸術作品を対象とし、その作品を歴史の中に位置付け、それがどのような環境で誕生し、どのようなものとして存在したかについて、またその意味内容について幅広く探っていく学問である。その芸術作品の理解にはその芸術作品の造形上の特徴や何時、何処で制作され、といった作品のそのものの情報を引き出す必要がある。その第一歩として徹底した「観察」により、その形を言語化することが美術史研究の基礎的な作業となる。それが作品記述(description:ディスクリプション)という作業である。この基礎作業の上に、作品解釈やその作品の歴史的理解が成り立っている。ここでは作品の「観察」を通して、視覚から得た形の情報を言語化するとともに、同時に視覚による観察を通して、その形を「素描」することにより、その形態を把握することで、形の微細な差異を見分ける美術史研究に必要な基礎的な能力を養うことを主眼とする。目と手を使って楽しみながら芸術作品の世界へ迫っていく。また、実社会にでも必要な伝達能力・構成力および汎用的な日本語の表現方法を身につける。						関連科目			
							日本美術史／東洋美術史／日本・東洋美術史特論II/宗教芸術・文化II(アジア)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	美術史研究に必要な観察力を習得できる。								
	②	作品記述の内容を他者へ正確に伝達する能力を習得できる。								
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	80	0	0	10	10	100	
教科書	日本美術史の作品のリストを初回に配布する。									
参考書	日本美術全集(講談社版/小学館版) 講談社/小学館 日本美術館 小学館 カラー版日本美術史(増補新装) 美術出版社 日本美術の歴史 東京大学出版会 辻惟雄 日本絵画名作101選 小学館									

予備知識	「日本美術史」の単位を修得しているのが望ましい。
DPとの関連	芸術文化研究に必要な情報収集力、観察力・洞察力、文章力を鍛錬する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	作品カード8枚(うち4枚素描)(80%)と課題の取り組み等(20%)で評価する。

単位修得の条件は①出席3分の2以上、②作品カード提出(8枚)をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ ..... 内容	授業の進め方 ..... カード作成のやり方およびポイント	講義		90
2回	テーマ ..... 内容	飛鳥・白鳳時代(2-3週) ..... 仏像(1点)	演習	以後、各自作品カード作成する。作品記述は添削を受ける。	180
3回	テーマ ..... 内容	奈良時代(4-7週) ..... 仏像と絵画(各1点:2枚)	演習		360
4回	テーマ ..... 内容	平安時代(8-11週) ..... 仏像と絵画(各1枚:2枚)	演習		360
5回	テーマ ..... 内容	鎌倉一南北朝・室町時代(12-13週) ..... 絵画(1点)	演習		180
6回	テーマ ..... 内容	桃山一江戸時代(14-15週) ..... 絵画(1点)その他1点	演習		180

科目名	日本画実習ⅣA (3美)				開講学年	3	講義コード	2674501	区分	選必	
英文表記	Japanese Painting IVA				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	中村 賢次										
研究室	A416						オフィス アワー 水曜昼休み				
メールアドレス	ken1214@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具										
授業概要	制作の第一歩である感動という主観性を大切にしながら、作品の内容、テーマ、画材の取り扱いを含めた技術・技法など全プロセスに渡って客観的な制作プランを組み立て、より高度な作品の完成を目指す。更に日本画制作において現代に生きる者として広い視野に立ち、独創的な表現を目指す。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	制作を通じて自己判断能力を高めることができるようになる									
	②	表現するために必要な自身の技術・技法について理解できるようになる									
	③	大作を制作するために必要な全プロセスを理解できるようになる									
	④	現代社会における日本画と自己の役割を認識できるようになる									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席及び制作姿勢10点	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB、日本画実習ⅢA、日本画実習ⅢB、特別演習(日本画)
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的な質疑により理解度を確認する。一作品ごとに合評・採点を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の  
注意  
(SBOs)



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	自由制作	実習	十分な写生を繰り返す	180
	内容	写生及び150号パネル製作			
2回	テーマ	自由制作	実習	感覚的なイメージを具現化する	180
	内容	小下図・草稿制作及び裏打ち			
3回	テーマ	自由制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	180
	内容	墨入れ・地塗り			
4回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
5回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
6回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
7回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
8回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
9回	テーマ	自由制作	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	谷評・採点			
10回	テーマ	自由制作	実習	十分な写生を繰り返す	180
	内容	写生及び50号パネル製作			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	自由制作	実習	感覚的なイメージを具現化する	180
	内容	小下図・草稿及び裏打ち			
12回	テーマ	自由制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	180
	内容	墨入れ・地塗り			
13回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
14回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
15回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	180
	内容	本紙制作			
16回	テーマ	自由制作	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	合評・採点			

科目名	日本画実習ⅣB (3美)				開講学年	3	講義コード	2674601	区分	選必	
英文表記	Japanese Painting IVB				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	佐藤 和歌子										
研究室	A416						オフィス アワー 水曜昼休み				
メールアドレス	w-sato@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具										
授業概要	制作の第一歩である感動という主観性を大切にしながら、作品の内容、テーマ、画材の取り扱いを含めた技術・技法など全プロセスに渡って客観的な制作プランを組み立て、より高度な作品の完成を目指す。更に日本画制作において現代に生きる者として広い視野に立ち、独創的な表現を目指す。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	制作を通じて自己判断能力を高めることができるようになる									
	②	表現するために必要な自身の技術・技法について理解できるようになる									
	③	大作を制作するために必要な全プロセスを理解できるようになる									
	④	現代社会における日本画と自己の役割を認識できるようになる									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席及び制作姿勢10点	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB、日本画実習ⅢA、日本画実習ⅢB、特別演習(日本画)
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的な質疑により理解度を確認する。一作品ごとに合評・採点を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	自由制作	実習	十分な写生を繰り返す	360
	内容	写生及び150号パネル製作			
2回	テーマ	自由制作	実習	感覚的なイメージを具現化する	360
	内容	小下図・草稿制作及び裏打ち			
3回	テーマ	自由制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	360
	内容	墨入れ・地塗り			
4回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
5回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
6回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
7回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
8回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
9回	テーマ	自由制作	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	360
	内容	谷評・採点			
10回	テーマ	自由制作	実習	十分な写生を繰り返す	360
	内容	写生及び50号パネル製作			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	自由制作	実習	感覚的なイメージを具現化する	360
	内容	小下図・草稿及び裏打ち			
12回	テーマ	自由制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	360
	内容	墨入れ・地塗り			
13回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
14回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
15回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
16回	テーマ	自由制作	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	360
	内容	合評・採点			

科目名	洋画実習ⅣA (3美)				開講学年	3	講義コード	2674901	区分	選必	
英文表記	Oil Painting ⅣA				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	熊谷有展 上野洋嗣 (非常勤) 永田和之 (非常勤)										
研究室	L号館A201						オフィス アワー 月3,4 金3,4				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	自由制作、フレスコ(ストラッポ)										
授業概要	自身のイメージを造形化させる。画材を使いこなす。このことを踏まえ、創造的な作品を生み出すキッカケを掴む。前期で描いたフレスコ画を壁面から剥がす(ストラッポ)。							関連科目			
								洋画実習ⅡA、洋画実習ⅡB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像が表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	独自の絵画表現を試みることにより、個性(オリジナリティ)を理解することができる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	10	20	60	10	0	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										



予備知識	洋画実習ⅢA、フレスコ画実習
DPとの関連	専門的な知識と技術を身につけることで、自身の絵画表現の巾を広げる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	自作についてのプレゼンテーション。完成度。

レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	制作	実習	準備物と課題計画の確認	5400
	内容	自由制作(イメージと技法)			
2回	テーマ	制作	実習	準備物と課題計画の確認	1200
	内容	ガラスゴ(ストラップ)			

科目名	洋画実習ⅣB (3美)				開講学年	3	講義コード	2675001	区分	選択	
英文表記	Oil Painting ⅣB				開講期	後期	開講形態		単位数	6	
担当教員	熊谷 有展 上野洋嗣 (非常勤) 永田和之 (非常勤)										
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金曜日5時限目				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	洋画ⅣB										
授業概要	洋画実習ⅣA(自由制作)をもう一步進めた高度な研究。この授業は、汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。							関連科目			
								洋画実習ⅢB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像が表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	自己表現ができる									
	②	今後の制作の原点となるものを探ることができる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	70	10	20	100		
教科書	特になし										
参考書	特になし										

予備知識	洋画実習ⅣAと連動する。
DPとの関連	汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。
実務経験のある教員	
評価明細基準	授業への積極的な参加と作品による

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	制作	実技	オリエンテーション、発想、取材、デッサン、エスキース等	360
	内容	テーマ、構図の決定			
2回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
3回	テーマ	制作	"	構図の決定	360
	内容	"			
4回	テーマ	制作	"	作家研究による自由制作、各自、自由な発想、テーマに基づいて、よりプロセスを大切にしてい取り組む	360
	内容	油彩による制作			
5回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
6回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
7回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
8回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
9回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
10回	テーマ	講評	" 講評	"	360
	内容	中間講評			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
12回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
13回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
14回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
15回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
16回	テーマ	講評	" 講評	"	360
	内容	作品講評			



科目名	彫刻実習ⅣA (3美)				開講学年	3	講義コード	2675301	区分	選必	
英文表記	Sculpture trainingⅣA				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	勝野 眞言										
研究室	A212						オフィス アワー 火曜日 16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	彫刻,人体,観察,粘土										
授業概要	主として粘土を用い人体をモチーフとして人物塑造制作を行う。観察を通して人の形、量を構成する動きや構造などの造形要素を考察する。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを明確にし、そのテーマに向かって制作することが自己の確認、そして新たな自己への巡り合い、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。							関連科目			
								彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B／基礎デッサン1、2			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	粘土による制作を通して観察力を深めることができる。									
	②	素材の特性を理解し、制作に活かすことができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	プリント										
参考書	プリント										

予備知識	モチーフを人物(ヌード)とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。
DPとの関連	客観的な観察力を身に付けるために、対象を深く見つめ、人体の内にある基本的な構造、動勢、比率を素描(平面)と塑造(立体)の両次元から理解を深めて行く中で、課題を通して普遍的かつ幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付ける。【知識・理解】【汎用的技能】【態度・志向性】
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。

作業着着用。制作前には空調管理を行うこと。各自制作終了後には整理整頓を行うこと。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	対象の理解	実習	時間をかけた観察により対象の特性を理解する	180
	内容	制作Ⅰ 素描(デッサン)			
2回	テーマ	対象の理解	実習	短時間での対象の特性理解	180
	内容	制作Ⅱ 素描(クロッキー)			
3回	テーマ	対象の理解	実習	制作意図の確認	180
	内容	制作Ⅲ ポーズの決定			
4回	テーマ	構造の理解	実習	芯棒による量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅳ 芯棒制作			
5回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅴ 粘土付け			
6回	テーマ	対象の理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅵ 中間講評会			
7回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅶ 作り込み			
8回	テーマ	対象の理解	実習	造形原理の生かし方とその構築について	180
	内容	制作Ⅷ 彫刻の構築			
9回	テーマ	作品の客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅸ 講評会			
10回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅹ 作り込み			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
12回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
13回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
14回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
15回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
16回	テーマ	作品の客観的な理解	実習	到達度ポートフォリオの作成	180
	内容	講評会 制作の狙いの確認			

科目名	彫刻実習ⅣB (3美)				開講学年	3	講義コード	2675401	区分	選必	
英文表記	Sculpture trainingⅣB				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	勝野 眞言										
研究室	A212						オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	彫刻,人体,観察,粘土										
授業概要	主として粘土を用い人体をモチーフとして人物塑造制作を行う。観察を通して人の形、量を構成する動きや構造などの造形要素を考察する。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを明確にし、そのテーマに向かって制作することが自己の確認、そして新たな自己への巡り合い、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。							関連科目			
								彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B、4A/基礎デッサン1、2			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	粘土による制作を通して観察力を深めることができる。									
	②	素材の特性を理解し、制作に活かすことができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	プリント										
参考書	プリント										

予備知識	モチーフを人物(ヌード)とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。
DPとの関連	客観的な観察力を身に付けるために、対象を深く見つめ、人体の内にある基本的な構造、動勢、比率を素描(平面)と塑造(立体)の両次元から理解を深めて行く中で、課題を通して普遍的かつ幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付ける。【知識・理解】【汎用的技能】【態度・志向性】
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。

作業着着用。制作前には空調管理を行うこと。各自制作終了後には整理整頓を行うこと。

学修上の  
注意  
(SBOs)



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	時間をかけた観察により対象の特性を理解する	180
	内容	制作Ⅰ 素描(デッサン)			
2回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	短時間での対象の特性理解	180
	内容	制作Ⅱ 素描(クロッキー)			
3回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	制作意図の確認	180
	内容	制作Ⅲ ポーズの決定			
4回	テーマ	対象の構造の理解	実習	芯棒による量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅳ 芯棒制作			
5回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅴ 粘土付け			
6回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅵ 中間講評会			
7回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅶ 作り込み			
8回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	造形原理の生かし方とその構築について	180
	内容	制作Ⅷ 彫刻の構築			
9回	テーマ	作品の客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅸ 講評会			
10回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅹ 作り込み			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	同上	180
	内容	同上			
12回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	同上	180
	内容	同上			
13回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	同上	180
	内容	同上			
14回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	同上	180
	内容	同上			
15回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	同上	180
	内容	同上			
16回	テーマ	作品の客観的な理解	実習	到達度ポートフォリオの作成	180
	内容	講評会 制作の狙いの確認			

科目名	鑄造実習B(3美)				開講学年	3	講義コード	2675601	区分	選択	
英文表記	Casting Practice B				開講期	後期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	陶山 伸一 (非常勤)										
研究室	硯川実習室107						オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	,技法,窯,溶解,蠟,ブロンズ										
授業概要	<p>蠟型鑄造に対する理解を深め、実習によって蠟の合わせ方、流し方、窯の組み方、火入れ、焼成、合金の割合、金属溶解、鑄込み、仕上げなどについて、確実に安全な方法を身につける。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。</p>							関連科目			
								彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	蠟型鑄造に対する理解を深めることができる									
	②	安全に作業を行うことができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	10	60	10	20	100		
教科書	プリント										
参考書	プリント										

予備知識	彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B
DP との 関連	1.造形活動を通して培った汎用的造形力・表現力を通して、社会への関わり方や発展に持続的に貢献できる能力を身に付ける。【知識・理解】【汎用的技能】 2.課題を通して幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付ける。【態度・志向性】
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	出席・課題の取り組み・到達度などを考慮し、総合的に評価する。

実習中に適宜指示する。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	鑄造技法	実習	講義で工程の流れを知る	80
	内容	蠟型鑄造法とは			
2回	テーマ	鑄造技法	実習	蠟の特性を知る	270
	内容	蠟原型制作			
3回	テーマ	鑄造技法	実習	工程のポイントを学ぶ	450
	内容	窯詰め、焼成 火入れ、鑄型の焼成をする			
4回	テーマ	鑄造技法	実習	工程のポイントを学ぶ	450
	内容	鑄込み			
5回	テーマ	鑄造技法	実習	到達度ポートフォリオの作成	90
	内容	仕上げ 型を割り、湯道、釘を抜く 酸洗い、着色、色止めをする			

科目名	日本・東洋美術史特論Ⅱ（3美）			開講学年	3	講義コード	2675701	区分	選必	
英文表記	Japanese/Eastern Art History, Advanced II			開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁									
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	アジア(東アジア/東南アジア/南アジア) アジア美術 西洋近代 アラブ美術									
授業概要	我々はアジアに住んでおり、特に九州は古来より、アジアの国々との交流の玄関口として機能してきた。そして、21世紀に入り、いよいよアジアの国々が活気づく時代を迎えた。しかしながら、我々日本人は未だアジアのことをよく知らないでいる。本講義はアジア諸国が日本と同様に「西洋近代」を受け入れ、近代化し、自国のアイデンティティーをどのように視覚的に表現してきたか、特にアジアの近現代美術を通して、今後の世界を眺める上でも、今一度「アジアとは何か?」という命題について考えていきたい。その際、アジア美術を専門とする福岡アジア美術館の作例を題材として、受講者各自の研究テーマを設定し、それについて受講者とともに討論していく。本講義を通して、アジア世界を考えることにより、異文化理解を出来るような幅広いものの見方や考え方を身につけていく。						関連科目			
							日本美術史/東洋美術史/西洋美術史/美術概論/日本文化特論(近代)/アートマネジメント論/美術ジャーナル論			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)						学修・教育目標			
							JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	アジアの近現代美術の作品を通して、その制作背景や歴史的背景を理解し、我々が住むアジアとは何かを考え、その近代化がどのように進み、アジア各国のアイデンティティーを表明していったかその過程を理解する。								
	②									
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	20	0	10	45	0	10	15	100	
教科書	基本資料は以下の通り、購入必要なし。 アジアコレクション100(福岡アジア美術館所蔵品選) 福岡アジア美術館 福岡アジア美術館編 第4回アジア美術トリエンナーレ2009(図録) 福岡アジア美術館 福岡市美術館編 第5回アジア美術トリエンナーレ2014 福岡アジア美術館 福岡アジア美術館編 インド文化事典 丸善出版 インド文化事典編集委員会									
参考書	アジアをつなぐ一境界を生きる女たち1984-2012 福岡アジア美術館他 サンシャワー-東南アジアの現代美術展 平凡社 国立新美術館/森美術館他編 チャロー!インド インド美術の新時代 森美術館 三木あつ子他編 N.S.ハルシャ チャーミングな旅(図録) 森美術館/美術出版 森美術館編									

予備知識	
DPとの関連	造形活動および芸術文化研究に必要なグローバルな視点を通したものの見方、アジア的感覚を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	講義への取り組み15点、展評1本10点、プレゼンテーション資料25点、プレゼンテーション20点、最終試験20点、他SOJOポートフォリオ10点(計100点)



単位修得の条件は①出席3分の2以上②展評提出③プレゼンテーション④最終試験受験をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ 序論	デジタル美術の見方(作品を観る道標など)	講義		90
2回	テーマ アジアを知ろう① ②	場所、人口、言語、宗教、民族など 「アジアの地図」制作	講義/演習		180
3回	テーマ 東アジア①	東アジアの近・現代美術の特徴	講義/SGD		180
4回	テーマ 東アジア②	受講者による作品の研究発表	演習/SGD		90
5回	テーマ 東南アジア①	東南アジアの近・現代美術の特徴	講義/SGD	サンシャワー:東南アジアの現代美術展を取り上げる。	180
6回	テーマ 東南アジア②	受講者による作品の研究発表	演習/SGD		90
7回	テーマ 南アジア①	近年のインドの現代美術展の動向について	講義		90
8回	テーマ 南アジア②	南アジアの作品を知ろう!	講義/SGD	「N.S.ハルジャーチャームングな旅」展を取り上げる。	90
9回	テーマ 南アジア③	受講者による作品の研究発表	演習/SGD		90
10回	テーマ 福岡アジア美術館見学	常設展見学(12or1月開催予定)	見学	展評作成を含む。	270

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ ..... 内容	最終論述試験あるいはアジア美術に関する英文和訳試験			90

科目名	地域文化特論（九州）（3美）				開講学年	3	講義コード	2675901	区分	選必	
英文表記	Regional Culture Study Advanced: Kyushu Area				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A313						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	九州 熊本 芸術文化										
授業概要	美術学科の教育目標の一つに専門家としての基礎的な技術や知識を総合的に身に付けることが挙げられるが、本科目は芸術文化コースの学生にとって、芸術文化に関する汎用的な調査・研究方法を身に付ける上で必要不可欠な科目である。平成31年度は、九州とりわけ熊本県の歴史的庭園を踏査するとともに、台帳作成や図書館での文献調査などを行い、調査・研究の基本的な方法の修得を目指す。調査結果は、次年度の芸術文化コース学科展でパネル化して展示、公開する。							関連科目			
								日本美術史、考古学と文化財Ⅰ、考古学と文化財Ⅱなど			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	フィールドワークの方法や記録方法を身につける。									
	②	実際に現地調査を行うことで知識をより確実なものにする。									
	③	調査の前後に調査対象についての文献調査を行うことで、現地調査と文献調査をもとに自身の考察結果を導く方法を修得する。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	75	0	0	10	15	100		
教科書	授業の中で配布する										
参考書	日本庭園—空間の美の歴史 岩波新書 小野健吉 日本の庭園—造景の技術とこころ 中公新書 進士五十八 九州の歴史的庭園の存亡(論文) 南九州大学研報45A 永松義博、他 九州地方における歴史的日本庭園の特性について(論文) 造園雑誌57 永松義博 熊本の造形美 熊本日日新聞社 田辺哲夫										

予備知識	特になし
DPとの関連	学外(フィールド)での第一次資料の実見や写真撮影、台帳記入、図書館等での文献調査・収集、さらに最終的なレポート作成やパネル作成といたり一連の過程を経験することで、課題解決のための技術や知識、論理的思考力を身に付け、人間社会の構築や芸術文化の発展に持続的に貢献できる力を修得する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	成績の評価は、課題(85点)提出と出席・参加率(15点)によって行い、合計60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は再履修とする。

現地調査・写真撮影等がある。完成させた調査台帳の提出とテーマに関する総論(レポート)提出、並びに学外を含む図書館等での調査がある。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	概説	講義・演習	配布資料の熟読(復習)	90
	内容	オリエンテーション(授業についてのガイダンス、日本庭園についての概説・講読)			
2回	テーマ	日本の庭園	講義 演習	配布資料の熟読(復習)	90
	内容	日本の庭園についての概説・講読			
3回	テーマ	九州・熊本の庭園 調査計画	講義 演習	配布資料の熟読(復習)	90
	内容	九州の庭園についての概説			
4回	テーマ	調査計画	演習 AL	調査が不十分な場合は完了させること	60
	内容	調査計画と調査する庭園についての事前調査			
5回	テーマ	フィールドワーク	AL	画像整理・台帳入力	60
	内容	フィールドワーク(現地調査)と台帳作成(水前寺成趣園)			
6回	テーマ	フィールドワーク	AL	画像整理・台帳入力	60
	内容	フィールドワーク(現地調査)と台帳作成(水前寺成趣園)			
7回	テーマ	文献調査	AL PBL	収集した資料の整理・熟読・パネル用原稿作成	90
	内容	図書館における文献調査(熊本県立図書館等における関連文献調査・収集)			
8回	テーマ	フィールドワーク	AL	画像整理・台帳入力	60
	内容	フィールドワーク(現地調査)と台帳作成(旧砂取細川邸庭園)			
9回	テーマ	フィールドワーク	AL	収集した資料の整理・熟読・パネル用原稿作成	60
	内容	フィールドワーク(現地調査)と台帳作成(旧砂取細川邸庭園)			
10回	テーマ	文献調査	AL PBL	収集した資料の整理・熟読・パネル用原稿作成	90
	内容	図書館における文献調査(熊本県立図書館等における関連文献調査・収集)			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	フィールドワーク	AL	画像整理・台帳入力	60
	内容	フィールドワーク(現地調査)と台帳作成(泰勝寺庭園)			
12回	テーマ	フィールドワーク	AL	画像整理・台帳入力	60
	内容	フィールドワーク(現地調査)と台帳作成(泰勝寺庭園)			
13回	テーマ	文献調査	AL PBL	収集した資料の整理・熟読・パネル用原稿作成	90
	内容	図書館における文献調査(熊本県立図書館等における関連文献調査・収集)			
14回	テーマ	フィールドワーク	AL	画像整理・台帳入力	60
	内容	フィールドワーク(現地調査)と台帳作成(小国の満願寺庭園)			
15回	テーマ	フィールドワーク	AL	画像整理・台帳入力	60
	内容	フィールドワーク(現地調査)と台帳作成(小国の満願寺庭園)			
16回	テーマ	パネル原稿作成	AL PBL	未完のパネル原稿や台帳を整理	180
	内容	パネル原稿作成・完成、台帳とパネル原稿の完成・添削			
17回	テーマ	パネル原稿作成	AL PBL	添削を受け、修正したものを提出	180
	内容	パネル原稿作成・完成、台帳とパネル原稿の提出			



科目名	宗教芸術・文化Ⅱ（アジア）（3美）			開講学年	3	講義コード	2676001	区分	選必	
英文表記	Religious Art&Culture II : Asian society			開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁									
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	宗教 芸術 クロード・レヴィ=ストロース									
授業概要	本講義はアジアの宗教芸術・文化について、アジアの多種多様な宗教芸術・文化の諸相を読み解いていく。アジアの宗教芸術・文化を理解するために本講義では、クロード・レヴィ=ストロース著『神話と意味』を通して、神話的思考の本性と役割、神話研究の意義や方法について基本的な考え方を解説していく。西洋文化とは異なる社会やそれに関わる神話について考え、異文化理解について幅広い認識・知識をもって、捉えられるような考え方、ものの見方を身につける。						関連科目			
							日本美術史／東洋美術史／日本・東洋美術史特論I/日本・東洋美術史特論II			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)						学修・教育目標			
							JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	レヴィ=ストロースの神話的思考における、無秩序の中に秩序を見出すという考え方が理解できる。								
	②									
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	55	0	35	0	0	10	0	100	
教科書	神話と意味 みすず書房 クロード・レヴィ=ストロース 上記のテキストは購入の必要なし、適宜コピーを配布する。									
参考書	新編 東洋的な見方(岩波文庫) 岩波書店 鈴木大拙著・上田閑照編 レヴィ=ストロース 野生の思考(100分de名著) NHKテキスト 中沢新一 火あぶりにされたサンタクロース 角川書店 クロード・レヴィ=ストロース 音と意味についての六章 みすず書房 ローマン・ヤコブソン									

予備知識	
DPとの関連	神話を学びながら、芸術文化研究に必要な人文科学的な視点から人間社会の発展に貢献できる知性を育む。
実務経験のある教員	
評価明細基準	講義中の討議参加等(10点)課題レポート(35点)最終記述試験(55点)で評価する。

講義中に抱いた疑問や関心事を自分の課題として展開していくかが必要となる。単位修得の条件は①出席3分の2以上、②課題提出および最終記述試験をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 序論(1回)	授業の進め方&本講義で使用するテキストについて	講義	事前に講義に関する参考文献のテキストを事前に配布するので受講前に必ず精読し、専門用語などわからないものは事前に辞典などリファレンス資料で調べておくこと。また、テキストの内容について要約できるよう準備しておくこと。	90
2回	テーマ レヴィニストロース『神話と意味』を読む。(2-3回)	「第一講 神話と科学の出会い」	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	180
3回	テーマ (4-5回)	「第二講 “未開”思考と“文明”心性」	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	180
4回	テーマ (6-7回)	「第三講 “冤唇と双生児”——ある神話の裂け目」	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	180
5回	テーマ (8-9回)	「第四講 神話が歴史になるとき」	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	180
6回	テーマ (10-11回)	「第五講 神話と音楽」	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	180
7回	テーマ ローマン・ヤコブソンを読む（12-15回）	音と意味についての六章を読む	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	360
8回	テーマ 最終論述試験				90

科目名	考古学と文化財Ⅱ（保存・修復）（3美）			開講学年	3	講義コード	2676501	区分	選必	
英文表記	Archeology and Cultural Property II : Preservation & Restoration			開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	高濱 州賀子（非常勤） 中村 賢次									
研究室	芸術学部 非常勤講師室					オフィス アワー 授業日、講義後の1時間				
メールアドレス	sugako-ta12@cube.ocn.ne.jp									
キーワード	文化財保存 修復									
授業概要	<p>美術学科の人材育成の目標の一つに、美術領域の専門家として基礎的な知識や技術を総合的に身に付けることが挙げられるが、本科目は芸術文化コースの学生のみならず実技コースの学生にとっても、文化財に対する基礎的知識や技術を習得する上で必要不可欠な科目である。文化財保護法の基本理念を基に、文化財としての陶磁器・漆工芸・金工・茶道具・能道具・武具などさまざまな美術品の調査法、保存対策、修復事業の現状を講義する。2016熊本地震により大きな被害を受けた特別史跡熊本城など300件を超える指定文化財、あるいは未指定の文化財や美術品については緊急の保存対策や修復・復原のニーズが生じている。これらの現状と未来像について講義する。本講義は文化財保護主事や教員・学芸員などが関わる文化財保護の専門的知識を修得するもの。また、工芸や絵画等の修復について現場にて実際に体験する機会を設ける。</p>						関連科目			
							考古学と文化財Ⅰ、日本美術史			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	工芸や日本美術の特性を理解。								
	②	文化財保護法の基本理念を理解し、文化財保存の問題点を修得。								
	③	熊本地震による被災文化財の修復と保存について討議。								
	④	絵画・古文書・版画等、紙による文化財の保存や取扱について修得。								
	⑤	茶道具・能道具・武器武具の取り扱いと調査法を修得。								
	⑥	絵画作品の保存と修復、油絵・日本画・版画の修復技法。								
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	10	50	0	0	10	30	100	
教科書	授業の中で指示する									
参考書	授業の中で指示する									

予備知識	日本史、日本美術史などの基礎的知識。
DPとの関連	芸術文化研究において培った基礎的知識や専門的知識、論理的思考力、歴史的視点を活かして、社会で芸術文化研究における専門家として芸術文化の発展に持続的に貢献できる力を身に付けることを目指す。
実務経験のある教員	
評価明細基準	レポートは修復の必要な文化財について具体的な例をあげて報告する。学術的かつ専門的な知識に裏付けられた指針であること、また一般市民にとっても解りやすい説明になっているか等を評価する。小テストやポート・フォリオにより講義内容の理解や学修達成度を見る。また出席日数も評価に加える。

レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス	オリエンテーション(概説) 工芸や日本美術の特性を学ぶ。	講義	配布する資料について検討する。	任意
2回	テーマ 文化財保護法	文化財保護法について。文化財保護法の基本理念と地域の文化財について解説する。	講義	文化財保護法を読む。	任意
3回	テーマ 文化財保存の指針	文化財保存に関する指針について。保存と公開、温湿度、黴や病害虫対策、移動や災害等の対策について講義。	講義	配布する資料について検討する。	任意
4回	テーマ 熊本地震による文化財被害	熊本地震による文化財被害。熊本地震により300件を超える指定文化財が被災した。その実情を解説する。	講義	特になし	任意
5回	テーマ 熊本城の保存と公開	特別史跡熊本城の保存と公開について。熊本地震により甚大な被害を受けた熊本城の修復・復原について検討する。	講義	熊本城の現状について調べる。	任意
6回	テーマ 紙の文化財の調査法	紙の文化財の調査法。書跡・典籍・古文書・版画等、紙による文化財の保存や取扱について。	講義	配布する資料について検討する。	任意
7回	テーマ 茶道具の取り扱い	茶道具の取り扱い。茶碗・水指・茶入・棗・花入など茶道具の取り扱いと調査法を学ぶ。	講義	配布する資料について検討する。	任意
8回	テーマ 能道具の歴史と特質	能道具の歴史と特質。能楽における道具の役割と歴史的展開。	講義	配布する資料について検討する。	任意
9回	テーマ 大名道具の歴史と特質	大名道具の歴史と特質。大名家に伝わる武器武具、調度の歴史と特質を解説。	講義	配布する資料について検討する。	任意
10回	テーマ 金工品の取り扱い	金工品の取り扱い。刀や鐔など金工品の歴史と取り扱い。	講義	配布する資料について検討する。	任意



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文化財資料のデータ保存と資料ネットワーク	講義	配布する資料について検討する。	任意
	内容	文化財資料のデータ保存と資料ネットワークについて。地域における文化財調査資料データの蓄積と、その共有化について解説する。			
12回	テーマ	浄国寺谷汲観音像の修復	講義	配布する資料について検討する。	任意
	内容	浄国寺谷汲観音像の修復。生人形の歴史と修復活動について。			
13回	テーマ	工芸作品の保存と修復	講義	配布する資料について検討する。	任意
	内容	工芸作品の保存と修復。陶磁器や漆工の修復技法。			
14回	テーマ	修復における問題点	講義	配布する資料について検討する。	任意
	内容	補助金活用など資料修復の方法と問題点を検討			
15回	テーマ	日本画・版画の修復技法	実習	特になし	0
	内容	絵画作品の保存と修復2.日本画・版画の修復技法。			

科目名	芸術文化演習Ⅱ(3美)				開講学年	3	講義コード	2676701	区分	必修	
英文表記	Art & Culture Studies : Practice II				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	関根 浩子 永田 郁										
研究室	A312 A208						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	文献検索 資料収集 テーマ設定 論文執筆 プレゼンテーション										
授業概要	<p>専門家を目指す芸術文化コースの学生にとって必要不可欠の科目である。本科目は、「芸術文化演習Ⅰ」に引き続き、4年次の卒業研究(論文作成)に向けて、研究課題の設定や研究の方法、論文の構成や書き方など、卒業研究(論文)の遂行に必要な一連の事柄(作品やものの見方や考え方を含む)の指導を行う。「芸術文化演習Ⅱ」では、学術論文を実際に数本読みながら、論文や論文の書き方についてさらに知識を深めた後、学生による研究発表(1名/1週間)を中心に授業を進め、課題を発見し、解決する能力を養う。</p>							関連科目			
								芸術文化コースの全科目			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	卒業研究のために確実な資料収集が行えるようになる。									
	②	卒業研究のために的確な問題設定ができるようになる。									
	③	卒業研究の方向づけが行えるようになる。									
	④	研究成果を論文の中での的確に展開できるようになる。									
	⑤	研究成果の発表方法に熟達することができる。									
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	25	0	10	15	100		
教科書	授業の中で個別に指示する										
参考書	授業の中で個別に指示する										

予備知識	テーマに関するある程度の知識。
DPとの関連	芸術文化研究における専門家となるための知識や技術、特に論文執筆のための調査研究方法や技術を身に付けることで、社会においても芸術文化の研究や発展に貢献、寄与できるようにする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常の討議・口頭発表の内容、提出された小論文もしくはレポート、出席状況、ポートフォリオによって総合的に評価する。

受講生各自の自主的、積極的な取り組みが必要である。また、研究内容の口頭発表、小論文の提出は必須である。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	なし	0
	内容	オリエンテーション1 科目のガイダンス			
2回	テーマ	進捗状況報告	講義 演習	報告準備	90
	内容	オリエンテーション2 研究の進捗状況報告			
3回	テーマ	論文講読(日本美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	日本美術史に関する論文講読			
4回	テーマ	論文講読(日本美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	日本美術史に関する論文講読			
5回	テーマ	論文講読(日本美術史)	講義 演	配布資料の復習	40
	内容	日本美術史に関する論文講読			
6回	テーマ	論文講読(日本美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	日本美術史に関する論文講読			
7回	テーマ	論文講読(西洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	西洋美術史に関する論文講読			
8回	テーマ	論文講読(西洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	西洋美術史に関する論文講読			
9回	テーマ	論文講読(西洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	西洋美術史に関する論文講読			
10回	テーマ	論文講読(西洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	西洋美術史に関する論文講読			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	論文講読(東洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	東洋美術史に関する論文講読			
12回	テーマ	論文講読(東洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	東洋美術史に関する論文講読			
13回	テーマ	論文講読(東洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	東洋美術史に関する論文講読			
14回	テーマ	論文講読(東洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	東洋美術史に関する論文講読			
15回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	学生による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
16回	テーマ	論文講読(学生による)	講義 演習 AL PBL	講読した資料の復習	40
	内容	履修学生の研究テーマに関する論文の講読			
17回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	学生による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
18回	テーマ	論文講読(学生による)	講義 演習 AL PBL	講読した資料の復習	40
	内容	履修学生の研究テーマに関する論文の講読			
19回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	学生による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
20回	テーマ	論文講読(学生による)	講義 演習 AL PBL	講読した資料の復習	40
	内容	履修学生の研究テーマに関する論文の講読			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	学生による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
22回	テーマ	論文講読(学生による)	講義 演習 AL PBL	講読した資料の復習	40
	内容	履修学生の研究テーマに関する論文の講読			
23回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	学生による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
24回	テーマ	論文講読(学生による)	講義 演習 AL PBL	講読した資料の復習	40
	内容	履修学生の研究テーマに関する論文の講読			
25回	テーマ	小論文執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
26回	テーマ	小論文執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
27回	テーマ	小論文執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
28回	テーマ	小論文執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
29回	テーマ	小論文執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
30回	テーマ	総括	講義	小論文修正・提出	180
	内容	半期の総括・小論文提出と各学生への今後の指導			

科目名	視覚造形実習Ⅳ（3美）				開講学年	3	講義コード	2676901	区分	選必	
英文表記	Visual Arts Work IV				開講期	後期	開講形態		単位数	8	
担当教員	永田 郁 野島泉里（非常勤） 野島マーサ（非常勤）										
研究室	芸術学部棟A208（永田） 硯川実習棟303/102（非常勤）						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	作品制作 現代アート ポートフォリオ										
授業概要	本実習は視覚造形実習Ⅲの内容を展開し、最終的に受講生による硯川実習棟における作品展示(The 3rd Floor)を目指す。またそれに伴う作品のドキュメンテーションも並行して実施する。第二の目的としては、受講者のポートフォリオ作成により大学3年間での活動をまとめる作業も同時に実施していく。また、本実習におけるThe 3rd Floorの際の講評会を通して、汎用的なプレゼンテーション能力も身につける。							関連科目			
								視覚造形実習Ⅰ／Ⅱ／Ⅲ／デザイン表現演習Ⅰ／Ⅱ／学外演習（視覚）			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像がデジタル表現を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	総合的表現の成果として硯川実習棟の教室を使用した作品制作を実施し、様々なイメージを統合的に表現できるようになる。									
	②	社会への進出へ向けてポートフォリオ作成により3年間での芸術学部の学びを社会とつないでいくかについて実践的に理解できるようになる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	20	20	50	10	0	100		
教科書	特に指定しない										
参考書	アート・インダストリー 究極のコモディティーを求めて 美学出版 辛美沙 ポートフォリオをつくらう! フィルムアート社 青山学院大学大学院社会情報学研究所ヒューマンインノベーションコース他 ポートフォリオ見本帳 MdNコーポレーション 尾形美幸 自分を切りひらくアート フィルムアート社 高橋瑞木・フィルムアート社編 LEAP Before You Look Black Mountain College 1933-1957 Yale University Press H. Molesworth										



予備知識	
DP との 関連	造形活動を通して総合的な問題解決の方法を学ぶ。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	プランニング&リサーチ、制作、作品発表(プレゼン)の評価、制作実習による評価(70点) ポートフォリオ(20点)

本実習は内容が多岐にわたるため、リエンションおよび掲示・連絡に注意すること。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	オリエンテーション ..... :美習の進め方(全体)	実習		180
2回	テーマ ..... 内容	野島泉里・野島マーサ(月3-4限/火1-2限/金1-2限) ..... 総合制作Ⅰ(野島マーサ)(9-10月前半)2年3年次前半の研究を総合的に反映する制作を行う。	実習	個人制作	15時間 x1
3回	テーマ ..... 内容	..... 総合制作Ⅰ(野島泉里)(9-10月前半)2年3年次前半の研究を総合的に反映する制作を行う。	実習	個人制作	15時間 x2
4回	テーマ ..... 内容	..... 図書館プロジェクト(10月後半-11月)制作(2週分)	実習	企画・展示・ワークショップ	6時間x 3
5回	テーマ ..... 内容	..... 総合制作Ⅱ(12-1月)	実習	プレ卒制と位置づける作品制作(3rdFloor 展示)	24時間 x3
6回	テーマ ..... 内容	永田(水3-4限)第1-9週 ..... プラザ図書館プロジェクト制作	実習	企画・展示・ワークショップ	27時間
7回	テーマ ..... 内容	..... 第10-15週:3rd Floorの制作および記録・撮影の実施 第16週:作品発表会(2月)およびポートフォリオ提出	実習	上記と並行して、ポートフォリオの指導・作成。	21時間

科目名	特別演習（芸術文化）（3美）				開講学年	3	講義コード	2677301	区分	必修	
英文表記	Special Seminar (Art & Culture)				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A312						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	原書(英文) 講読 和訳										
授業概要	<p>美術学科の人材育成の目標には、幅広い国際的視野や専門分野における高度な専門家の養成などがある。本科目はこれからの芸術文化の担い手には必須の英文の読解力や翻訳力の習得のために必要不可欠の科目である。3年次から総合教育の英語がなくなるため、英語を忘れないためにも、英文(英文に翻訳されたものを含む)の美術史の教科書や、美術史論、芸術論、芸術家論、西欧文化論、キリスト教文化論などの中から興味深いものを選んで講読する。2019年度は、2018年度に講読した箇所以外の章(フィレンツェ大聖堂附属サン・ジョヴァンニ洗礼堂の第二門扉に関する章)を読み進め、英文読解や翻訳力を養う。</p>							関連科目			
								西洋美術史、西洋美術史特論Ⅰ、西洋美術史特論Ⅱ、宗教芸術Ⅰほか			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	英文の構造を正しく理解する。									
	②	適切な日本語への訳出の仕方を身につける。									
	③	美術史学や芸術学のテクニカル・タームの英語表記に習熟する。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	75	0	0	10	15	100		
教科書	授業の中で配布する。										
参考書	The Gates of Paradise Yale University Press G. M. Radke Lorenzo Ghiberti Princeton University Press R. Krautheimer										

予備知識	特になし
DPとの関連	芸術文化研究における専門家として、芸術文化の発展に貢献できる専門的技術や知識を総合的に身に付ける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	全訳(75点)、出席率(15点)、ポートフォリオ(10点)の合計点とする。合計が6割に満たない場合は、邦訳の再提出を課す。

毎回、前回分の訳文を提出する。電子辞書ではなく、語彙数や例文の多い英和辞典を必携のこと。担当箇所だけでなく全文を予習・復習すること。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス	オリエンテーション(講読書のテキストコピー配布、文献の内容に関する説明)	講義 演習	概説の復習	20
2回	テーマ 講読・和訳	講読・和訳・添削、1回目の訳文提出	講義 演習	1回目と2回目の予習・復習	90
3回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、2回目の訳文提出	講義 演習	2回目と3回目の予習・復習	90
4回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、3回目の訳文提出	講義 演習	3回目と4回目の予習・復習	90
5回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、4回目の訳文提出	講義 演習	4回目と5回目の予習・復習	90
6回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、5回目の訳文提出	講義 演習	5回目と6回目の予習・復習	90
7回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、6回目の訳文提出	講義 演習	6回目と7回目の予習・復習	90
8回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、7回目の訳文提出	講義 演習	7回目と8回目の予習・復習	90
9回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、8回目の訳文提出	講義 演習	8回目と9回目の予習・復習	90
10回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、9回目の訳文提出	講義 演習	9回目と10回目の予習・復習	90

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	講読・和訳・添削	講義 演習	10回目と11回目の予習・復習	90
	内容	講読・和訳・添削、10回目の訳文提出			
12回	テーマ	講読・和訳・添削	講義 演習	11回目と12回目の予習・復習	90
	内容	講読・和訳・添削、11回目の訳文提出			
13回	テーマ	講読・和訳・添削	講義 演習	12回目と13回目の予習・復習	90
	内容	講読・和訳・添削、12回目の訳文提出			
14回	テーマ	講読・和訳・添削	講義 演習	13回目と14回目の予習・復習	90
	内容	講読・和訳・添削、13回目の訳文提出			
15回	テーマ	講読・和訳・添削	講義 演習	14回目と15回目の予習・復習	90
	内容	講読・和訳・添削、14回目の訳文提出			
16回	テーマ	総括	講義 演習	15回目の復習と全文見直し	180
	内容	講読・和訳、1～15回目までの全訳提出			



科目名	学外演習（日本画）◎（3美）				開講学年	3	講義コード	2677401	区分	必修	
英文表記	Off-site study (Japanese Painting)				開講期	後期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	中村 賢次										
研究室	A416						オフィス アワー 水曜昼休み				
メールアドレス	ken1214@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画										
授業概要	九州内にある美術館・博物館等の文化施設、及び国又は県指定の重要文化財の見学・視察を行い、芸術や日本文化に接する機会を通して、個々の造形に於ける表現をより広めることを目指す。							関連科目			
								日本画実習 I～IV、特別演習（日本画）			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	過去の優れた作品に接することにより、現代における美術文化の役割と重要性を理解できるようになる									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	0	0	10	出席40点	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB、日本画実習ⅢA、日本画実習ⅢB、特別演習(日本画)
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	レポート及び出席による採点。

毎回事前に見学・視察先の情報を入手し、それについての理解を深めた上で現地で現物に触れるように準備する。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	美術館・博物館見学	実習	見学予定の展覧会情報の確認とレポートの作成	450
	内容	熊本市現代美術館の見学			
2回	テーマ	美術館・博物館見学	実習	見学予定の展覧会情報の確認とレポートの作成	450
	内容	熊本県立美術館の見学			
3回	テーマ	美術館・博物館見学	実習	見学予定の展覧会情報の確認とレポートの作成	450
	内容	九州内の美術館の見学			
4回	テーマ	重要文化財視察	実習	見学予定の文化財についての情報確認とレポート作成	450
	内容	熊本県内の国宝・重要文化財の視察			
5回	テーマ				450
	内容				
6回	テーマ				450
	内容				

科目名	学外演習（洋画）◎（3美）				開講学年	3	講義コード	2677501	区分	必修	
英文表記	Off-site study(Oilpaintng)				開講期	後期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	熊谷有展										
研究室	L号館A201						オフィス アワー 後期集中				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp@										
キーワード	美術展見学、見学ノート										
授業概要	見学する展覧会の下調べ。展示してある作品と作家の時代や歴史等の予習。							関連科目			
								洋画実習ⅠB、洋画実習ⅡA、洋画実習ⅡB、洋画実習ⅢA、洋画実習ⅢB、洋画実習ⅣA、洋画実習ⅣB			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	見学レポートにおいて展覧会や作家・作品の魅力を説明することができる									
	②	鑑賞力とプレゼンテーションを強化することができる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0	60	20	0	10	10	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	展覧会カタログ										

予備知識	日本美術史、西洋美術史、西洋画特論
DPとの関連	芸術における高度な専門家になるためには、表現する力とそれを支える展覧会見学で身につけた鑑賞力による発想力が必要。
実務経験のある教員	
評価明細基準	鑑賞力、文章力、積極的な授業参加

レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	鑑賞 ..... 国内外の美術展見学	見学／講義	該当する展覧会・作家や作品について調べておく	任意



科目名	学外演習（彫刻）◎（3美）				開講学年	3	講義コード	2677601	区分	必修		
英文表記	extracurricular exercise				開講期	後期集中	開講形態		単位数	2		
担当教員	勝野 眞言											
研究室	A212						オフィス アワー 火曜日16時30分					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	地域,美術館,工房,文化,史跡											
授業概要	<p>地域にある美術館や工房、あるいは文化的な施設や史跡等を視察し、ジャンルを越えて幅広く芸術や作家に触れることによって、制作者としての資質を高めることを目指す。実施内容は、大学が企画した研修等に積極的に参加するか、個人的に視察や研修を行なうこととし、いずれも視察ノートを作成し提出する。本授業を通して汎用的観察力・コミュニケーションスキルを体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。</p>								関連科目			
									彫刻実習4A、4B			
教職関連区分									建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	幅広く芸術に親しみ、理解を深めることができる。										
	②	視察で得た見識を文章にまとめることができる。										
	③											
	④											
	⑤											
	⑥											
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計			
	0	0	0	50	20	0	20	10	100			
教科書	プリント											
参考書	プリント											

予備知識	彫刻実習1A,1B,2A,2B,3A
DPとの関連	1.地域にある美術館や工房、あるいは文化的な施設や史跡等を視察し、ジャンルを越えて幅広く芸術や作家に触れることによって、制作者としての資質を高めることを目指す。【知識・理解】 2.課題を通して普遍的幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付けることができる。【汎用的技能】【態度・志向性】
実務経験のある教員	
評価明細基準	視察の回数、プレゼンテーション、視察ノートの内容で評価する

彫刻芸術に対する深い理解者となり、高度な資質を備えた表現者となるために、論理、素材、作家、制作上での技法、コンセプチュアルな表現などの中から興味深いテーマを選び、見学する美術館などを導き出す。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	授業内容を理解する	90分
	内容	導入			
2回	テーマ	作家研究	学外研修	作家研究のまとめ	270分
	内容	学外視察Ⅰ(美術館など)			
3回	テーマ	作家研究	学外研修	作家研究のまとめ	450分
	内容	学外視察Ⅱ(美術館など)			
4回	テーマ	作家研究	学外研修	作家研究のまとめ	450分
	内容	学外視察Ⅲ(美術館など)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	授業	作家研究のまとめ	90分
	内容	学外視察のプレゼンテーション			

科目名	学外演習（芸術文化）◎（3美）				開講学年	3	講義コード	2677701	区分	必修	
英文表記	Off-site study (Art & Culture)				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A312						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	フィールドワーク 展覧会 鑑賞 観察 論述										
授業概要	<p>本学科の人材育成目標の一つに、「専門分野に関する深い理解と表現力の獲得」があるが、学芸員やそれに類する専門職を目指す学生には、本科目は必要不可欠な科目である。本科目では、日本特に九州や、海外の美術館・博物館等（ギャラリーを含む）で開催されている特別展や常設展を見学し、展覧会評を作成することで、芸術作品や展示方法等の鑑賞・観察力を養うとともに、作品の鑑賞ポイントや展覧会の見どころ等を文章によって第三者に正確に伝達する方法の習得や、独力でフィールドワークする能力を養うことを目指す。</p>							関連科目			
								芸術文化コースの全専門科目、特に美術史基礎演習Ⅰや美術ジャーナル論			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	多くの展覧会を単独で視察できるようになる。									
	②	会場の第一次資料(作品や「もの」)を注意して鑑賞・観察できるようになる。									
	③	得られた情報や知見を、自分の視点と言葉で第三者にわかりやすく伝える方法に習熟できるようになる。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	90	0	0	10	0	100		
教科書	授業の中で指事する										
参考書	各会場の展覧会図録等										

予備知識	<p>観覧する展覧会の出品作品や出品作家について事前に調べておくと、より深い鑑賞ができるし、見逃すリスクも減少するので、事前に学習してから現地に行くようにしてほしい。</p>
DPとの関連	<p>自ら進んで学外（フィールド）に出て課題解決（展覧会視察、鑑賞、レポート作成）する技術や知識、論理的思考力、国際的視点を身に付け、人間社会の構築や芸術文化の発展に持続的に貢献できるようにする。</p>
実務経験のある教員	
評価明細基準	<p>課題①あるいは課題②のレポート、ポートフォリオで評価する。課題①:10,000字程度で作成し、必ず図版を添付する。課題②:1展覧会につき2,000字程度のレポートを10本作成。レポートには必ず展覧会のチケットの半券(なければチラシでも可)など見学したことが証明できる資料を貼付すること。</p>

課題の提出(①か②のいずれか)がある。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	現地(海外)で本物に触れる	AL PBL	芸術学部主催の海外研修旅行に参加し、その体験をレポートする。	9日
	内容	課題①			
2回	テーマ	展覧会でオリジナル作品を見る	AL PBL	九州やその他の地域で開催される国内の展覧会・常設展の展覧会評を作成する(10本)。	10日
	内容	課題②			



科目名	学外演習（視覚）◎（3美）				開講学年	3	講義コード	2677801	区分	必修	
英文表記	Off-Site Study: Visual Arts				開講期	後期・集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アートプロジェクト ワークショップ アクティブラーニング										
授業概要	受講者全員で企画立案し、共同制作・展示を行う。テーマ設定から具体的な制作計画まで受講者自ら討議を重ね、役割分担し、受講者共同による作品制作および学外(くまもと森都心プラザ図書館にて)での展示を実施する。学外展示については受講者は事前にどんなものを制作したいか、その参考になる作品、イメージをリサーチしておくこと。公共機関であるくまもと森都心プラザ図書館の職員との協働作業を通して、実社会との繋がりを持つことで、社会に出ることについて認識し、学んでいく。							関連科目			
								視覚造形実習Ⅲ／視覚造形実習Ⅳ／アートマネジメント論／ワークショップ演習			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	学外での制作展示を通して協働作業による実行力が養われるようになる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	90	0	10	0	100		
教科書	「授業の中で指示する」										
参考書	キュレーション「現代アート」をつくったキュレーターたち フィルムアート社 H・ウルリッヒ・オプリスト 藤浩志のかえるワークショップ いまをかえる美術の教科書 3331ARTS CYD 藤浩志監修 クリエイティブ・コミュニティ・デザイン 関わり、つくり、巻き込もう フィルムアート社 紫牟田伸子・編集部 コミュニティ・アートプロジェクト ゼロタテ／絶望をエネルギーに変え、街を再生する アートNPOゼロタテ 中村政人 これからのアートマネジメント”ソーシャル・シエア”への道 フィルムアート社 中川真+フィルムアート社編集部										

予備知識	
DPとの関連	公共的な施設での制作・展示をすることで、実際に生じる様々な問題に対して受講生全員で解決していく実践の場となる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	学外制作展示取り組み等(90)、SOJOポートフォリオ(10)。

本科目は必修科目なので、履修忘れがないよう注意して下さい(3年次後期履修)。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ..... 内容	オリエンテーション ..... 授業の概要と進め方(全員出席必修)	講義		90
2回	テーマ ..... 内容	計画・立案編 ..... ①くまもと森都心プラザ図書館見学(4-5月)	見学		180
3回	テーマ ..... 内容	..... ②学内企画プレゼンテーション および企画修正、再提出(7-8月中)	演習/SGD		180
4回	テーマ ..... 内容	..... ③学外企画プレゼンテーション@くまもと森都心プラザ図書館 企画修正、再提出(9月中までに完了)	演習/SGD		180
5回	テーマ ..... 内容	実践編 ..... ①採用案の準備、制作(10-11月)	制作		540
6回	テーマ ..... 内容	..... ②搬入、搬出(11月後半実施)および総括・講評	実施		270

科目名	芸術文化演習Ⅳ◎（4美）				開講学年	3	講義コード	2678001	区分	必修	
英文表記	Art & Culture Studies : Practice IV				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	関根 浩子 永田 郁										
研究室	A312 A208						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	文献検索 資料収集 テーマ設定 論文執筆 プレゼンテーション										
授業概要	<p>課題発見力や解決能力を身に付けて論文提出を目指す芸術文化コースの学生にとって必要不可欠な科目である。本科目は、芸術文化演習の最後の科目であり、卒業研究(論文)提出に向けて、研究課題の設定や研究の方法、論文の構成や書き方など、卒業研究(論文)の遂行に必要な一連の事柄(作品やものの見方や考え方を含む)の最終指導を行う。「芸術文化演習Ⅳ」でも、各学生の研究テーマに関する学術論文を数本読みながら、論文や論文の書き方についてさらに知識を深めた後、後半は学生の論文の構成指導・添削指導も開始して完成させ、その一連の作業の中で汎用的解決能力を養う。</p>							関連科目			
								芸術文化コースの全科目			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科に関する科目(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論及美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	卒業研究のために確実な資料収集が行えるようになる。									
	②	卒業研究のために的確な問題設定ができるようになる。									
	③	卒業研究の方向づけが行えるようになる。									
	④	研究成果を論文の中での的確に展開できるようになる。									
	⑤	研究成果の発表方法に熟達できるようになる。									
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	25	0	10	15	100		
教科書	授業の中で個別に指示する										
参考書	授業の中で個別に指示する										

予備知識	テーマに関する深い知識
DPとの関連	芸術文化研究における専門家となるための知識や技術、特に論文執筆のための調査研究方法や技術を身に付けることで、社会においても芸術文化の研究や発展に貢献、寄与できるようにする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常の討議・口頭発表の内容、提出された小論文もしくはレポート、出席状況、ポートフォリオによって総合的に評価する。

受講生各自の自主的、積極的な取り組みが必要である。また、研究内容の口頭発表、小論文の提出は必須である。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の  
注意  
(SBOs)

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	概説	講義	科目のガイダンス	90
	内容	オリエンテーション1			
2回	テーマ	進捗状況報告	講義 演習	研究の進捗状況報告	90
	内容	オリエンテーション2			
3回	テーマ	論文講読	講義 演習	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
4回	テーマ	論文講読	講義 演習	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
5回	テーマ	論文講読	講義 演習	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
6回	テーマ	論文講読	講義 演習	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ文・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
7回	テーマ	論文講読	講義 演習	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
8回	テーマ	論文講読	講義 演習	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
9回	テーマ	論文講読	講義 演習	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文・文献検索・取寄せ・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
10回	テーマ	論文講読	講義 演習	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			



## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	論文講読	講義 演習 AL PBL	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
12回	テーマ	論文講読	講義 演習 AL PBL	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
13回	テーマ	論文講読	講義 演習 AL PBL	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
14回	テーマ	論文講読	講義 演習 AL PBL	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
15回	テーマ	論文講読	講義 演習 AL PBL	論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査	180
	内容	研究テーマに関する論文・単行書講読			
16回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	研究のP.P.等を使用した口頭発表準備	180
	内容	学生による研究発表			
17回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	研究のP.P.等を使用した口頭発表準備	180
	内容	学生による研究発表			
18回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	研究のP.P.等を使用した口頭発表準備	180
	内容	学生による研究発表			
19回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	研究のP.P.等を使用した口頭発表準備	180
	内容	学生による研究発表			
20回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	研究のP.P.等を使用した口頭発表準備	180
	内容	学生による研究発表			

## 授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	小論文執筆	講義 演習 AL PBL	論文執筆	180
	内容	小論文執筆・添削指導			
22回	テーマ	小論文執筆	講義 演習 AL PBL	論文執筆・修正(予習・復習)	180
	内容	小論文執筆・添削指導			
23回	テーマ	小論文執筆	講義 演習 AL PBL	論文執筆・修正(予習・復習)	180
	内容	小論文執筆・添削指導			
24回	テーマ	小論文執筆	講義 演習 AL PBL	論文執筆・修正(予習・復習)	180
	内容	小論文執筆・添削指導			
25回	テーマ	小論文執筆	演習 AL P BL	論文執筆・修正(予習・復習)	180
	内容	小論文執筆・添削指導			
26回	テーマ	小論文執筆	演習 AL P BL	論文執筆指導(添削指導を含む)	180
	内容	小論文執筆・添削指導			
27回	テーマ	小論文執筆	演習 AL P BL	論文執筆指導(添削指導を含む)	180
	内容	小論文執筆・添削指導			
28回	テーマ	小論文執筆	演習 AL P BL	論文執筆指導(添削指導を含む)	180
	内容	小論文執筆・添削指導			
29回	テーマ	小論文執筆	演習 AL P BL	論文執筆指導(添削指導を含む)	180
	内容	小論文執筆・添削指導			
30回	テーマ	総括	講義	半期の総括と各学生への今後の指導	180
	内容	研究総括・小論文提出			